

令和2年度

主要施策の成果



©青山剛昌/小学館

目 次

○ 一般会計

議会事務局、監査委員事務局	1	農業委員会	54
総務課	4	産業振興課	57
企画財政課	14	観光交流課	71
町民課	24	地域整備課	75
福祉課	29	教育総務課	78
健康推進課	39	生涯学習課	92
環境エネルギー課	48		

○ 特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計	109	大栄歴史文化学習館特別会計	120
介護保険事業特別会計	111	後期高齢者医療事業特別会計	122
住宅新築資金等貸付事業特別会計	116	水道事業会計	123
農業集落排水事業特別会計	117	下水道事業会計	125
栄財産区特別会計	118	風力発電事業会計	127
合併処理浄化槽事業特別会計	119		

○ 資料編

令和2年度各会計別決算状況	130
令和2年度普通会計決算状況	136
財政状況・財政指標の推移	140
財政健全化判断比率の状況	144
地方債の状況(目的別)	145

※表紙写真

上段左／あつまらいや北条「卒園卒業記念植樹」(北条多目的広場)

上段右／レークサイド大栄青空広場に屋外トイレを新設

下段左／合併15周年記念式典を開催

下段右／合併15周年町政要覧を発行

款	1 議会費	項	1 議会費	予算現額	決算額
		目	1 議会費	98,243千円	97,905千円

①議員経費事業 1,187千円

(1)本会議の開催状況

区分	令和2年										令和3年			
	第3回 臨時会	第4回 臨時会	第5回 定例会	第6回 臨時会	第7回 臨時会	第8回 定例会	第9回 臨時会	第10回 臨時会	第11回 臨時会	第12回 定例会	第1回 臨時会	第2回 臨時会	第3回 定例会	
招集日	5/8	5/29	6/16	7/10	8/17	9/3	10/9	11/5	11/30	12/7	1/13	2/8	3/3	
会期	1	1	15	1	1	21	1	1	1	15	1	1	16	
会議日数	1	1	5	1	1	5	1	1	1	5	1	1	6	
議案	町長提出	7	1	13	1	2	27	2	3	2	15	1	1	48
	委員会提出	0	0	3	0	0	1	0	0	0	3	0	0	3
	議員提出	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
一般質問	—	—	9人	—	—	6人	—	—	—	8人	—	—	12人	
	—	—	19問	—	—	12問	—	—	—	17問	—	—	28問	
傍聴者数	2	2	15	2	1	25	5	2	1	28	2	0	16	

(2)委員会、全員協議会の開催状況

区分	全員 協議会	議会運営 委員会	広報広聴 常任委員会	総務教育 常任委員会	民生経済 常任委員会
会議日数	21	17	26	4	4

区分	特別委員会	
	道の駅整備	北条川放水路
会議日数	2	0

(3)請願・陳情状況

区分	受理件数	審査件数	その他
請願	2	2	0
陳情	13	12	0

(4)意見書提出状況

提出件数 9件

(5)調査研究活動及び議員研修旅費 85千円

【議員研修】

- ・鳥取県町村議会広報研修会(湯梨浜町)
- ・鳥取県町村議会議員研修会(北栄町)
- ・中部町村議会議長会議員研修(湯梨浜町)
- ・北栄町議会議員研修(北栄町)
- ・中部町村議会議長会議員視察研修(愛知県南知多市、岡崎市、知多市、名古屋市)
- ・地域新電力会社視察(米子市)
- ・地域進電力事業可能性調査の最終報告
- ・3町連携 議員・職員合同研修(北栄町)

(6)議長交際費 93千円

議長または議会が行政執行上必要な外部との交際に要した経費
慶弔費等 5件

(7)議会報告会開催状況
2回 (中央公民館、大栄農村環境改善センター)

(8)高校生議会
鳥取中央育英高等学校生徒による高校生議会21人の
高校生が参加し、一般質問(15問)を実施。
議長(1名)・高校生議員(20名)

(9)議会だより発行事業 1,010千円
議会の情報公開を図った。
発行回数 年4回 発行部数 5,400部



(議会報告会)

【成果】 議会だよりを発行し、情報公開、情報発信を積極的に行った。
議会報告会を開催し、町民との意見交換の場を設け、町民参加を推進した。
また、議員研修に参加することで、自己研さんと資質の向上を図り、適正で
効率的な町政運営の確保に努めた。
高校生議会を開催し、若い世代に町政への関心を持ってもらうよう努めた。

②事務局経費事業 3,716千円
・会議録調製並びに検索システム委託 3,448千円
定例会・臨時会の会議録を調製し、ホームページで公開
した。

【成果】 議会の情報公開、情報発信を広く行うことができた。
(議長交際費の公開、会議結果の公表、視察報告等)



議会だより 編集作業(広報広聴常任委員会)

③議会関係負担金事業 1,855千円
・県議長会負担金 1,722千円
・中部議長会負担金 133千円



(高校生議会)

款	2 総務費	項	6 監査委員費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 監査委員費	1,217千円	1,110千円

①監査委員事業 1,110千円

(1)監査委員 2人

- ・識見監査委員(代表監査委員)
- ・議会選出監査委員

(2)活動状況

○検査

- ・例月現金出納検査 12回(毎月1回)
- ・現金及び現金等価物実査 (年1回)



(現金等価物実査)

○監査

- ・定期監査 (年2回)
- 5月
 - ・委託状況



(定期監査報告)

11月

- ・補助金状況について
- ・工事状況

○審査

- ・決算審査 (12会計)
- ・基金の運用状況審査 (16件)
- ・普通会計の財政健全化審査 (2件)
- ・公営企業会計の経営健全化審査 (1件)



(決算審査 調書の聞き取り)

○各種研修会

- ・鳥取県町村監査委員研修会(湯梨浜町 水明荘)
- ・中部町村監査委員協議会研修会 (湯梨浜町 水明荘)

【成果】 年間監査計画を作成し、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営確保のため、計画的に監査を実施した。監査結果は講評や町長報告によりフィードバックを行ったほか、告示、ホームページ、町報により町民に向けて公表した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	1 一般管理費	1,157,140千円	1,136,463千円

①一般管理事業 88,630 千円

・職員研修

2,823 千円

団体等が実施する各種研修に参加させたほか、町単独で財政研修等を実施した。

(研修参加の状況)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
中央研修	7人	6人	2人
実務研修(県外)	3人	8人	0人
県自治研修	49人	65人	92人
町単独研修	649人	693人	799人

・町長交際費

631 千円

(交際費の支出件数)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
支出件数	122件	117件	32件

・電話、郵便代等通信運搬費 18,158 千円

・職員健康診断経費(ドック含む) 4,154 千円

【成果】 職員を各種の研修に参加させ、職員の資質の向上及び能力開発を行った。

②電算処理委託事業 57,690 千円

公会計、住基、税務、上下水道、介護保険、給与、農業行政、国民健康保険、保育料、特別医療、後期高齢、選挙、町営住宅などの業務処理に係る経費を支出。

基幹システム運用委託:(株)鳥取県情報センター

【成果】 各業務の電算処理委託によって、事務の効率化を図った。

③一般管理関係負担金事業 2,731 千円

・県、中部町村会負担金 2,705 千円

・行政不服審査会共同設置負担金 24 千円

【成果】 各種団体等への負担を行い、事務運営等の効率化を図った。

④事務用品一括購入事業 2,232 千円

・事務用品等消耗品費 2,232 千円

【成果】 事務用品等を一括購入することで経費節減を行った。

⑤鳥取県中部ふるさと広域連合負担金事業 22,334 千円

・管理費(一般管理費、議会費、監査委員費等) 19,113 千円

・休日急患診療所及び病院群輪番制病院運営費 3,221 千円

【成果】 負担により、休日急患診療所等の運営を行った。

⑥合併15周年記念式典事業 715 千円

北栄町誕生から15年が経過し、令和2年10月4日、15周年記念式典を開催。

北栄町上種出身のチェリスト 村岡苑子さんがオープニングの演奏。また、町政の発展に寄与された方の表彰を以下のとおり行った。

特別功労表彰2人 功労表彰6人

善行表彰47人



記念式典の一場面

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	3 会計管理費	395千円	372千円

①会計管理事業 372 千円
銀行オンラインシステム回線使用料、事務用品の購入に要した経費

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	4 財産管理費	509,975千円	497,271千円

①町有財産管理事業 11,025 千円

- ・町有建物災害共済保険料 6,574 千円
- ・町有施設電気設備保安委託料 4,339 千円

②大栄庁舎管理事業 18,836 千円

大栄庁舎の維持管理をするとともに、施設の老朽化に伴う修繕などを行った。

- ・修繕費(トイレ等修繕) 847 千円
- ・委託料(清掃、冷暖房機保守、植木管理など) 5,838 千円
- ・駐車場階段手摺設置工事 330 千円
- ・小便器自動洗浄弁取付工事 1,109 千円
- ・懸垂幕装置設置工事 913 千円
- ・水栓改修工事 1,529 千円
- ・備品購入費(事務イス、書類ケースなど) 927 千円

【成果】 管理・修繕を行い、業務の円滑な推進に寄与した。

③公用車管理事業 3,009 千円

各課が共有して利用する公用車の管理を行った。主な経費は以下のとおり。

- ・自動車損害共済保険料 1,275 千円
- ・公用車修繕費 662 千円

(大栄庁舎集中管理車両) (単位:台)

区 分	H30年度	R1年度	R2年度
普通乗用自動車	3台	3台	3台
軽自動車	11台	9台	9台

④コナン駅前広場等管理事業 4,255 千円

コナン駅前広場及び出会いの広場の維持管理を実施。主な経費は次のとおり。

- ・修繕費(建物・設備) 451 千円
- ・清掃委託料 1,341 千円
- ・駐輪場照明器具交換工事 1,870 千円

⑤防災無線維持管理事業 48,726 千円

防災行政無線の維持管理などを行った。主な経費は次のとおり。

- ・放送卓更新業務 42,790 千円
- ・防災無線保守点検業務委託料 2,640 千円
- ・備品購入費(個別受信機62台) 2,321 千円

(戸別受信機の設置状況)

区 分	H30年度末	R1年度末	R2年度末
一般家庭	4,898台	4,910台	4,945台
企業等	59台	59台	58台
自治会・公共施設	136台	136台	136台



新しくなった放送卓

【成果】 防災行政無線設備を維持管理することにより、情報伝達手段の確保を図った。

⑥天神いこいの広場管理事業 785 千円

天神いこいの広場の維持管理を行った。主な経費は次のとおり。

- ・光熱水費 147 千円
- ・修繕費(トイレ設備及び漏水修繕) 189 千円
- ・維持管理委託料(みどり2区)、トイレ清掃委託料 398 千円

⑦天神桜つつみ管理事業 670 千円

天神桜つつみ(2か所)の維持管理を行った。主な経費は次のとおり。

- ・維持管理委託料(江北/東新田場) 670 千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	5 北条庁舎管理費	6,528千円	5,547千円

①北条庁舎管理事業 5,547 千円

旧北条庁舎の維持管理の警備、事務等に必要経費を支払った。

- ・光熱水費 3,800 千円
- ・修繕費(駐車場区画線補修等) 426 千円
- ・鳥取中部ふるさと広域連合事務所経費負担金(町収入)

H30年度	R1年度	R2年度
5,387千円	3,406千円	4,798千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	6 北条支所管理費	11,124千円	10,123千円

①北条支所管理事業 8,864 千円

北条支所として総合窓口業務を行うとともに、北条健康福祉センターの維持管理を行った。

- ・光熱水費 1,063 千円
- ・健康福祉センター空調設備更新工事 2,200 千円
- ・健康福祉センターLED照明化工事 2,112 千円

(窓口取扱件数の状況)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
窓口取扱数	13,467件	14,559件	14,236件
うち現金取扱数	5,630件	5,665件	5,540件

(北条健康福祉センターの利用状況)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
回数	445回	364回	218回
利用者	7,330人	6,381人	4,745人

②北条地区振興事業 246 千円

住民有志が集い、コロナウイルス感染対策を実施して北条地区振興の活動を実施した。

- ・消耗品費(会議・体験活動消耗品) 70 千円
- ・印刷製本費(チラシ・広報紙製作) 176 千円

【成果】 「あつまらいや北条」を中心に地域の学校等と協働し、感染予防対策をして「あつまらいや食堂」や「児童もち米作り体験」、公共施設へ「卒園卒業記念植樹」等を実施。地域住民等の協力のもと、コロナ禍の中においても記憶や記録に残る活動機会を提供した。



コロナ退散祈願！卒園卒業記念植樹
(北条多目的広場)

③公用車管理事業 1,013 千円

(北条支所集中管理車両) (単位:台)

区分	H30年度	R1年度	R2年度
マイクロバス	1台	2台	2台
軽自動車	1台	1台	1台

【成果】 バス予約・運転手手配等の手続きが北条支所に一元化されたことに伴い、利用者の利便性が向上した。また事務の効率化も図れ適切に管理・運営できた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	7 北条改善センター費	40,635千円	38,266千円

①北条改善センター管理事業 38,266 千円

- ・光熱水費 1,566 千円
- ・施設修繕費(駐車場外灯、区画線補修等) 1,642 千円
- ・委託料(空調工事監理委託等) 1,291 千円
- ・空調設備更新工事 30,140 千円
- ・照明LED化工事 3,361 千円

(センターの利用状況)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
回数	233回	238回	83回
利用者	11,837人	13,502人	4,896人

【成果】 適切な維持管理を実施し、多くの方に安全に施設を使っていたことができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	8 大栄改善センター費	4,434千円	4,036千円

①大栄改善センター管理事業 4,036 千円

- ・修繕費(エアコン修繕、自動ドアなど) 364 千円
- ・ホール時計取替え工事 366 千円
- ・ホール非常口修繕工事 490 千円
- ・特殊建物定期検査 1,024 千円

(センターの利用状況)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
回数	1,037回	1,331回	1,702回
利用者	19,959人	23,578人	20,456人

【成果】 多くの方に安全に施設を使っていただけるよう、適切な維持管理を実施した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	10 自治会活動促進費	14,368千円	14,367千円

①自治会総合交付金事業 14,167 千円

- (1)自治会運営交付金 12,188 千円
自治組織の活性化を図るため、全自治会に事務費等の補助を行った。
- (2)防犯灯維持管理交付金 955 千円
61自治会に対し、自治会が設置した防犯灯の電気料金の3分の1の補助を行った。
- (3)再生可能エネルギー交付金 1,024 千円
63自治会に対し、自治会が設置した太陽光発電設備などに対して補助を行った。

②自治会集会施設整備費補助金事業 200 千円

・大島自治会が施設整備等の財源に金融機関から借り入れた額の5%を補助した。

【成果】 行政(町)と地域(自治会)との連携を強化するとともに、自治活動の推進を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	11 交通安全対策費	5,506千円	5,170千円

①交通安全対策事業 1,781 千円

交通指導員を配置し、街頭監視及び交通安全パトロール、イベント等で交通指導を行った。

・交通安全指導員出動手当 708 千円

(交通指導員等の状況)

年度		H30年度	R1年度	R2年度
交通指導員数(定員22名)		20	20	19
活動 延人数	研修長時間指導	36	36	12
	啓発パトロール等	344	390	313

(本町で発生した交通死亡事故等の状況)

年度	H30年	R1年	R2年
交通事故死亡者数	0	2	1
人身事故件数	31	30	17

※県警資料

【成果】 全国交通安全運動期間の取り組みを中心に、交通事故の犠牲が多い子どもや高齢者への交通安全啓発を実施し、交通安全意識の向上を図った。

②交通安全施設整備事業 3,173 千円

カーブミラーの修繕、整備を行った。

(カーブミラー整備等の状況)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
カーブミラー修繕	26	26	46
カーブミラー設置	2	1	2

【成果】 カーブミラーの新設・修繕により、町内の交通安全に寄与した。

③交通安全負担金事業／交通安全補助金事業 215 千円

・交通安全協会倉吉地区協会負担金 6 千円

・ルートナイン交通安全対策協議会不短期 20 千円

・交通安全協会北条支部活動費補助金 189 千円

【成果】 交通安全協会への負担金・補助金の交付により、街頭啓発、町内パレードなどの交通安全普及活動が実践された。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	12 光ファイバーネットワーク施設管理費	170,655千円	170,477千円

①光ファイバーネットワーク施設管理事業 170,477 千円

各種情報の提供、地域住民のコミュニティの醸成、農業構造の改善を図るための光ファイバーネットワーク施設の管理を行った。

・光ファイバー施設サブセンター機器更改工事 118,800 千円

・電柱共架料、自営柱用地借上料 12,226 千円

・伝送路ケーブル新設・移設・撤去工事 11,181 千円

・備品購入(ONU 70台) 4,004 千円

(テレビ等の加入状況。年度末数値)

区 分		H30年度	R1年度	R2年度
ケーブルテレビ 契約加入率	本町	84.6%	84.4%	83.9%
	他町	湯:82.9% 琴:76.4%	湯:82.2% 琴:76.3%	湯:80.1% 琴:76.1%
インターネット 契約加入率	本町	33.3%	33.8%	36.3%
	他町	湯:30.1% 琴:17.7%	湯:31.3% 琴:18.0%	湯:34.2% 琴:18.7%

湯:湯梨浜町
琴:琴浦町

【成果】 光ファイバーネットワーク施設を維持管理することにより、安定した各種サービス提供を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 情報処理費		38,169千円

①情報処理事業 37,571 千円

機器及び各庁舎及び出先施設を結ぶネットワークの維持管理等を行った。

- ・行政情報システム保守委託 27,001 千円
- ・パソコン購入(56台) 6,015 千円
- ・自治体ICT共同化推進等県負担金 2,675 千円

【成果】 庁内ネットワークの維持管理に努め、業務の効率化を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	14 防犯対策費		5,499千円

①防犯対策事業 5,449 千円 ※風のまちづくり事業充当423千円

- ・LED化対策工事請負費 3,497 千円
- ・環境にやさしいLED防犯灯整備補助金 423 千円
- ・防犯カメラ設置(倉吉地区防犯協議会助成 215 千円
(防犯灯整備等の状況)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
公設防犯灯整備	36灯	25灯	26灯
自治会整備補助	4自治会	10自治会	13自治会
防犯カメラ整備	-	-	1基

【成果】 防犯灯の新設・修繕、防犯カメラの設置により、町内の防犯、環境にやさしいまちづくりを推進した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	15 諸費		805千円

①諸費事業 340 千円

- ・倉吉地区防犯協議会負担金 250 千円
- ・安全運転運行管理者協議会負担金 30 千円

②自衛隊募集事業 17 千円

自衛隊鳥取地方本部倉吉地域事務所及び北栄町自衛隊友の会と連携し、自衛官募集にかかる広報、啓発活動を実施した。

(新入隊の状況)

年度	H30年度	R1年度	R2年度
北栄町内	0人	4人	0人

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																							
		目	41 新型コロナウイルス感染症対策費	3,420千円	2,815千円																							
<p>①新型コロナウイルス感染症対策事業 185 千円 ・役場用消耗品 185 千円(非接触型体温計、間仕切り)</p> <p>②新型コロナウイルス対策管理事業 2,630 千円 ・コロナ対応時間外勤務手当 2,630 千円</p>																												
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																							
		目	42 特別定額給付金事業費	1,488,348千円	1,488,345千円																							
<p>①特別定額給付金事業 1,488,345 千円 新型コロナウイルス感染症による緊急経済対策として、令和2年4月27日現在、住民登録のある町民に10万円を支給。 支給対象者 14,848人 うち10万円支給 14,827人(支給率 99.9%)</p> <p>【成果】 支給を迅速に行い、家計支援を行った。</p>																												
款	2 総務費	項	4 選挙費	予算現額	決算額																							
		目	1 選挙管理委員会費	347千円	146千円																							
<p>①選挙管理委員会事業 146 千円 選挙管理委員会の開催 5 回開催 ・委員会の主な内容 各種選挙人名簿登録、裁判員候補者予定者の選定、検察審査員候補者の選定</p>																												
款	2 総務費	項	4 選挙費	予算現額	決算額																							
		目	2 選挙啓発費	76千円	26千円																							
<p>①選挙啓発事業 26 千円 (県明るい選挙推進負担金含む) 実施事業等 北栄町明るい選挙推進協議会の開催 令和3年2月16日開催 主権者教育に関する授業(選挙出前講座)の開催 令和2年11月27日開催</p> <p>【成果】 町内の高校で主権者教育に関する授業(選挙出前講座や模擬投票)を実施し、明るい選挙の推進を行った。</p>																												
款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額																							
		目	1 常備消防費	205,877千円	203,793千円																							
<p>①中部ふるさと広域連合負担金(消防)事業 203,793 千円 常備消防として整備している鳥取中部ふるさと広域連合消防局への負担金支出。 (火災発生件数等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">火災発生</td> <td>北栄町内</td> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>広域連合内</td> <td>28件</td> <td>38件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">救急出動</td> <td>北栄町内</td> <td>568件</td> <td>599件</td> <td>537件</td> </tr> <tr> <td>広域連合内</td> <td>4,808件</td> <td>4,712件</td> <td>4,472件</td> </tr> </tbody> </table>						区分		H30年度	R1年度	R2年度	火災発生	北栄町内	2件	5件	7件	広域連合内	28件	38件	28件	救急出動	北栄町内	568件	599件	537件	広域連合内	4,808件	4,712件	4,472件
区分		H30年度	R1年度	R2年度																								
火災発生	北栄町内	2件	5件	7件																								
	広域連合内	28件	38件	28件																								
救急出動	北栄町内	568件	599件	537件																								
	広域連合内	4,808件	4,712件	4,472件																								

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	2 非常備消防費	15,834千円	12,727千円

①消防団活動事業 9,561 千円

町消防団の消防活動における出動経費などの支弁を行うとともに、必要な消防ホースなどの消防器具や団員装備の整備を実施。

(町消防団の状況) (人数は年度末)

年 度	H30年度	R1年度	R2年度
体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団
実数/定員	98人/110人	95人/110人	94人/110人
うち女性団員数	4人	4人	8人

(町消防団の出動等の状況)

区分	H30年度		R1年度		R2年度	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
出 動	火 災	2件 63人	6件 183人	7件 175人		
	非火災	1件 22人	1件 4人	9件 59人		
	捜 索	0件 0人	0件 0人	0件 0人		
	警 戒	5件 203人	0件 0人	1件 16人		
操法水防訓練等	24件 790人	19件 741人	16件 291人			
会議・研修等	29件 156人	39件 181人	17件 96人			
火災予防広報等	44件 390人	45件 409人	42件 329人			

(消防ポンプ操法大会の状況)

大会名等	H30年度		R1年度		R2年度
町操法大会	優勝	第4分団Aチーム	第4分団Aチーム		新型コロナウイルスの影響により大会中止
	2位	第3分団Aチーム	第3分団Aチーム		
	3位	第3分団Bチーム	第1分団Aチーム		
郡操法大会	出場	第4分団 第3分団	第4分団	第3分団	
	順位	優勝 4位	優勝	6位	
県操法大会	出場	第4分団	第4分団		
	順位	2位	4位		

【成果】 火災出動や警報発令時における警戒出動を行ったほか、操法訓練・水防訓練などの訓練活動や、女性消防団員などによる防火啓発活動を行い、災害対応能力を強めた。

②消防関係負担事業 3,166 千円

- ・県、郡消防協会負担金 327 千円
- ・鳥取県町村消防災害補償組合負担金 411 千円
- ・消防団員退職報奨金掛金負担金 2,112 千円

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	3 消防施設費	13,250千円	11,215千円

①消防施設設置事業 11,215 千円

- ・消防デジタル無線の導入(21台) 4,565 千円
- ・消防多機能車のAED更新 319 千円

(消火栓修繕等の状況)

区分	H30年度	R1年度	R2年度
消火栓修繕	9か所	24か所	14か所
消火栓新設	-	-	-
防火水槽	-	修繕2	修繕1、撤去1、標識更新17

【成果】 消火栓等の維持管理を行い、火災予防・消防団活動の安全確保を行った。

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	4 災害対策費	38,488千円	37,401千円

①災害対策事業 4,746 千円

- ・備蓄品購入費 1,440 千円(液体ミルク、飲料水、毛布、マジックライスほか)
- ・災害対策費用保険掛金 864 千円
- ・火災見舞金 1件 100 千円
(防災訓練等の状況)

区分		H30年度	R1年度	R2年度
防災会議	開催日	H31.3.19	R2.3.5	R3.2.17
	内容	計画の見直し等	計画の見直し等	計画の見直し等
防災訓練	開催日	H30.9.2	R1.9.1	R2.9.6
	主会場	大栄小学校	北条改善センター	大栄中学校
	想定	水害	水害	水害/コロナ対策
防災士資格 取得(累計)	町職員	1人	0人	1人(累計14人)
	一般	3人	10人	3人(累計20人)
他市町村災害への 職員応援派遣		島根県大田市4人 広島県坂町2人 岡山県倉敷市6人	長野県飯山市2人	派遣なし

(警報等による町の警戒等体制の配備状況)

区分	H30年度	R1年度	R2年度
警戒体制配備	大雨等4	暴風2	大雨2、大雪等4
非常体制配備	大雨等1	-	-
避難所開設	大雨等3	-	-
避難勧告・指示	勧告1	-	-

※大雨等
=大雨警報、洪水警報
※大雪等
=大雪警報、暴風雪警報

【成果】 防災士の意見交換会を8月7日に開催。活動の状況や町に対する意見・要望等を聞いたほか、訓練や備蓄品の整備等により防災体制の充実を図った。

9月6日の町防災訓練は、新型コロナウイルス感染対策のため、体温測定、手指消毒などを追加して実施。町民130人が参加した。写真は一場面



②自主防災組織育成事業 4,495 千円

自主防災組織、自衛消防団の運営及び訓練や資機材購入に対して、交付金等を支給した。
(自主防災組織等の状況)

区分		H30年度	R1年度	R2年度
自主防災	組織設置数	47組織	48組織	48組織
	訓練活動数	35組織	34組織	42組織
	資機材整備数	9組織	5組織	4組織
自衛消防	自衛消防団(隊)数	50団、4隊	50団、4隊	50団、4隊
	消防器具整備数	38組織	41組織	39組織

【成果】 事業の周知等により、訓練活動が増加した。

③空家等対策事業 25,300 千円

- ・助言等の実施件数 助言指導18件、勧告5件、命令事前通知2件
- ・北栄町初の”略式代執行”による空家解体を実施 1件、6,737千円
(空家除却費助成等の状況)

区分		H30年度	R1年度	R2年度
老朽危険空家 除却費助成	件数	9件	8件	10件
	金額	8,937千円	18,566千円	16,600千円
空家把握数(年度末)		313件	298件	284件

【成果】 危険空家の除却を促し、地域住民の安心・安全に寄与した。

④自治会除雪活動支援事業 1,190 千円

(除雪等補助の状況)・・・いずれも1/2補助

区 分		H30年度	R1年度	R2年度	※延べ数
除雪費用	自治会数	-	-	54自治会	
	金額	-	-	1,190千円	
除雪機購入	自治会数	2自治会	-	-	
	金額	381千円	-	-	

⑤被災者住宅再建支援基金積立事業 1,275 千円

指定自然災害で被害を受けた世帯へ給付金を支給のための基金拠出(H30年度から10年間)

・被災者住宅再建支援交付金 1,275 千円

⑥災害対応人件費事業 395 千円

・警戒体制配備による職員給与費 395 千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																																				
		目	1 一般管理費	1,157,140千円	1,136,463千円																																				
<p>①ふるさと北栄基金事業 639,057千円 頂戴した寄附金を次年度の財源とするため基金への積み立てを行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金残高(千円)</td> <td>109,816 (193,072)</td> <td>238,610 (487,414)</td> <td>305,786 (639,046)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は、寄附金額 ※寄附金から経費(返礼品など)を差し引いた額を積み立てた。</p> <p>【成果】 1万円以上の寄附金の設定について、1万円刻みから千円刻みにし寄附をしやすくしたことや返礼品の充実を図ったことにより、前年より寄附金は大幅に増加した。事務費を差し引いた額を積み立て次年度の財源とすることができた。</p>						年度	H30	R1	R2	基金残高(千円)	109,816 (193,072)	238,610 (487,414)	305,786 (639,046)																												
年度	H30	R1	R2																																						
基金残高(千円)	109,816 (193,072)	238,610 (487,414)	305,786 (639,046)																																						
<p>②行政改革事業 35,956千円 行政改革の取り組み 大栄庁舎総合窓口業務、北条支所総合窓口業務、庶務業務の民間委託を継続して行った。 委託契約期間:令和3年9月30日まで</p> <p>【成果】 業務の一部を民間に委託したことで、窓口サービスのワンストップ化による住民の利便性の向上と職員の負担軽減により職員が行うべき業務の質の向上を図ることができた。</p>																																									
<p>③統一的な基準による地方公会計整備事業 1,684千円 財務書類(貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書)の作成支援業務を委託し、令和元年度決算に係る財務書類を作成した。</p> <p>【成果】 統一的な基準による令和元年度決算財務書類を作成して明らかになった財務情報を公表することにより、従来の現金主義会計による決算を補完することができた。</p>																																									
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																																				
		目	2 広報費	8,011千円	7,901千円																																				
<p>①広報事業 7,901千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町報印刷 3,465千円 「広報 北栄」を発行し、行政情報の提供、町の動きの紹介等を行い住民と行政の一体化を図った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べページ数</td> <td>248ページ</td> <td>244ページ</td> <td>252ページ</td> </tr> <tr> <td>発行部数(部/月)</td> <td>5,600</td> <td>5,600</td> <td>5,600</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・北栄町合併15周年町勢要覧作成 3,427千円 北栄町が有する自然、歴史、文化等の情報や、町勢及び現況を広く紹介できるものを作成した。海外にも北栄町をPRするため、外国語版(英語版・繁体字版)も作成した。 ・ホームページ保守業務 772千円 ホームページで情報提供を行った。 ・情報発信の取り組み フェイスブック、ユーチューブ、ツイッター、インスタグラムなどを活用し、町のイベントや行政情報など、こまめに情報を発信した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フェイスブック「いいね！」(投稿数)</td> <td>3,510 (762)</td> <td>3,958 (762)</td> <td>4,112 (722)</td> </tr> <tr> <td>ツイッター「フォロワー数」(投稿数)</td> <td>1,311 (972)</td> <td>2,283 (693)</td> <td>2,728 (427)</td> </tr> <tr> <td>インスタグラム「フォロワー数」(投稿数)</td> <td>395 (172)</td> <td>1,050 (851)</td> <td>1,489 (135)</td> </tr> <tr> <td>ユーチューブ「フォロワー数」(投稿数)</td> <td>421 (35)</td> <td>859 (52)</td> <td>1,350 (14)</td> </tr> <tr> <td>外国人向け紹介動画の作成(英語)</td> <td>3本</td> <td>6本</td> <td>2本</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H30	R1	R2	延べページ数	248ページ	244ページ	252ページ	発行部数(部/月)	5,600	5,600	5,600	年度	H30	R1	R2	フェイスブック「いいね！」(投稿数)	3,510 (762)	3,958 (762)	4,112 (722)	ツイッター「フォロワー数」(投稿数)	1,311 (972)	2,283 (693)	2,728 (427)	インスタグラム「フォロワー数」(投稿数)	395 (172)	1,050 (851)	1,489 (135)	ユーチューブ「フォロワー数」(投稿数)	421 (35)	859 (52)	1,350 (14)	外国人向け紹介動画の作成(英語)	3本	6本	2本
年度	H30	R1	R2																																						
延べページ数	248ページ	244ページ	252ページ																																						
発行部数(部/月)	5,600	5,600	5,600																																						
年度	H30	R1	R2																																						
フェイスブック「いいね！」(投稿数)	3,510 (762)	3,958 (762)	4,112 (722)																																						
ツイッター「フォロワー数」(投稿数)	1,311 (972)	2,283 (693)	2,728 (427)																																						
インスタグラム「フォロワー数」(投稿数)	395 (172)	1,050 (851)	1,489 (135)																																						
ユーチューブ「フォロワー数」(投稿数)	421 (35)	859 (52)	1,350 (14)																																						
外国人向け紹介動画の作成(英語)	3本	6本	2本																																						

・外部広報誌仕分け作業委託料 120 千円
 県等が発行する広報誌の仕分け作業を障がい者就労施設に委託した。

【成果】 合併15周年町勢要覧を作成することで、町内外に北栄町の魅力を広く発信するとともに町への理解を深めてもらった。
 また、SNSを活用し、町の魅力を即時的に情報発信することができた。



©青山剛昌／小学館

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	4 財産管理費	509,975千円	497,271千円

①財政調整基金積立金事業 2,165千円

将来の財政対応のため町の「貯金」にあたる財政調整基金の積み立てを行った。

年度	H30	R1	R2
基金残高(千円)	1,551,691	1,633,660	1,459,187

【成果】 一部積み立てを行ったが、最終的に財政調整基金残額は減少した。

②減債基金積立金事業 4千円

将来の起債償還財源となる減債基金の積み立てを行った。

年度	H30	R1	R2
基金残高(千円)	44,049	44,058	44,062

【成果】 基金利息分の積み増しをすることができた。

③普通財産管理事業 1,797千円

町有地の維持管理、町有地売却業務の民間委託、町有地の貸付、不要財産の売却を行った。

年度	H30	R1	R2
貸付額(千円)	8,125	4,812	4,095
売却額(千円)	78,151	2,873	2,796

【成果】 町有地、町有財産の管理を行い、所有財産を適切に維持することができた。
 また、未利用町有地の貸付と不要財産の売却により、歳入の確保につなげた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	29,993千円	29,083千円

①企画事業 2,611千円

倉吉未来中心管理運営負担金 1,312 千円
 政策研究調査 990 千円
 第2次まちづくりビジョン概要版 167 千円

【成果】 政策研究により課題や事例を研究し、テレワークやRPA化の推進を図った。
 ・政策研究調査
 「北栄町テレワーク運用方針策定」「RPA化」

②女性団体連絡協議会補助金事業 29千円

町内11団体で組織する女性団体連絡協議会に対し、補助金を交付した。

【成果】 日本女性会議への参加、女性と町長と語る会の開催等、男女共同参画社会の実現に向けて広く町民に啓発を図る女性団体連絡協議会の活動に対し補助金を交付した。

③地域の自立活性化活動支援交付金事業 531千円

地域の活性化・自立に向けて積極的な活動を行おうとするコミュニティに対し、人的及び財政的支援を行った。

年度	H30	R1	R2
交付金交付コミュニティ数	7団体	6団体	5団体

【成果】 地域振興につながるイベントや取り組みが実施されたことにより、地域活性化が図られた。



持続可能な自治会の構築をめざす(高千穂自治会)



地域防災を学びながら、楽しく散歩(土下楽しもう会)

④交通対策事業 12,763千円

・路線維持費補助金 10,940千円

輸送人員の減少により地域住民の生活に必要なバス路線の維持が困難となっていることから、補助制度により生活交通路線として必要なバス路線の運行維持を図った。

種類		補助金額(千円)				
		H30	R1	R2		
日交	国庫	北条線(西倉吉～倉吉駅～江北～由良駅)	路線維持費補填分	3,153	3,293	2,371
			路線維持費嵩上げ分	918	600	1,595
	計		4,071	3,893	3,966	
日ノ丸バス	国庫	赤碕線(倉吉駅～由良駅入口～赤碕駅)	路線維持費補填分	4,887	5,537	2,100
			路線維持費嵩上げ分	3,346	4,098	4,138
	広域	栄線(倉吉駅～西亀谷)	広域バス路線維持費分	643	685	736
	計		8,876	10,320	6,974	
合計			12,947	14,213	10,940	

・乗りあいタクシー運行支援事業費補助金 872千円

利用者の減少により地域住民の日常生活に必要なバス路線の維持が困難な地域において、住民の生活交通の確保を図る事業(乗りあいタクシー)に対し補助を行った。

年度		H30	R1	R2
乗りあいタクシー	利用者数(人)	306	303	412
	補助金額(千円)	669	625	872

・鳥取砂丘コナン空港連絡バス運行支援事業補助金 740千円

空港連絡バスの倉吉駅から青山剛昌ふるさと館の運行に必要な経費を補助することにより、運行の維持を図った。

年度		H30	R1	R2
鳥取砂丘コナン空港連絡バス	利用者数(人)	1,360	1,441	190
	補助金額(千円)	0	0	740

【成果】 地域住民の生活交通路線及び観光客の移動手段を確保するため、補助制度によりバス路線、乗りあいタクシーの運行の維持を図った。

⑤コミュニティ助成事業 11,000千円

一般財団法人自治総合センターが実施する助成事業を活用し、コミュニティの健全な発展を図るため、活動に必要な施設や設備の整備に対する助成金を交付した。

年度	H30	R1	R2
交付金交付自治会	下種	北尾、西高尾	国坂、みどり二区、大島、由良宿7区

【成果】 整備により、自治会活動の活性化を図るとともに、自治会に安心して集える環境を整えた。



大島支え愛センター(大島自治会)

⑥しあわせ♡創生事業 1,100千円

- ・広域婚活事業負担金 200千円
鳥取中部ふるさと広域連合において、中部市町共同で婚活事業を行った。
婚活セミナー(動画配信)公開期間4回、イベント・パーティ6回
- ・結婚新生活支援事業補助金 900千円
新生活生活を応援するため、新居の住居費や引越費用を支援した。(支援件数3件)

【成果】 婚活イベント・パーティ参加者:男性 延べ52人 女性 延べ51人
婚活イベント・パーティでのカップル成立数:16組(うち町内8組)

⑦官学連携事業 37千円

- 高校、大学と連携し、地域をフィールドにした実習、地域課題の研究を行った。
- ・地域探究の時間(鳥取中央育英高校)
- ・Let's Go北栄ツアー(鳥取中央育英高校、鳥取大学、由良宿まちづくりの会等)

【成果】 地域の課題解決、地域価値の創造に取り組むとともに、将来地域を担う人材育成に寄与した。



地域探究の時間「商品開発 白バラいちごシフォン」



高校生ガイドによる「Let's go北栄ツアー2020」(10月24日)

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	20 持続可能なまちづくり推進費	20,230千円	20,099千円

①SDGs推進事業 295千円

SDGs推進の取り組み

「第2次北栄町まちづくりビジョン」にSDGs推進を明記するとともに、SDGsに取り組もうとする住民や事業所等と意識を共有するため、議員や職員、委員等のSDGsバッジ着用を開始した。

【成果】 北栄町が一体となってSDGs推進に取り組むため、将来ビジョンと取り組みを明らかにし、意識の共有を図ることができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	40 新型コロナウイルス臨時 交付金事業費	498,767千円	468,291千円

国の補正予算で創設された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して以下の事業を行った。

個人を対象とした事業(9事業)

事業名	決算額	事業概要	成果
①学生生活支援事業	32,200千円	大学、専門学校等に就学している町在住及び町出身の学生の生活費の負担を支えるため、給付金を給付した。 自宅外通学者:100千円/人 自宅通学者:50千円/人	新型コロナウイルスの影響がある大学生等へ生活支援を行うことができた。 自宅外通学者:287人 自宅通学者:70人
②生活支援水道料金助成繰出金事業	23,513千円	町民の感染予防対策等により拡大した水道使用量に対する生活支援として、全世帯・全事業者の上水道基本料金を3か月間免除した。	新型コロナウイルスの感染予防対策等により増加した各世帯の経済負担の軽減が図られた。
③町指定ごみ袋配布事業	4,084千円	生活支援、感染症感染予防のために、各家庭へ町指定ごみ袋(大・25枚)を配布した。	経済的な影響を受けた世帯の負担軽減及びごみ袋にコロナ関連ごみを詰め込みすぎないことで破裂等を防止し、感染予防が図られた。
④学校等給食用食材提供事業	21,551千円	こども園、小中学校に通う町内児童の給食費を3か月分免除した。	新型コロナウイルスにより経済的な影響を受けた子育て世帯の負担軽減が図られた。
⑤生活支援・消費喚起北栄商品券配布事業	135,382千円	町民の生活支援と地域経済活性化のための消費喚起を目的として、ほくえい商品券を全世帯に配布した。 配布額:10千円/人	使用率が98%を超え、町民の生活支援と地域経済活性化のための消費喚起が図られた。
⑥修学旅行負担軽減事業	470千円	小中学校の修学旅行が感染防止を目的に延期されたことにより、旅行費用が当初予定していたものより超過した費用分を補助した。	新型コロナウイルス感染対策を考慮した、児童生徒の安心安全な修学旅行の実施及び、その超過分を補助することによって保護者の負担軽減が図られた。
⑦ウォーキングイベント事業	1,213千円	外出自粛による運動不足から脱却し、コロナに負けない強い身体づくりへの一歩となるウォーキングイベントを開催した。 10/3(土) 満天☆星空ウォーク(北条改善センター～山菜の里 約6キロ)	外出自粛による運動不足の解消が図られた。また星取県のビュースポットの一つとなっている蜘蛛ヶ家山山菜の里までの道のりを歩くことにより、北栄町の魅力を再発見することができた。 (参加者数 200名)
⑧区域外学校通学者給食費負担軽減事業	449千円	区域外の小中学校に通う児童生徒の給食費3か月相当額を上限に給付金を給付した。	新型コロナウイルスにより経済的な影響を受けた子育て世帯の負担軽減が図られた。

⑨生活困窮者に対する生活応援事業	287千円	生活困窮状態にある者に対し、困窮状態から脱却するための相談につなげるとともに、感染予防物品および緊急の食糧支援を行った。	新たな生活困窮者の相談につながったほか、困窮者の感染予防や食糧支援を行うことが出来た。
------------------	-------	--	---

事業者を対象とした事業(14事業)

事業名	決算額	事業概要	成果
⑩新型コロナ対策 利子補助事業(単 独)	6,335千円	新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者への利子補助を行い、事業者の事業継続を支援した。	204件の利子補助を行うことで、資金面の安定と事業継続につながった。
⑪中小企業等持続 化補助金事業	56,340千円	町内に事業所を置く中小企業者等に従業員数に応じた助成を行い、事業継続に対する支援を行った。	171件の中小企業者等に支援を行い、事業の継続と雇用の確保につながった。
⑫テイクアウト・デ リバリー等応援事 業	1,963千円	新型コロナウイルスの感染症の拡大に伴う外出自粛により、客数が急激に減少した町内飲食店を支援するために、商工会が実施した飲食店の利用を促すクーポン券事業に対して助成を行った。	16,281枚のクーポン券を発行し、町民が地域の飲食店を利用することで地域内循環と事業の継続につながった。
⑬飲食・宿泊・観光 特別持続化給付金 事業	7,200千円	外出需要の落ち込み、観光客の減少に伴い経営に影響を受けている町内の飲食店、宿泊業、貸切バス及び観光用レンタカー事業者に対し給付金を給付した。	外出自粛等で低迷する34件の飲食店等に対し、給付金を支給することで事業継続につながった。
⑭マタニティささえ あい補助金事業	300千円	町内に事業所を置く事業者で、直接雇用する妊娠中の方に対して、新型コロナウイルスの感染防止に配慮するため、賃金を減額せず休暇を取得させた事業者に対して、対象者1人につき1日15,000円上限75,000円を助成した。	妊婦の感染拡大を防止するとともに、事業所が安心して業務を継続することができた。(4件)
⑮中小企業等イ メージアップ推進 事業	31,157千円	減少した顧客を取り戻すために、町内事業者が実施したPRや店舗リニューアルに必要な経費に対して、補助した。	71件の中小企業者等に支援を行い、アフターコロナを見据えた集客力を高める取り組みにつながった。
⑯食と農の魅力創 造支援事業	49千円	町内農業者及び飲食事業者による町内農産物を活用した加工品・メニュー開発及びPRにかかる経費、町内農業者及び生産者組織による販売促進にかかる経費に対して補助した。	JA花き部会が展示会やイベントなどで活用するためのハッピを作成し、北栄町産の花きのPRと販売促進につながった。

⑰ほくえい味覚めぐり事業	1,223千円	客足が減少し、業況が悪化している町内観光農園及びカフェの周遊を促進するため、割引クーポン券を発行した。	3,983枚のクーポン券を発行し、効果的なPRや集客の促進につながった。
⑱鳥取中部「おでかけ応援キャンペーン」負担金事業	1,300千円	継続的な誘客に繋げるため、鳥取中部観光推進機構が主体となって行う事業に対して、県中部1市4町で負担した。 【事業内容】 宿泊を伴う観光客1,000名に上限額1,000円のクーポンを交付した。	クーポンを利用した県外観光客がSNSで告知することで、観光需要回復に向けた旅行意欲の喚起につなげることができた。
⑲グルメストリートキャンペーン負担金事業	200千円	地域事業者への消費を推進させるため、鳥取中部観光推進機構が主体となって行う事業に対して、県中部3町で負担した。 【事業内容】 山陰道でつながる県中部3町を「食」をテーマとしたグルメストリートと定めキャンペーンを実施。 対象地域、対象店舗間でスタンプラリーを行い、スタンプを集めることで地元特産品が当たる抽選に応募することができる。	県外誘客が困難なコロナ禍にあって、県民が中部3町の複数の対象店舗を巡ることで、地元需要を喚起することができた。
⑳観光バス応援クーポン事業	2,742千円	町内観光バス事業者を支援するため、町民を含む団体が利用することができる割引クーポン券を発行した。 日帰り:3万円、宿泊5万円 (※バス代金が割引額を下回る場合は1/2)	学校活動、旅行に係る町内観光バス事業者の利用を促進し、事業継続につながった。 (76件)
㉑医療機関包括支援交付金事業	1,400千円	新型コロナウイルス感染症対応により経営が厳しくなった町内医療機関に交付金を交付した。	支援金の支給により、医療機関での感染症対策が進むとともに、経営が安定し住民が安心して受診できるようになった。
㉒中小企業緊急支援補助金事業	600千円	令和3年1月から2月の期間の売上が前年同月と比較して70%以上減少しており、かつ1名以上の常用雇用がある町内に事業所を置く中小企業者等に一律20万円を補助した。	令和3年1月に都市部において発出された緊急事態宣言により大きな影響を受けた3件の中小企業者等を支援することにより事業の継続につながった。
㉓町内消費拡大支援事業	10,000千円	町商工会が実施するキャッシュレス決済・地域活性化ポイントカードの導入に必要な経費を補助した。	システム導入を支援することにより、キャッシュレス及び地域内循環の基盤を整えることができた。

農業を対象とした事業(7事業)

事業名	決算額	事業概要	成果
㉔緊急雇用対策農林水産ささえあい事業	50千円	新型コロナウイルス感染症の影響により、一定期間農作業ができない農業者の事業継続を支援した。	新型コロナウイルスにより収穫ができなかった1農家について、収穫の援農を行い、営農の継続につながった。
㉕農林水産物流通改善支援事業	238千円	町の特産品である大栄西瓜、長芋、らっきょう、ぶどうのブランド力を高めるためにパンフレット作成及び著名人へ町農産物を贈り、SNSを使って宣伝して頂くことでPR効果を高める取り組みを行った。	著名人に西瓜及びポストカードを送りその著名人のSNSで効果的なPRを行うことができた。 (パンフレット作成は令和3年度へ繰越)
㉖農産物ブランド推進活動支援事業	468千円	すいか・ながいも健康マラソン大会の中止による農産物の販売に対する影響の緩和と来年度以降の大会への参加推進のため、町内農産物直売所の利用で大会申込者1人当たり1,000円の割引を行った。	すいか・ながいも健康マラソン大会の参加申込者へ通知した結果、468名から申し込みがあり、すいか・ながいもの販売について各1,000円の割引を行い、北栄町農産物の魅力に触れる機会を提供できた。
㉗地元産材活用支援事業	1,125千円	地元産材の消費拡大、地産地消による食育のため、町内産食材を給食等で優先的に使用した。	地元産材の利用により、消費拡大や生徒への食育が図られた。
㉘肉用牛肥育緊急支援事業	2,181千円	和牛肥育農家の経営安定のため、肉用牛肥育経営安定対策(牛マルキン)を拡充した。 ※標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割が国の牛マルキン制度で補償されるが、補償されない部分(補てん差1割部分)について1/4を補助した。	補償の拡充により、生産者の負担を軽減し、営農の継続につながった。
㉙肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)積立金支援事業	8,470千円	和牛肥育農家の経営安定のため、肉用牛肥育経営安定対策(牛マルキン)を拡充した。 ※牛マルキン制度による補償金造成に必要な生産者積立金について1/3を補助した。	補償の拡充により、生産者の負担を軽減し、営農の継続につながった。
㉚北条ワイン×鳥取和牛 プレー！富玲！×鳥取和牛 販売キャンペーン事業	12,640千円	価格が戻らない牛肉の家庭向け消費拡大と売上が落ち込む酒蔵・醸造所を支援するため、牛肉と日本酒・ワインのセット商品の開発と販売キャンペーンに必要な費用を補助した。	町内で新型コロナウイルスにより大きな影響を受けている北条ワイン醸造所・梅津酒造及び鳥取東伯ミートの762件のセット販売につながり、特産品のPRと消費喚起を促した。

環境整備に関する事業(11事業)

③①公共的空間安全・安心確保事業	1,463千円	青山剛昌ふるさと館に検温アラーム付デジタルサイネージを導入した。	入館前の非接触検温が可能になったことで、ふるさと館入館者の安全・安心が確保できた。
③②新型コロナウイルス感染症対策事業	3,041千円	避難所等の感染症対策のため、消毒液や空気清浄機等の確保を行った。	避難所等の感染症対策の充実につながった。 (消毒液やウイルス分解装置10台を購入)
③③必要物品供給事業	3,148千円	町内の自治会、介護・障がい者施設、こども園、学校等に衛生用品(マスク、手指アルコールなど)を供給した。	当時、入手が困難だったマスク、手指アルコールを供給することが出来たため、感染予防に役立った。
③④北栄町花いっぱい支援事業	4,150千円	自粛要請等により花きの需要が減少する中、公共施設等に花きを飾ることによって需要を高めるとともに、利用者に癒しを提供した。	町内の花農家及び花販売事業者と連携し、町内の子ども園や介護施設などへ花苗や生け花などを送り、新型コロナウイルスで自粛のつづく生活に癒しを提供するとともに、町内で生産している花苗のPRを行うことができた。
③⑤GIGAスクール構想整備事業	51,819千円	学習機会確保のため学校・自宅での非接触型オンライン学習を可能とするGIGAスクール構想の早期実現に向けて、小中学校児童生徒に一人1台タブレットPCを配備した。	情報端末を整備し、非接触型オンライン学習環境を整えた。
③⑥学校保健特別対策事業	14,752千円	小中学校の感染症対策を徹底するために必要な物品を購入し、また、換気のための網戸を設置した。	小中学校の感染症対策に必要な物品を購入し、児童生徒が安心して通える環境を整えた。
③⑦通いの場安心・安全確保事業	935千円	「いきいきサロン」や「こけないからだ体操」などの通いの場に安心して参加できるように、各自治会に非接触型体温計を配布した。	高齢者が身近な通いの場に安心して参加できるようになったほか、各自治会の会合の際など広く使用され、感染防止に役立った。
③⑧図書館パワーアップ事業	1,991千円	図書館に図書消毒機・防炎型の透明ビニールフィルムを導入した。	新型コロナウイルス感染対策として設置し、利用者の安心、安全が確保できた。
③⑨避難所複合災害対策事業	1,889千円	新型コロナウイルスへの対応を踏まえた避難所の衛生環境・居住性の向上対策のため、折り畳み簡易ベッドや簡易型避難所テントなどの必要な物品を購入した。	避難所に必要な物品等の充実につながった。 (間仕切り、テント、簡易ベッド、テレビの購入及び避難所のwifi環境を整備)

	④遠隔・オンライン学習環境整備事業	3,456千円	町内7施設(B&G海洋センター、中央公民館、中央公民館大栄分館、図書館、ほくほくプラザ、北栄みらい伝承館)にWi-Fi環境および必要な備品を整備した。	Wi-Fi環境やタブレット端末などを整備し、リモート会議やタブレット端末を使った講座などを実施した。 (タブレット端末14台、ノートPC1台、プロジェクター1台、ビデオカメラ1台 導入)	
	④テレワーク・分散勤務導入事業	16,515千円	新型コロナウイルス感染症対策のため、町の職員がテレワークや分散勤務に対応できるよう、環境の構築を行った。	クラスター発生による庁舎の閉鎖中における在宅勤務、その後の分散勤務に有効に利用することができた。 (テレワークタブレット27台、分散勤務用パソコン70台を購入)	
款	2 総務費	項	5 統計調査費	予算現額	決算額
		目	1 統計費	5,439千円	5,323千円
①統計調査事業		5,323千円			
主な調査		国勢調査 工業統計調査			
【成果】 各種統計調査を円滑に進めることができた。					
款	10 公債費	項	1 公債費	予算現額	決算額
		目	1 元金	762,575千円	762,575千円
①町債償還元金事業		762,575千円			
年度		H30	R1	R2	
起債残高(千円)		7,404,470	7,125,356	7,366,453	
【成果】 適切な管理のもと計画に沿った償還業務を実施することができた。					
款	10 公債費	項	1 公債費	予算現額	決算額
		目	2 利子	39,423千円	32,170千円
①町債償還利子事業		32,170千円			

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	29,993千円	29,083千円

①消費者行政推進事業 959千円

消費生活相談窓口(町民課内)及び中部消費生活センター(専門相談員設置)にて消費者相談の受付・対応を行った。

年 度	H30	R1	R2
相談受付件数	78	82	56

町報やチラシなどを通じ、消費者トラブルについて注意喚起を行ったほか、中部消費生活センター相談員と連携し、出前講座など地域住民への啓発活動を実施した。

7月には、小学生向けの金銭講座を実施した。

・出前講座(シニアクラブ)	1回
・消費者講座等での啓発活動	4回
・チラシ、パンフレット配布等での啓発活動	2回

【成果】 専門相談員を置く中部消費生活センターとの連携により、相談体制が充実した。地域住民への各種啓発活動(消費者講座等)により、特殊詐欺などの情報提供を行い、消費者被害の予防に努め、『くらしの安心・安全』につなげることができた。

款	2 総務費	項	2 徴税费	予算現額	決算額
		目	1 税務総務費	84,957千円	83,870千円

①税務総務事業 4,929 千円

コンビニ収納手数料 742 千円
土地管理システム等経費 3,574 千円 など

【成果】 経常的な税務事務を実施し、課税や徴収環境の安定を図ることができた。

②税務総務関係負担金事業 1,256 千円

軽自動車事務取扱事務費負担金 796 千円
地方税共同機構負担金 320 千円

【成果】 負担により必要な税務情報を入手し、適正課税に繋がった。

③中部ふるさと広域連合負担金事業 4,350 千円

(単位:千円)

滞納徴収分	H30	R1	R2	
広域連合負担金	8,828	7,994	7,386	※国保会計分を含む。
広域連合徴収額	6,795	7,355	3,685	※延滞金含む

(単位:千円)

年度	徴収状況				処理状況				
	委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率
		本税(B)	延滞金			完結	執行停止	取消	
H30	10,546	4,852	1,943	46.01%	70	48	2	0	71.43%
R1	9,511	6,339	1,016	66.65%	75	57	2	0	78.67%
R2	6,363	2,719	966	42.73%	54	38	1	0	72.22%

【成果】 令和2年度は、新型コロナの影響から臨戸や搜索に制限がかかったものの、累積滞納案件が着実に減少している。

款	2 総務費	項	2 徴税费	予算現額	決算額
		目	2 賦課徴収費	4,581千円	3,975千円

①賦課徴収事務事業 3,975 千円

過誤納還付金 3,134 千円 納付書等印刷費 655 千円 など

【成果】 きめ細やかな催告や調査を実施し、新型コロナの影響による徴収率の低下を最小限にすることができた。

・徴収率の状況

(単位:千円・%)

区 分	徴収率 b/(a-c)			R2年度の収納状況		
	H30	R1	R2	調定額a	収入額b	不納欠損c
町民税(個人+法人)	99.4	99.6	99.5	602,764	599,830	122
現年課税分	99.6	99.7	99.7	600,061	598,353	0
滞納繰越分	61.1	71.3	57.3	2,702	1,478	122
固定資産税	98.7	99.1	97.1	689,109	669,219	246
現年課税分	99.6	99.7	97.6	682,724	666,640	0
滞納繰越分	0.0	39.0	42.0	6,385	2,579	246
軽自動車税	99.4	99.6	99.7	67,179	66,923	31
現年課税分	99.7	99.7	99.8	66,909	66,767	0
滞納繰越分	61.0	64.1	65.3	270	156	31
町たばこ税	100.0	100.0	100.0	84,979	84,979	0
現年課税分	100.0	100.0	100.0	84,979	84,979	0
小 計 (税合計)	99.1	99.4	98.4	1,444,030	1,420,950	398
現年課税分	99.6	99.7	98.7	1,434,673	1,416,738	0
滞納繰越分	40.5	51.1	47.0	9,357	4,213	398
国民健康保険税	97.9	97.9	98.2	425,873	417,833	310
現年課税分	98.7	98.5	99.0	416,702	412,402	0
滞納繰越分	59.1	68.7	61.3	9,170	5,432	310
介護保険料	99.6	99.6	99.7	358,624	357,442	5
現年課税分	99.8	99.7	99.7	357,303	356,355	0
滞納繰越分	73.1	76.3	82.6	1,321	1,086	5
後期高齢者医療保険料	99.7	99.5	99.6	128,770	128,290	0
現年課税分	99.9	99.6	99.7	128,184	127,764	0
滞納繰越分	54.9	43.1	89.7	586	526	0
小 計 (保険合計)	98.8	98.8	99.0	913,266	903,565	315
現年課税分	99.3	99.1	99.4	902,189	896,521	0
滞納繰越分	61.4	68.9	65.5	11,077	7,044	315
合 計	99.0	99.1	98.6	2,357,296	2,324,515	714
現年課税分	99.5	99.5	99.0	2,336,863	2,313,259	0
滞納繰越分	51.2	60.1	57.1	20,434	11,256	714

・税等の収納比率 (上段:R2年度、中段:R1年度、下段H30年度)

区 分	口座振替	コンビニ	町差押え	広域連合	特別徴収	窓口等	合計
町・県民税	15.1 %	4.4 %	0.0 %	0.0 %	75.4 %	5.1 %	100%
	18.9 %	4.1 %	0.1 %	0.3 %	73.5 %	3.1 %	100%
	17.4 %	3.3 %	0.0 %	0.1 %	67.1 %	12.1 %	100%
固定資産税	51.8 %	8.8 %	0.1 %	0.0 %	- %	39.3 %	100%
	49.6 %	7.5 %	0.2 %	0.1 %	- %	42.6 %	100%
	51.2 %	7.4 %	0.2 %	0.1 %	- %	41.1 %	100%
軽自動車税	47.0 %	29.7 %	0.0 %	1.0 %	- %	22.2 %	100%
	46.9 %	29.3 %	0.1 %	0.2 %	- %	23.5 %	100%
	48.2 %	27.4 %	0.1 %	0.3 %	- %	24.0 %	100%
国民健康保険税	64.9 %	9.1 %	0.0 %	0.3 %	13.7 %	12.0 %	100%
	70.5 %	8.4 %	0.2 %	0.7 %	12.3 %	7.9 %	100%
	66.5 %	7.7 %	0.4 %	0.6 %	12.0 %	12.8 %	100%
介護保険料	1.6 %	1.9 %	0.1 %	- %	93.9 %	2.5 %	100%
	1.6 %	1.6 %	0.1 %	- %	93.1 %	3.6 %	100%
	1.6 %	1.7 %	0.2 %	- %	93.9 %	2.6 %	100%
後期高齢者医療保険料	13.3 %	2.0 %	0.2 %	- %	76.1 %	8.3 %	100%
	15.0 %	2.1 %	0.1 %	- %	74.3 %	8.5 %	100%
	15.6 %	1.0 %	0.2 %	- %	76.1 %	7.1 %	100%

※それぞれの合計が小数点以下の関係で100%にならない場合があります。

款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	予算現額	決算額
		目	1 戸籍住民基本台帳費	53,246千円	50,120千円

①戸籍及び住民登録事務事業 11,828千円

・住民基本台帳事務関係

令和3年3月末の住民基本台帳人口は14,720人、世帯数は5,417世帯で、令和2年3月末と比較して人口は134人減少し、世帯は9世帯の増加であった。

(1)住民基本台帳人口及び世帯数(年齢階層別人口)

単位:人

年度		H30	R1	R2	対前年比
年齢	区分				
年少人口 (0~14歳)	男	968	973	954	△ 19
	女	909	872	861	△ 11
	計	1,877	1,845	1,815	△ 30
	構成比率	12.48%	12.42%	12.33%	-0.09%
生産年齢人口 (15~64歳)	男	4,109	4,002	3,906	△ 96
	女	4,015	3,911	3,826	△ 85
	計	8,124	7,913	7,732	△ 181
	構成比率	54.00%	53.27%	52.53%	-0.74%
老年人口 (65歳以上)	男	2,156	2,187	2,216	29
	女	2,888	2,909	2,957	48
	計	5,044	5,096	5,173	77
	構成比率	33.53%	34.31%	35.14%	0.83%
合計	男	7,233	7,162	7,076	△ 86
	女	7,812	7,692	7,644	△ 48
	計	15,045	14,854	14,720	△ 134
世帯数		5,352世帯	5,408世帯	5,417世帯	9世帯
(再掲) 75歳以上	男	939	942	949	7
	女	1,605	1,592	1,567	△ 25
	計	2,544	2,534	2,516	△ 18
	構成比率	16.91%	17.06%	17.09%	0.03%

(2)住民基本台帳関係事務処理数

単位:人

年度	H30	R1	R2
転入者	343	343	378
出生者	89	103	80
その他	8	5	6
計(A)	440	451	464
転出者	398	400	402
死亡者	190	238	192
その他	3	4	4
計(B)	591	642	598

単位:件

種別	件数
転居	110
世帯変更	165
職権修正	211
違反通知	0
戸籍の附票	2,165
計	2,651

社会増減	△ 55	△ 57	△ 24
自然増減	△ 101	△ 135	△ 112
その他	5	1	2
計(A)-(B)	△ 151	△ 191	△ 134

(3)印鑑登録関係件数

単位:件

年度	H30	R1	R2
登録 (うち再登録)	518 (229)	476 (196)	463 (198)
抹消	565	586	523
年度末登録者数	10,630人	10,520人	10,460人

・戸籍事務関係事業

(1)本籍数及び本籍人口など

年度	H30	R1	R2
本籍数	8,399戸籍	8,322戸籍	8,254戸籍
本籍人口	20,274人	20,030人	19,850人

(2)戸籍届書の取扱い件数

単位:件

事件の種類	年度	H30	R1	R2
出生		194	179	162
国籍留保		0	0	1
認知		4	2	3
養子縁組		27	12	15
養子離縁		6	7	0
離縁の際に称していた氏を称する届		0	0	0
婚姻		201	199	178
離婚		35	41	29
離婚の際に称していた氏を称する届		18	16	11
親権変更		0	0	0
死亡		253	301	265
失踪		0	0	0
復氏		0	0	0
姻族関係終了		0	1	0
入籍		27	41	17
分籍		5	3	4
帰化		0	0	0
国籍喪失		3	0	1
氏の變更		3	3	1
転籍		64	61	60
戸籍訂正		10	16	10
続柄の記載更正		0	0	0
その他		1	2	1
不受理申出		0	1	3
合計		851	885	761

年度	H30	R1	R2
新戸籍編製	95	105	84
戸籍全部消除	162	182	152

・住民票・戸籍など取扱い件数

単位:件

区分	有料			無料		
	H30	R1	R2	H30	R1	R2
住民票謄抄本	5,329	4,991	5,011	228	418	341
記載事項証明	160	148	119	2	4	3
戸籍の附票	310	297	342	871	906	1,015
閲覧	223	339	160	3,695	11,472	8,311
小計	6,022	5,775	5,632	4,796	12,800	9,670
印鑑登録証明書	4,111	3,692	3,888	17	19	95
身分証明書	127	112	176	0	0	0
その他証明	223	260	259	9	22	40
小計	4,461	4,064	4,323	26	41	135
計	10,483	9,839	9,955	4,822	12,841	9,805

戸籍謄抄本	2,743	2,754	2,438	926	992	1,089
除籍謄抄本	2,112	2,393	2,386	2,096	2,471	2,715
戸籍記載事項証明	0	5	3	0	0	0
受理証明	15	13	21	0	0	0
計	4,870	5,165	4,848	3,022	3,463	3,804

合計	15,353	15,004	14,803	7,844	16,304	13,609
----	--------	--------	--------	-------	--------	--------

【成果】法令等に基づく届出の処理、証明発行を適正に行った。

②個人番号カード事務事業 12,687千円

通知カード(個人番号通知書)及び個人番号カードの作成、発送等の関連事務を地方公共団体情報システム機構に委任するために要する経費(事務費交付金)

単位:枚

年 度	H30	R1	R2
個人番号カード交付枚数	138	322	2,076

【成果】 個人番号カードの交付、電子証明書の更新等の手続きについて、適正かつ円滑に行うことができた。専用窓口を拡充し、交付・申請支援体制を強化し、交付率を上げることができた。

款	3 民生費	項	3 国民年金事務取扱費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 国民年金事務取扱費	213千円	213千円

①国民年金事務取扱事業 213千円

国民年金に係る法定受託事務(資格取得ほか住民記録事項の変更に伴う各種届出、保険料免除、裁定請求等)を処理するとともに、相談窓口として制度説明、指導、助言を行い、納付率向上に努めた。

また、年金事務所との情報共有(年金加入状況、所得状況)により、年金加入者に不利益が生じることがないように必要な情報を提供するなど、サービス向上に努めた。

拠出年金被保険者数

単位:人

年度	H30	R1	R2
1号	1,555	1,480	1,482
3号	540	498	477
任意	25	15	14
合計	2,120	1,993	1,973

窓口事務受付件数

単位:件

区 分	H30	R1	R2
資格取得	139	164	137
種別変更	23	22	17
保険料減免	396	293	86
学生納付特例	122	76	33
年金裁定請求	5	8	4
未支給請求	38	53	47
その他	384	373	72
計	1,107	989	396

【成果】 国民年金加入者の年金相談、年金手続きを行い、適正なサービスの提供を行った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	19 災害復興支援費	200千円	200千円
<p>①災害援護資金利子補助金 200千円 鳥取県中部地震による災害援護資金の償還にあたり、利子相当額を助成した。</p> <p>【成果】 被災者の生活再建、安定につながった。</p>					
款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	394,770千円	385,016千円
<p>①社会を明るくする運動事業 26千円 全国統一の「社会を明るくする運動」月間(7月)に保護司等による啓発、小・中学生の標語の展示などを行った。</p> <p>【成果】 標語の放送、展示を行ったことにより、「社会を明るくする運動」について、町民への啓発が図られた。</p>					
<p>②戦没者追悼式事業 119千円 諸英霊に対し、町主催の追悼式を行った。 期 日 令和2年9月29日 場 所 北条農村環境改善センター 参列者数 遺族45名、来賓6名</p> <p>【成果】 遺族、来賓とともに戦没者の慰霊を行うことで、世界平和を祈念した。</p>					
					
<p>③民生児童委員協議会事業 2,409千円 地域福祉向上のため活動する民生委員・児童委員、主任児童委員に対し、活動費として補助金を交付する。また、中部協議会へ負担金を支払った。 ・ 町協議会(委員45人)への活動補助 2,252千円 ・ 中部民生委員協議会負担金 158千円</p> <p>【成果】 ひとり暮らし高齢者等の見守り、あいさつ運動期間中の街頭啓発、各種研修会参加による資質向上に努めたことで、地域福祉の推進が図られた。</p>					
<p>④社会福祉費補助金事業 140千円 町遺族会(3地区)の活動に対して、補助金を交付した。</p> <p>【成果】 補助金を交付したことで、各遺族会の活性化が図られた。</p>					
<p>⑤社会福祉協議会補助金事業 14,243千円 地域福祉事業の推進のため、町社会福祉協議会に補助金を交付した。また、県社協として行う事業に負担金を支払った。 ・ 町社会福祉協議会補助金 14,176千円 ・ 鳥取県社会福祉協議会負担金 67千円</p> <p>【成果】 社協職員人件費、マイクロバス運営維持管理費、配食サービス事業の補助等で福祉サービスの充実を進めた。</p>					

⑥介護保険特別会計繰出金事業 225,949千円

介護保険事業特別会計へ法定の負担分を繰出した。

・ 介護給付費町負担分	190,588千円
・ 地域支援(介護予防)事業分	4,988千円
・ 地域支援(包括的支援・任意)事業分	3,214千円
・ 一般事務費分	12,112千円
・ 低所得者軽減分	15,047千円

【成果】 介護保険特別会計の健全な運営を図った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	3 老人福祉費	25,856千円	24,397千円

①老人福祉事業 666千円

米寿(数え年の88歳)、金婚(結婚50年)の方に祝詞、記念品を贈り祝意を表した。

	H30	R1	R2
米寿	120 人	122 人	143 人
金婚	42 組	40 組	50 組

【成果】 町の幹部が直接長寿のお祝いを述べ、ご労苦をねぎらった。

②敬老会事業 2,417千円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき 1,000円の補助を行った。

	H30	R1	R2
自治会数	53	53	54
対象者数	2,466 人	2,477 人	2,417 人

【成果】 自治会単位で実施することにより、自治会の多世代との交流が図られ、敬老や支え合いの気持ちにつながっている。

③老人保護措置事業 10,642千円

環境的、経済的理由により、在宅生活の維持が困難な高齢者を老人福祉法に基づき養護老人ホームに措置入所させ、安心安全な生活のため適切な支援を実施した。

	H30	R1	R2
入所者数	6 人	7 人	6 人

【成果】 入所により高齢者が適切な指導や見守りを受けて、安心安全な環境での生活ができていく。

④北栄町シルバー人材センター負担金事業 4,500千円

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、北栄町シルバー人材センターの事業安定のため運営補助を行った。

	H30	R1	R2
会員数	170 人	172 人	155 人

【成果】 高齢者の技能を活かし簡易な仕事の提供をするシルバー事業に補助することで、組織の安定運営、会員の生きがいと自立した生活につながっている。

⑤老人クラブ補助金事業 1,560千円

老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動・運営に対し補助を行い、高齢者が地域で役割を果たすなど社会参加を促進する。

会員数	補助金額(※)	H30	R1	R2
50人～	70,000円	5	5	4
40人～49人	60,000円	2	2	3
30人～39人	50,000円	9	7	6
20人～29人	40,000円	4	6	6
10人～19人	30,000円	1	1	1
合 計	クラブ数	21	21	20
	補助金額	900 千円	880 千円	1,030 千円

※組織強化支援としてR2より補助金額を一律10,000円増額。

- ・老人クラブ連合会補助 530千円

【成果】 仲間づくり、生きがいと健康づくり、奉仕活動など地域支え合いに積極的に取り組む単位老人クラブと、それを支援、育成する連合会に補助し、高齢者の自主活動を促した。令和2年度はコロナ禍により、連合会の活動が縮小した。

⑥成年後見支援センター事業 700千円

中部圏域で成年後見ネットワーク倉吉に委託してセンターを設置し、困難事例の専門職による相談、申し立て事務、制度の広報、啓発を進めた。

		H30	R1	R2	
後見委任数		4件	4件	4件	
相談 件数	高齢者	9件	0件	10件	(延べ件数)
	障がい者	4件	4件	1件	

【成果】 困難事例が増える中、中部市町が協力して法人後見ができる体制が整った。

⑦地域介護・福祉空間整備等事業 2,804千円

国の交付金を活用し、町内高齢者施設の防災改修を実施した。

- ・グループホームほうじょう(非常用自家発電整備事業) 2,804千円

【成果】 高齢者施設への防災設備設置を助成し、入所者への防災体制が整備された。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 介護予防生活支援費	76,026千円	74,517千円

①タクシー利用料助成事業 8,308千円

高齢者の方や障がい等特別な事情で移動手段に困っている方、免許証を自主返納された方へタクシー利用料を助成し、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

年度	H30	R1	R2
登録者数	602 人	598 人	603 人
延利用件数	10,463 件	11,786 件	11,969 件
助成額	6,894 千円	7,988 千円	7,951 千円

【成果】 移動手段を持たない高齢者等へタクシーの利用助成を行うことにより、日常生活の移動支援につながった。

②在宅通院支援事業 10,043千円

要支援・要介護の認定を受けている方、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の基準に該当する方、または障がいのある方で通院の必要性がある方に対し、公共交通機関利用困難な場合にタクシー利用による病院送迎への助成を行い、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	H30	R1	R2
登録者数	221人	203人	224人
延利用人数	4,941人	5,702人	5,605人
助成額	9,067千円	10,173千円	9,981千円

【成果】 タクシーを利用した通院送迎を行い利用者の通院に利便を図り、身体状況の悪化等の防止につながった。

③介護予防地域支え合い事業 6,152千円

・いきいきサロン 5,648千円

高齢者の交流の場として、自治会自主運営や社協支援で実施し、介護予防につなげる。

	H30	R1	R2
自治会数	45	45	45
開催回数	964回	1,073回	798回
参加延べ人数	12,432人	13,507人	8,856人

・災害時要支援者台帳管理システム事業 504千円
災害時要支援者として登録する対象者のデータ管理のためシステムの保守管理を委託する。また、支え愛マップ作成のためシステムから地図を作成する。

・北栄さわやか体操DVD作成業務委託料 159千円
町内事業所の専門職、TCCの協力を得て作成した北栄さわやか体操のDVDをいきいきサロンに配布することで、コロナ禍での介護予防の普及啓発を行った。

地域包括支援センター相談件数

	H30	R1	R2
一般相談	1,368件	1,522件	1,934件
地域支援	1,146件	752件	711件
予防給付	1,182件	1,725件	1,762件
計	3,696件	3,999件	4,407件

【成果】 介護に関する相談に応じ、自立支援の意識、高齢者の閉じこもり防止等による介護予防、災害時だけでなく平時の見守りによる地域支え愛の必要性を啓発した。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 障害者福祉費		

①障がい者福祉関係負担補助金事業 376千円

町身体障がい者福祉協会などの活動に対する補助を行い、障がい者福祉の増進を図る。

- ・町身体障がい者福祉協会補助金 219千円
- ・町心身障がい児者育成会(ひまわり会)補助金 88千円
- ・町精神障がい者家族会補助金 20千円
- ・東伯郡身体障害者福祉協会負担金 49千円

【成果】 障がい者が団体の活動に参加し交流することで、更生意欲、自立支援、社会参加の意欲を高めた。

②心身障がい者医療扶助事業 4,209千円

中度の心身障がい者(身体障害者手帳3、4級、療育手帳B、精神手帳2級の交付を受けた者)で町民税非課税者に対し医療費を助成することにより、特別医療費助成制度対象外の障がい者の医療費負担の軽減を図る。

	H30	R1	R2
件数	298 件	305 件	268 件
金額	3,890 千円	4,178 千円	4,209 千円

【成果】 医療費助成を行ったことにより、中度障がい者の健康保持、負担軽減が図られた。

③障害支援区分認定事務事業 654千円

障がいの程度に応じた支援区分決定のため、主治医意見書の作成手数料負担や広域連合委託で認定審査を実施した。

	H30	R1	R2
認定件数	49 件	51 件	22 件

【成果】 認定審査を中部ふるさと広域連合に委託し、スムーズに障害福祉サービス利用につながった。

④自立支援給付事業 396,613千円

障害者総合支援法に基づき、障がい児・者の障害福祉サービス利用の支援を行った。

【主な経費】

	H30		R1		R2	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
居宅介護、重度訪問介護等	258	11,350	229	8,784	190	9,045
上記以外の介護給付費等	2,227	350,740	2,269	355,988	2,295	365,415
サービス利用計画作成費	376	5,241	409	6,042	529	6,605
補装具費	28	2,091	28	2,897	28	4,195

【成果】 心身に障がいのある方の自立した日常生活や社会生活につながった。

⑤自立支援医療給付事業 15,563千円

人工透析医療、ペースメーカー植込み術等に係る医療費を給付し、身体等の障がいの軽減、機能回復を図る。(更生医療、育成医療、療養介護医療)

	H30		R1		R2	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
更生医療	956	11,434	1,039	12,024	1,113	11,976
育成医療	13	145	25	935	14	131
療養介護医療	59	4,042	44	2,757	47	2,762

【成果】 医療費助成を行ったことにより、障がい者の自立した日常生活、社会生活につながった。

⑥障がい者地域生活支援事業 47,088千円

【主な事業】

・相談支援事業

3,760千円

障がい者地域生活支援センターを設置し、障がいのある人やその家族の相談支援を行う。

	H30	R1	R2
町障がい者地域生活支援センター	787 件	472 件	468 件
障がい者虐待相談数(実数)	5 件	2 件	4 件
中部障害者地域生活支援センター(仁厚会へ委託)	590 件	445 件	496 件
障がい児相談支援(※1りっかへ委託)			1123 件 (延べ件数)

※1 中部4町で、障がい児相談支援事業を委託している事業所

・中部圏域障がい者地域自立支援協議会事務局運営事業 856千円

相談支援事業を効果的に実施するため、圏域自立支援協議会事務局に専門職を配置。

- ・意思疎通支援事業 4,362千円
聴覚障がい者等の手話通訳や要約筆記などのコミュニケーション支援を行う。
委託先：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

	H30	R1	R2
延べ派遣依頼件数	276 件	193 件	90 件

- ・日常生活用具給付等事業 3,526千円
障がい者等に対し、ストマ用装具等の福祉用具の給付を行う。

	H30	R1	R2
延べ利用件数	348 件	340 件	330 件

- ・移動支援事業 4,911千円
屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行う。

	H30	R1	R2
延べ利用者数	161 人	135 人	121 人

- ・日中一時支援事業 14,049千円
見守り等の支援を受けながら障がい者等が活動できる場を確保する。

	H30	R1	R2
延べ利用者数	283 人	264 人	318 人

- ・地域活動支援センター事業 12,965千円
見守り等の支援を受けながら障がい者等の創作的活動、生産活動の場を提供する。

	H30	R1	R2
延べ利用者数	168 人	147 人	131 人

【成果】 障がいに応じた様々なサービスを提供し、障がい者の自立支援、社会参加を促した。

⑦障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業 931千円

地域生活の受け皿となるグループホーム等で夜間・休日の世話人を配置し、障がい者の地域移行を進める事業所に対し補助を行う。

【成果】 グループホーム等の利用者が安心安全な生活を送ることができた。

⑧障がい者相談員設置事業 75千円

身体・知的・精神障がい者相談員を委嘱し、当事者や家族が地域で相談できる体制を作る。

【成果】 身近な相談員を設置していることで、相談しやすい体制ができている。

⑨特別障害者手当等給付事業 4,790千円

日常生活において、常時特別な介護を要する在宅の重度の障がい児・者に対し、精神的・物理的な負担を軽減するため、手当てを給付する。

年度	H30	R1	R2
受給者数(延べ)	276 人	254 人	230 人

【成果】 在宅で生活する重度の障がい児・者の負担を軽減した。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	6 生活困窮者自立支援費	18,707千円	17,990千円

①生活困窮者自立相談支援事業 6,454 千円

- ・自立相談支援事業
困窮者の自立相談支援事業の適正実施に係る、相談支援員、就労支援員など職員配置費用

年度	H30	R1	R2
新規相談者数	23人	23人	34人

地域づくりモデル事業では、1名が雇用。収入を得るだけでなく、社会参加促進や生活習慣の改善がなされた。

【成果】 相談支援や就労支援など分野を超えた包括的支援を実施し、生活困窮者の自立促進が図られた。

②就労準備支援事業 5,978千円

- 家計相談支援事業 662千円
債務整理や家計収支の適正化を支援し、生活の再建を図る家計相談支援事業に係る委託料

年度	H30	R1	R2
延利用者数	17人	12人	45人

- 学習支援事業 368千円
生活困窮世帯の小学生(4~6年生)及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業に係る委託料等(小学生版は6月から開始)

年度	H30	R1	R2
小学生延利用者数	—	—	135人
中学生延利用者数	669人	622人	577人

- 就労準備支援事業 2,706千円
一般就労困難者に対して、基礎能力形成を目的とした支援付きの就労訓練事業に係る委託料

年度	H30	R1	R2
延利用者数	83人	89人	80人

【成果】 各種任意事業の実施を通じて生活困窮者の自立促進が図られた。

③地域共生社会包括的支援体制構築事業 4,973千円

- 包括的支援体制構築事業 360千円
横断的な相談体制の構築に向け、福祉施策アドバイザーの委託費用及び関係者研修、複合的課題のある個別ケースの検討会の開催費用

年度	H30	R1	R2
ケース検討会数	6	40	33

- 地域力強化推進事業 4,613千円
地域生活課題の解決に向けた取組の検討及び身近な相談できる場の整備等の実施に係る委託料

【成果】 包括的な支援体制の構築に向けた基盤づくりが図られた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	4 母子父子福祉費	53,223千円	49,300千円

①母子父子福祉事業 40千円

- ひとり親家庭の小中入学支度金 40千円
ひとり親で所得税非課税世帯に対し入学支度金を給付 10千円×4人

【成果】 ひとり親家庭に支度金の支給を行ったことで、災害遺児やひとり親世帯の児童の健全育成、経済的な支援が図られた。

②母子福祉事業 49,260千円

- ひとり親世帯臨時特別給付金 21,120千円
新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯への生活支援として児童扶養手当受給者等に給付金を給付した。

支給対象者(第1子) 312人×50千円=15,600千円
(第2子以降) 184人×30千円=5,520千円

【成果】 生活が困窮したひとり親世帯に給付金の支給を行ったことで、負担の軽減が図られた。

- ひとり親家庭等学習支援事業 1,730千円
ひとり親世帯の小学生(4~6年生)及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業に係る委託料等(生活困窮者自立支援事業における学習支援事業と対象者により費用を按分)
- 母子生活支援施設措置委託料 23,268千円
配偶者がいないまたはこれに準ずる女子とその者が監護すべき児童を保護し、自立促進のため生活の支援及び相談に応じた。

- 母子寡婦福祉資金の貸付 1,000千円
要件を満たす母子及び寡婦に対し、上限20万円(無利子)の貸付を行った。

	H30	R1	R2
借入件数	5 件	5 件	6 件
借入金総額	930 千円	900 千円	950 千円

【成果】 母子寡婦貸付や、施設に保護し就労、子育て支援等の指導を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	6 児童手当費	217,052千円	217,012千円

①児童手当等給付事業 216,615千円

次代を担う児童の健全育成や子育て家庭の生活の安定を図るため、児童を養育する保護者等に対し手当を支給した。

区分	一人当たり月額	
0歳～3歳未満	15,000 円	
3歳以上小学 校修了前	第1子、第2子	10,000 円
	第3子以降	15,000 円
中学生	10,000 円	
所得制限対象	5,000 円	

児童手当対象児童数 延べ 19,378人

【成果】 児童手当を支給したことにより、児童の健全育成、子育て家庭の生活の安定が図られた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	7 児童扶養手当費	68,753千円	67,799千円

①児童扶養手当給付事業 67,732千円

ひとり親で18歳までの子どもを扶養している家庭の生活の安定と自立を助けるため手当を支給した。

対象児童数	全部支給	一部支給
1人	月額 43,160円	月額 43,150円～10,180円
2人目	月額 10,190円	月額 10,180円～ 5,100円
3人目以降	月額 6,110円	月額 6,100円～ 3,060円

実支給家庭数	H30	R1	R2
母子家庭数	117 世帯	116 世帯	115 世帯
父子家庭数	12 世帯	12 世帯	12 世帯

【成果】 児童扶養手当を支給したことにより、受給者世帯の生活の安定と児童の福祉の増進が図られた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	8 児童措置費	55,317千円	47,991千円

①障害児通所給付事業 47,757千円

障がい児の機能訓練、集団生活適応訓練、社会との交流支援など必要に応じたサービスに係る給付を行った。

【主な経費】

	H30		R1		R2	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
児童発達支援	78	3,531	64	1,795	39	796
医療型児童発達支援	32	358	34	425	30	213
放課後等デイサービス	354	19,087	468	22,292	656	41,628
保育所等訪問支援	10	99	6	61	28	524
相談支援	99	1,150	101	1,759	230	4,596

【成果】 発達障がいを含めた障がい児・者に対し事業の連携により一貫した支援ができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	9 子育て世帯臨時特例給付費	20,561千円	20,192千円

①子育て世帯臨時特別給付金事業 19,150千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活支援として児童手当受給者に給付金を給付した。

支給対象者1,915人×10千円=19,150千円

【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に給付金を支給したことにより、受給者世帯の負担軽減が図られた。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予算現額	決算額
		目	1 生活保護総務費	74,861千円	74,364千円

①生活保護総務事業 4,232千円

福祉事務所で、生活保護業務を迅速かつ円滑に処理する。

生活保護 人員体制 所長、課長、査察指導員、ケースワーカー2名

・嘱託医報酬 324千円

・生活保護システム保守委託料 2,030千円

・被保護者夏季見舞金 250千円

・レセプト管理システム委託料 1,410千円

年度	H30	R1	R2
総務事業費	12,587千円	5,163千円	4,232千円

【成果】 生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予算現額	決算額
		目	2 生活保護扶助費	116,095千円	101,480千円

①生活保護扶助事業 101,480千円

生活に困窮する者に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を促すため、必要な扶助を行った。

- ・生活扶助 33,682千円
- ・医療扶助 61,922千円
- ・介護扶助 1,627千円

年度	H28末	H29末	H30末	R1末	R2末
受給者数	70人	69人	63人	66人	58人
世帯数	57世帯	54世帯	51世帯	55世帯	50世帯
扶助費	140,795千円	128,602千円	94,665千円	98,255千円	97,231千円

年度	H28	H29	H30	R1	R2	
相談数	23件	19件	22件	22件	25件	
申請数	6件	9件	11件	13件	8件	
結果	決定	5件	8件	9件	10件	5件
	却下	1件	1件	2件	2件	1件
	取下	0件	0件	0件	1件	2件
廃止	7件	12件	12件	7件	10件	
内訳	就労	0件	0件	2件	0件	0件
	死亡	2件	8件	6件	2件	2件
	その他	5件	4件	4件	5件	8件

【成果】 生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	1 社会福祉総務費	142,457千円	141,262千円

①国民健康保険特別会計繰出金事業 122,153千円

- ・保険基盤安定分 95,534千円
- ・保険財政安定化支援分 6,569千円
- ・出産育児一時金分 2,509千円
- ・事務費、職員給与分 17,541千円

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	2 特別医療費助成事業費	99,633千円	92,146千円

①特別医療費助成事業 83,125千円

対象者にかかる医療費を助成した。

- ・特別医療費審査手数料 57,614件 1,965千円
- ・特別医療費助成費 28,656件 81,160千円

金額:千円

	H30年度			R1年度			R2年度		
	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額
身障1,2級	245	6,706	43,681	239	6,499	41,033	235	6,080	36,249
重度知的障がい者	40	964	3,279	40	1,054	1,821	41	976	1,759
精神障がい者	9	238	3,511	7	244	3,471	7	160	2,473
特定疾病	1	14	196	2	10	184	1	13	177
ひとり親家庭	68	827	1,608	64	810	1,972	75	761	2,069
小児	2,434	25,668	43,747	2,418	26,408	47,820	2,352	20,666	38,433
合計	2,797	34,417	96,022	2,770	35,025	96,301	2,711	28,656	81,160

【成果】

- ・小児は18歳までを助成対象とし、対象者の医療費負担を軽減することができた。

②養育医療費助成事業 6,273千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院養育を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において養育に必要な医療の給付を行った。

(単位:件、千円)

	H30年度		R1年度		R2年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未熟児養育医療扶助費	1	123	4	1,712	5	6,273

【成果】

対象者の医療費負担を軽減することができた。

③特定不妊治療費助成事業 2,748千円

	H30年度	R1年度	R2年度
特定不妊治療	14件 (人数8人)	12件 (人数5人)	22件 (人数11人)
人工授精	3件 (人数3人)	6件 (人数6人)	1件 (人数1人)
金額(千円)	1,421	1,622	2,748

【成果】

一人175,000円/回を上限に助成を行い、対象者の負担を軽減することができた。
年度助成の回数制限をなくしたことで、治療が受けやすくなり、負担軽減につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	1 保健衛生総務費	70,278千円	68,739千円

①保健衛生総務事業 671千円

保健事業の推進のための各種事業を行った。

- ・健康推進員活動支援
- ・健康計画推進委員会の開催 2回
- ・公用車の燃料費及び管理費

【成果】健康推進員が健診受診啓発や健康づくりの推進活動を行った。

②健康管理システム委託事業 7,310千円

健康かるてシステムを活用し各種健診・予防接種の通知や、健診結果・予防接種の管理を実施し、庁舎内での情報共有を図った。

【成果】健診結果、予防接種履歴等をシステムで一元管理することにより、保健指導、接種勧奨等に役立った。

③献血事業 5千円

町内の各施設、事業所の協力のもと、献血を行った。

区分	H30年度		R1年度		R2年度	
	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数
400ml	166人	132人	165人	132人	146人	126人
実施回数	3日(延べ11会場)		3日(延べ10会場)		3日(延べ9会場)	

【成果】巡回可能会場数が減少する中、献血協力者の確保に努めた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	2 健康増進センター費	24,425千円	24,125千円

①健康増進センター管理事業 24,125千円 ※風のまちづくり事業充当14,311千円

各種健診をはじめとする保健、健康増進事業の拠点として健康増進センターの管理運営を行った。
(利用状況)

区分	利用者数		
	H30年度	R1年度	R2年度
健診棟	4,692人	4,114人	3,535人
調理室	1,401人	1,006人	570人
会議室	3,302人	2,979人	2,307人

※トレーニング室は、北栄子育て支援センターが通年利用

(利用内容)

区分	利用回数		
	H30年度	R1年度	R2年度
母子保健事業・成人健診事業	82回	84回	92回
子育て支援センター	通年利用	通年利用	通年利用
その他各種会議等	111回	135回	98回

【成果】施設の維持管理を行い、保健事業や子育て事業の場として活用した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	3 感染症等予防費	50,246千円	44,556千円

①感染症等予防事業 39,942千円

・定期予防接種

予防接種法に基づき、乳幼児・児童・生徒及び65歳以上の高齢者等に対する定期予防接種を実施し、感染症の予防を図った。

(延人数)

区 分	接種者数		
	H30年度	R1年度	R2年度
四種混合(DTP-IPV)	384人	404人	354人
二種混合(DT)	105人	95人	107人
ポリオ(IPV)	0人	0人	0人
麻しん風しん混合	220人	229人	212人
日本脳炎	667人	574人	527人
BCG	105人	91人	89人
ヒブワクチン	370人	391人	350人
小児肺炎球菌ワクチン	368人	395人	345人
子宮頸がん予防ワクチン	3人	5人	16人
水痘	174人	193人	186人
B型肝炎 (H28.10~)	280人	286人	261人
ロタウイルス (R2.10~)	-	-	82人
高齢者インフルエンザ	2,955人	3,012人	3,496人
高齢者肺炎球菌	485人	185人	208人
風しん(第5期) (H31.4~)	-	155人	38人
		273人	75人

※子宮頸がん予防ワクチンは平成25年6月から積極的勧奨を控えることとなっている。

※風しん(第5期)は左が抗体検査、右が予防接種の人数。

・任意予防接種 費用助成

なるべく受けておきたい予防接種について、任意接種に係る費用の一部助成を行い、感染症の予防を図った。(ロタウイルスはR2.10~定期接種化)

(延人数)

区 分	接種者数		
	H30年度	R1年度	R2年度
乳幼児インフルエンザ	785人	734人	751人
小学生インフルエンザ (H27.10~)	608人	652人	710人
中学生インフルエンザ (H27.10~)	172人	172人	163人
ロタウイルス (H27.4~)	183人	174人	118人
おたふくかぜ	84人	112人	119人
風しん(大人)	38人	23人	17人

【成果】 医師会・医療機関と連携し、予防接種事業を実施することで感染症予防につながった。

②新型コロナウイルス予防接種事業 4,614千円

新型コロナウイルスワクチン接種に係る物品の購入、システム改修、コールセンターの設置等を行い、新年度からのワクチン接種に向けての準備を行った。

- ・医療用物品の購入 254千円
- ・接種券用部材の購入 1,502千円
- ・コールセンター委託料 1,019千円
- ・健康管理システム改修委託料(ワクチン接種記録システム対応) 1,045千円

- ・健康管理システム改修委託料 484千円
- ・ディープフリーザ用電源設置工事代 77千円
- ・コールセンター用電話工事請負費 173千円

【成果】 ワクチンの供給量が未確定のなか、システム改修、コールセンターの設置等の準備を進めることにより新年度からのワクチン接種の開始につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	4 母子衛生費	14,308千円	12,832千円

①母子衛生事業 12,832千円

・乳幼児健康診査事業

乳児、1歳6か月児、3歳児を対象に、心身の発達状態を観察するとともに、医師の診察を実施し、健康状態、育児、食事等について相談・助言を行った。

5歳児は保護者の希望等による相談(医師・心理士・就学に関する)を行った。

年度	項目	実施回数	対象者	受診者	要精密	追跡観察	要治療
H30	乳児	6回	103人	103人	2人	3人	0人
	1歳6か月児	6回	93人	93人	2人	12人	0人
	3歳児	6回	121人	121人	15人	44人	2人
	5歳児	4回	25人	25人	9人	5人	0人
R1	乳児	6回	94人	94人	4人	1人	0人
	1歳6か月児	5回	91人	91人	2人	7人	0人
	3歳児	6回	100人	100人	10人	13人	1人
	5歳児	4回	27人	27人	13人	4人	0人
R2	乳児	6回	93人	93人	4人	7人	0人
	1歳6か月児	7回	111人	110人	3人	15人	1人
	3歳児	6回	111人	111人	12人	22人	1人
	5歳児	4回	17人	17人	9人	3人	0人

・妊婦乳児一般健康診査事業

妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して実施した。

項目	H30年度	R1年度	R2年度	※延べ件数
妊婦一般健康診査	1,164件	1,202件	1,026件	
乳児一般健康診査	199件	167件	179件	

・乳幼児健康相談及び健康教室事業

各健康相談、教室を実施するとともに、訪問による指導により、母子保健の推進を図った。

項目	H30年度			R1年度			R2年度		
	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者
離乳食講習会	6回	94人	50人	6回	100人	38人	5回	87人	31人
1歳児教室	6回	117人	58人	6回	88人	45人	5回	75人	36人
2歳児教室	6回	106人	79人	5回	81人	53人	5回	75人	55人
2歳6か月児教室	4回	108人	68人	4回	93人	58人	3回	77人	65人

・訪問指導

	H30年度	R1年度	R2年度	※延べ人数
妊産婦	145人	125人	102人	
乳児	112人	101人	94人	

・歯科対策事業

(1歳6か月児、3歳児健診を除く)

項目		H30年度			R1年度			R2年度		
		回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者
フッ素塗布	3歳未満	10回	214人	147人	9回	174人	111人	8回	152人	120人
	3歳以上	6回	368人	312人	6回	342人	318人	5回	324人	321人
フッ化物洗口	年中・年長	5回	204人	197人	5回	206人	196人	5回	215人	215人
歯磨き指導(夏・冬)		12回	736人	687人	12回	686人	668人	11回	649人	640人

※フッ素塗布3歳以上は年1回実施。

平成29年度から全園で実施。

※歯磨き指導は年2回、全園の3歳以上のクラスで実施。

※フッ化物洗口は町立4園、私立1園の4・5歳児を対象に実施した実人数。

・妊婦歯科健診、ふしめ歯科検診事業

	対象者	対象者数	受診者数
妊婦歯科健診	妊婦の方	94人	33人
ふしめ歯科検診	20.30.40 50.60.70歳	1,092人	100人

・保育所・こども園食育事業

各園の食育年間計画に基づき食育事業を実施され、コロナ感染症拡大防止のため健康推進課栄養士、食推の参加は中止となった。感染症対策として、手洗いチェッカーを使った手洗い指導を1園で行った。

【成果】

・こども園訪問を計画的に実施し、こども園・教育総務課・健康推進課でこどもの発達等について支援を共有・協議し、保護者支援を行うことができた。

・手洗いチェッカーを使い目には見えない洗い残しを確認し、正しい手洗いの方法やポイントを確認する機会となった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	5 健康支援費	45,610千円	39,847千円

①健康診査等事業 38,333千円

・基本健康診査、特定健診

病気の早期発見、早期治療、また、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的に実施した。令和元年度より、基本健診、後期高齢者健診は医療機関委託を開始した。

健診区分	受診者数			
	H30年度	R1年度	R2年度	
基本健康診査	155人	154人	125人	
特定健診(国保)	1,378人	1,291人	1,156人	
内訳	集団健診	909人	796人	673人
	個別健診	322人	391人	402人
	人間ドック	117人	104人	81人
特定健診(国保外)	87人	92人	68人	
後期高齢者健診	389人	470人	415人	

*費用は国保会計で支出

*支出なし

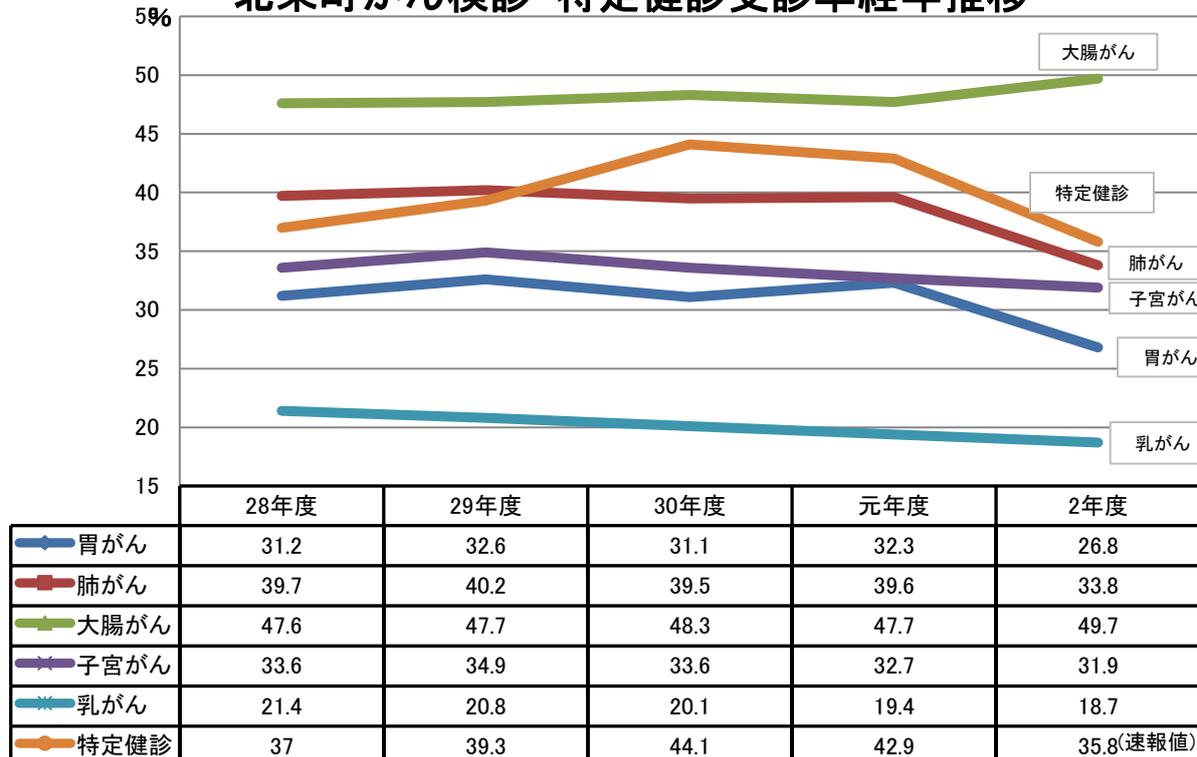
・各種がん検診

がんは、総死亡の3割を占めており全がん死亡率は現在も増加傾向にある。がん検診により早期発見し、早期治療を行うことでがん死亡を減少させるために実施した。

※精密受診者はR3年6月18日現在

年度	検診区分	受診者数				うち要精密 ()は受診者	精密受診率 (%)
		集団検診	人間ドック	個別検診	合計		
H30	胃がん検診	550人	265人	903人	1,718人	69人(58)	84.1
	結核・肺がん検診	1,496人	266人	291人	1,981人	62人(53)	85.5
	喀痰検査	12人	4人	13人	29人	0人	
	前立腺がん検診	206人	85人		291人	18人(14)	77.7
	肝炎ウイルス検査	122人	265人	72人	459人	5人(2)	40.0
	子宮がん検診	773人		420人	1,193人	8人(6)	75.0
	乳がん検診	533人		122人	655人	49人(48)	98.0
	大腸がん検診	2,655人	263人		2,918人	194人(144)	74.2
R1	胃がん検診	537人	266人	979人	1,782人	54人(49)	90.7
	結核・肺がん検診	1,620人	266人	296人	2,182人	93人(71)	76.3
	喀痰検査	9人	3人	14人	26人	0人	
	前立腺がん検診	196人	120人		316人	15人(9)	60.0
	肝炎ウイルス検査	50人	72人	77人	199人	1人(1)	100.0
	子宮がん検診	759人		400人	1,159人	7人(7)	100.0
	乳がん検診	515人		116人	631人	40人(38)	95.0
	大腸がん検診	2,777人	267人		3,044人	233人(183)	78.5
R2	胃がん検診	394人	210人	876人	1,480人	29人(26)	89.7
	結核・肺がん検診	1,295人	210人	357人	1,862人	89人(74)	83.1
	喀痰検査	5人	3人	18人	26人	0人	
	前立腺がん検診	157人	89人		246人	12人(7)	58.3
	肝炎ウイルス検査	32人	50人	47人	129人	1人(1)	100.0
	子宮がん検診	697人		435人	1,132人	14人(13)	92.9
	乳がん検診	475人		134人	609人	47人(46)	97.9
	大腸がん検診	2,739人	212人		2,951人	237人(170)	71.7

北栄町がん検診・特定健診受診率経年推移



・人間ドック委託 (対象年齢 40歳、45歳、50歳、55歳、61歳、65歳)

受診者	H30年度	R1年度	R2年度
男性	110人	122人	90人
女性	156人	145人	123人
計	266人	267人	213人

・訪問指導

健診の事後に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	H30年度	R1年度	R2年度
特定保健指導	80人	51人	26人
健診事後指導	33人	14人	18人 (実人数)

【成果】 各がん検診を実施し、胃・肺・大腸・子宮・乳がんにおいて早期がんの人が発見できた。

②健康支援事業 1,272千円

食生活改善推進員に健康づくりや食育推進に関する知識をさらに深める学習会を開催し、推進員が各自治会において食の分野を中心に健康づくりについての伝達講習会を行った。

項目	対象者	H30年度		R1年度		R2年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
学習会	食生活改善推進員	8回	177人	6回	187人	6回	103人
伝達講習会	自治会住民	19回	286人	19回	290人	7回	69人
食生活改善推進員養成講座		6回	111人			6回	32人

・健康相談及び健康教育

健診の事後や自治会を対象に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	H30年度		R1年度		R2年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
歯科相談	8回	700人	6回	432人	6	306人
いきいき健康講座(各自治会)	44回	720人	41回	847人	11	163
その他の健康教室(出前講座等)	6回	113人	13回	211人	4	68
※健診事後教室	7回	150人	7回	83人	4	26
生活習慣病予防講演会	(血圧)	47人	(骨)	52人	(血圧)	48人

※健診事後教室:「食べ方講座」「運動教室」

・小学校食育事業『弁当の日』の取り組み

小学校、栄養教諭、食生活改善推進員と連携して実施した。

小学6年生が弁当の日に取り組み、家庭科の授業を利用した小学5年生弁当作りはR3年度に延期した。

・健康ポイントラリー事業 (健康マイレージ)

健(検)診事業(赤シール)と、健康づくり事業(青シール)の両方を必ず1つ以上使用して5ポイント貯まった方(抽選で200名)に、健康に関する賞品を贈呈した。

事業を2つに分類することで、講座や教室等の参加者を増やし、健(検)診・運動・食事など日常生活における健康づくりの大切さについて健康意識の向上を図った。

応募者数	H30年度	R1年度	R2年度
	469人	561人	317人

※応募条件変更あり

※健診受診・健康づくり事業への参加動機となった割合84.1% (応募時アンケートより)

※R2年度は新型コロナウイルスの影響により事業等減少したため、応募数減

・ヘルスアップ教室（糖尿病性腎症重症化予防）

糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者、受診中断者に適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析等への理解促進と生活習慣を振り返る機会とした。

参加者24人、延べ39人（医師講演会15人、食事教室17人、血液検査7人）

※教室参加者の健診・血液検査結果から維持・改善 HbA1c 88.2%、腎機能 75.0%
医療機関未受診者11人中、受診勧奨により6人受診(54.5%)

・まちの保健室

気軽に立ち寄り、健康チェックや健康相談をすることで生活習慣の振り返りをする機会として、いきいき健康講座のメニューに入れて実施。鳥取看護大学に委託し、町と共同開催。

新型コロナウイルス感染症の対策として受付時間を分け、人数制限をして実施。

高血圧予防の講演と骨量測定、食品に含まれる塩分の展示等を実施。参加者36人

【成果】

・食推予算分を含めると13自治会(延べ21自治会)で伝達講習会または訪問型伝達活動を実施し、望ましい食習慣の啓発の機会となった。(参加者343人)

・他の組織・団体と連携した食生活推進活動を実施し、食育の普及を図った。

(小・中学校、学校栄養職員、公民館、社協、健康サポーター他)

・小学校6年生の『弁当の日』では事前学習、弁当作りを通して、栄養バランスの学習や感謝の気持ちや自立心を養う機会となった。

・血圧講演会は福祉課と合同開催し、幅広い年代の参加者があり、血圧管理の大切さを再確認する機会となった。

・いきいき健康講座は、コロナにより開催自治会が少なかったが、開催自治会では健康の意識向上につながった。また健康推進員等合同研修会をTCCでテレビ健康講座として放映したことで広く啓発につながった。

・運動教室終了後、北栄スポーツクラブの回数券11回分を付与し、教室後の運動習慣定着を支援した。



③生活習慣病予防事業

236千円

・子どものよい生活習慣づくり事業

子どものころからの生活習慣病予防を推進するため、小学6年生を対象に生活習慣病予防講演会を実施した。新型コロナウイルス感染症予防のため大栄小は児童のみの講演会、北条小は保護者にも案内し児童と保護者対象の講演会を実施。喫煙の害や糖分摂取、メディア利用の注意など、生活習慣病予防について学んだ。

・中学生におけるピロリ菌検査及び除菌事業

中学3年生を対象に、将来に向けて胃がんを予防する目的で行った。

項目	H30年度	R1年度	R2年度
一次検査受診率	84 %	81 %	78 %
真の陽性率	3.3 %	4.8 %	2.0 %

④健康づくり人材育成事業

5千円

健康サポーターは、運動教室でレクリエーションを担当するなど自主的に活動を続けている。また、自治会や事業所を対象に各種団体と連携を図りながら出前健康講座を企画、運営した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 後期高齢者医療対策費	252,690千円	251,886千円
<p>①後期高齢者医療対策事業 209,434千円</p> <p>後期高齢者医療広域連合へ支払う療養給付費の町負担分 198,578 千円</p> <p>後期高齢者医療広域連合へ支払う共通経費の町負担分 10,856 千円</p> <p>【成果】 後期高齢者医療に関する給付及び事務を広域連合で行うことにより効率的な運営となっている。</p> <p>②後期高齢者重複・頻回受診者訪問指導事業 336千円</p> <p>【成果】 医療費適正化のため、重複受診者5名に対して訪問指導を行った。</p> <p>③後期高齢者医療特別会計繰出金事業 42,116千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤安定分 39,583 千円 ・一般事務費等分 2,230 千円 ・健診個人負担分 208 千円 ・健診独自事項 95 千円 <p>【成果】 健診費用の個人負担分を町が負担し、後期高齢者の健診の個人負担を無料とした。 また、医療機関における受診件数が増加した。</p>					

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	29,993千円	29,083千円
<p>①持続可能な発展を目指す自治体会議事業 50千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な発展を目指す自治体会議負担金 ・定例会 10/21、1/21 Web会議 <p>気候温暖化対策について、自治体の取り組みを相互に発表し、有識者からの意見をいただくなど、今後の温暖化対策について、知見を深めた。</p> <p>【成果】 人口減少、少子高齢化など同じ課題を持つ小規模自治体が、地域資源を活かしたエネルギー分野の取り組みを通して、経済好循環に向けたモデル設計と人材育成を行った。</p>					
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	20 持続可能なまちづくり推進費	20,230千円	20,099千円
<p>①公共施設のあり方検討事業 9,926千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のあり方検討業務委託料 ・エネルギー利用の観点から公共施設の現状を調査し、各施設のカルテを作成した。また、人口減少や施設に係る費用増加が見込まれることから、公共施設の統廃合など、今後の方向性の案を作成し、職員、町民を対象とした研修会を行った。 <p>【成果】 少子高齢化、施設費用の増加を踏まえた公共施設個別施設計画を策定した。公共施設の省エネルギー改修や統廃合検討など、この計画を推進することで、CO2排出量が削減でき、地球温暖化対策と将来コスト削減に寄与することができる。</p> <p>②地域新電力推進事業 9,878千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県中部シュタットベルケ構想検討事業 ・地域外に流出しているエネルギーに係る費用の一部を地元で留めることによる地域経済の循環を目指した地域新電力事業について、琴浦町、湯梨浜町、北栄町の3町の公共施設を需要先として事業可能性を調査・検討した。 <p>【成果】 調査の結果、事業可能性ありと判断し、令和4年度からの事業化を目指して、新会社設立のための準備を進めることにした。事業化により、エネルギーの地産地消を進め、また、エネルギー使用料の地域外流出を防ぐことなど、地域内経済の活性化に寄与することができる。</p>					

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	7 環境衛生費	17,904千円	14,516千円

①環境衛生事業 1,007千円

- ・河川におけるプラスチックごみ調査
県内初で住民が参加しての河川プラごみ調査を実施した。(10/24)
- ・環境学習会

	H30	R1	R2
開催数	1小学校	1小学校	2小学校
	2自治会	3自治会	1自治会
		1団体	3団体

- ・こどもエコクラブ活動支援補助金
(町内の保育所、こども園、小・中学校等)

	H30	R1	R2
活動人数	1,645人	1,598人	1,584人



河川プラごみ調査の様子(由良川)

【成果】 環境基本計画に沿った環境衛生事業、環境教育を実施し、住民の環境意識の高揚が図られた。

②広域連合負担金(火葬)事業 7,610千円

斎場の管理運営に要した経費

- ・中部ふるさと斎場 6,966 千円
- ・琴浦斎場(相互利用負担金) 644 千円

【成果】 中部ふるさと斎場の維持管理に寄与した。

③猫避妊・去勢手術費補助金事業 610千円

補助金申請件数・金額 610千円

	H30	R1	R2
申請数	21件	47件	72件

【成果】 飼い主のいない猫の繁殖抑制と、生活環境の保全を図った。

④犬登録等事業 136千円

(単位:頭)

	H30	R1	R2
予防注射済証発行 /登録数	532/758	512/730	486/637

【成果】 狂犬病を抑止するため、犬の登録制度をベースとして、集団接種の実施等により狂犬病予防注射の徹底を図った。

※R1からR2の登録数の減少については、登録台帳の整理による。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	8 環境保全費	254,091千円	12,209千円

①省エネルギー普及啓発事業 431千円 ※風のまちづくり事業充当185千円

- ・子ども版環境家計簿「かんきょうチェックノート」配布(小学4年生)
配布 133人 提出 123人 (回収率 92.5%)
- ・断熱ワークショップを開催 参加者24人

【成果】 夏休みに小学4年生を対象に、子ども版環境家計簿「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギー実践の普及啓発ができた。また、ほくほくプラザを会場に、実践式のDIY断熱ワークショップを行うことで、参加者に断熱の重要性と効果を体感してもらうとともに、会場となったほくほくプラザの断熱化も図ることができた。



断熱ワークショップの様子

②創エネ設備等設置費補助金事業 9,275千円 ※風のまちづくり事業充当3,300千円

町内の住宅等に太陽光発電システム又創エネルギー設備等を設置する者に、設置費用の一部を補助した。

太陽光発電システム			創エネルギー設備等		
年度	件数	出力	木質バイオマス	太陽熱	蓄電池等
H30	14	63.39kW	4件	3件	3件
R1	12	59.30kW	0件	0件	8件
R2	15	66.84kW	0件	0件	18件

【成果】 太陽光発電システムや創エネ設備設置費の一部を補助したことにより、再エネ設備導入が推進でき、エネルギーの自家消費(化石燃料由来の電力消費削減)につなげた。

③電気自動車急速充電器管理事業 1,465千円 ※風のまちづくり事業充当409千円

- ・道の駅北条公園に設置している電気自動車急速充電器の管理
- ・青山剛昌ふるさと館駐車場の電気自動車急速充電器撤去

【成果】 道の駅北条公園の充電器を維持管理したことにより、EV利用者の利便性を確保した。また、青山剛昌ふるさと館駐車場の充電器は毎年約80万円の電気使用料が必要であったが、メーカーによる保守期間の終了に伴い撤去することで、町財政に寄与した。

④省エネ住宅リフォーム補助金事業 967千円 ※風のまちづくり事業充当967千円

平成26年度から実施していた住宅リフォーム資金助成事業(商工費)を、省エネ推進のための断熱改修などの省エネリフォームに特化し、改修費用の一部を補助した。

【実績】

	H30	R1	R2
申請件数(件)	27	23	7
補助対象経費(円)	21,017,621	19,523,150	3,839,860
補助金支給額(円)	5,109,000	4,634,000	967,000

【成果】 住宅の断熱改修や省エネ設備の設置に係る費用の一部を助成することにより、快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギーを進めることができた。

⑤木質バイオマス導入事業 0千円

予算額241,746千円を令和3年度に繰越

事業概要

木質バイオマスの有効活用を目指しB&G海洋センターに木質バイオマスボイラー等を導入する。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予算現額	決算額			
		目	1 塵芥処理費	134,932千円	126,557千円			
		①塵芥処理事業		1,284千円				
		・R3ごみ収集日程表作成		5,500部	・リサイクルステーション管理			
		・ごみの区分と出し方		5,500部	・国坂浜土砂捨場管理			
		②一般廃棄物収集事業		36,445千円				
		ごみ収集所に排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を委託した。						
		《収集量》 (単位:t)						
		可燃ごみ	不燃ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
H30		3,542	140	208	45	95	20	30
R1		3,315	131	209	59	92	25	29
R2		3,162	133	205	79	86	19	26
		③広域連合負担金(ごみ)事業		79,288千円				
		ほうきリサイクルセンター(ごみ処理施設)、クリーンランドほうき(最終処分場)の管理運営に要した経費						
		・ごみ処理費		76,214 千円	・ごみ処理施設建設費	31 千円		
		・最終処分場建設費		3,043 千円				
		④再生資源収集委託事業		6,176千円				
		再生資源の収集・運搬・処理業務を委託した。						
		《収集量》 (単位:t)						
		ペットボトル	発泡スチロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着
H30		20	3	79	42	1	87	32
R1		20	3	77	41	1	80	64
R2		21	3	76	40	1	74	39
		《廃食用油回収量実績》						
		収集量(kg)						
H30		12,502						
R1		11,986						
R2		10,427						
		⑤再生資源回収団体事業		634千円				
		再生資源の回収を行った団体に対し助成金を交付した。						
		実施団体数 70 団体						
		《回収量》						
		古紙	缶	びん				
H30		207 t	23 t	2,586本				
R1		214 t	25 t	2,499本				
R2		168 t	24 t	1,628本				
		《ごみの排出状況》						
		総排出量	うち再生資源	リサイクル率				
		①	②	②/①				
H30		4,590 t	725 t	15.8%				
R1		4,391 t	757 t	17.2%				
R2		4,157 t	674 t	16.2%				

⑥統一指定ごみ袋事業 0千円

予算額5,128千円を令和3年度に繰越

事業概要

町指定ごみ袋を作成する。

⑦海岸漂着物処理事業 2,202千円

海岸に漂着した廃棄物を撤去処分するため沿岸16自治会に年3回程度の清掃活動を依頼して手数料を交付した。

	のべ回数	参加人数
H30	43回	1,821人
R1	45回	1,817人
R2	53回	1,670人

⑧不法投棄対策事業 528千円

不法投棄防止のため、パトロールや看板設置を行った。

また、不法投棄による廃棄物について、地権者等による処理費用(一部、撤去費用)を支援した。

不法投棄防止啓発用看板

撤去事業等補助金

	貸出	看板作成
H30	9カ所16枚	-
R1	6カ所15枚	50枚
R2	16カ所25枚	-

	対象数、補助金額
H30	-
R1	-
R2	6件 346,000円

【成果】 ごみの分別・収集を適正に行えるよう環境整備、体制を整えるとともに、ごみの減量化・再資源化を普及した。
地域の美化活動や不法投棄対策事業を推進することで、美しい環境を守るとともに、環境保全意識の高揚を図った。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予算現額	決算額
		目	2 し尿処理費	7,479千円	7,404千円

①広域連合負担金(し尿)事業 7,404千円

クリーンセンター(し尿処理施設)の管理運営に要する経費

・クリーンセンター費 6,800千円 ・施設建設費 604千円

【成果】 クリーンセンターの維持管理に寄与した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	1 町営住宅管理費	4,599千円	4,396千円

①町営住宅管理事業 4,396千円

2団地105戸を管理。

年度内の入居件数は6件、退去件数は2件で、3月末現在の入居率は88.6%となっている。

・町営住宅の入居状況(令和3年3月31日現在 (単位:戸))

団地名	管理戸数	入居戸数
由良宿団地	60	58
六尾北団地	45	35
町営住宅合計	105	93

【成果】 適正に管理し、入居者に良好な住環境を提供した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	2 由良宿団地建設費	282,495千円	281,524千円

①由良宿団地建替事業 281,524千円

平成27年度から事業着手した由良宿団地の建替について、平成29年9月に第1期工事(1棟18戸)、平成31年3月に第2期工事(1棟24戸)、令和2年10月に第3期工事(1棟18戸)が完成した。令和3年2月から集会所等の工事に着手した。



集会所工事の安全祈願祭の様子

【成果】 地域住宅計画に基づく集約建替えにより、良質な住環境の整備を行った。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	3 県営住宅費	715千円	714千円

①県営住宅団地管理事業 714千円

県から3団地22戸の管理委託を受けている。
年度内の入居件数は3件、退去件数は4件で、3月末現在の入居率は86.4%となっている。
・県営住宅の入居状況 (令和3年3月31日現在)

単位:戸

団地名	管理戸数	入居戸数
栄第1団地	8	7
栄第2団地	8	6
大野団地	6	6
県営住宅合計	22	19

【成果】 適正に管理し、入居者に良好な住環境を提供した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	5 向山団地用途廃止費	4,895千円	3,080千円

①向山団地用途廃止事業 3,080千円

用途廃止(解体工事)に伴う実施設計を行った。

【成果】 令和3年度の用途廃止(解体)に向けて準備を進めることができた。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	9 六尾北団地用途廃止費	972千円	921千円

①六尾北団地用途廃止事業 921千円

由良宿団地への集約化に伴う移転費用の補助を行った。

【成果】 集約に向けて円滑な移転を行うことができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	1 農業委員会費	47,090千円	44,611千円

①農業委員会総務事業 19,246千円

総会開催等の委員会事務を行う。

- (1) 現員 26人 うち農業委員 13人 農地利用最適化推進委員 13人
 (2) 総会開催状況 総会12回

・農地法事務処理状況

処理件数 (件)

年度	H30	R1	R2
農地法第3条	10	33	18
農地法第4条	1	6	1
農地法第5条	19	17	16
農地法第3条の3	54	47	68
農地法第18条	50	75	95
非農地証明	7	9	10
2a未満転用	0	1	0
土地改良届	0	0	2
計	141	188	210

- 農地法第3条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定
 農地法第4条 : 所有者による農地の転用
 農地法第5条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定を伴う農地の転用
 農地法第3条の3 : 相続等の権利取得の届出
 農地法第18条 : 農地使用貸借等の解約
 非農地証明 : 非農地であることの承認
 2a未満転用 : 小規模な農業用施設設置に係る転用
 土地改良届 : 水田の畑への変換

・農用地利用集積事業処理状況

処理件数 (件)

年度	H30	R1	R2
利用権設定(筆)	976	1,137	1,545
うち解除条件付	12	41	65
所有権移転	4	15	19
計	980	1,152	1,564

(3) 委員会活動状況

- 農地委員会 法人営農状況調査1回(2法人)
 農政委員会 青年農業者研修会1回、意見書提出1回
 広報委員会 農業委員会だより『菜種』発行4回



法人営農状況調査



青年農業者研修会



菜種

(4) 農振法事務処理状況

処理件数及び面積

年度	H30		R1		R2	
	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
軽微変更						
用途変更(農業用施設)	1	793	2	1,458		
重要変更						
一般住宅	1	261				
住宅・事務所等			1	9,802		
車庫兼倉庫			1	197		
工場						
デイサービス施設			1	16,012		
コンビニエンスストア	1	1,433	1	2,082		
駐車場	3	562	2	2,036	1	2,131
太陽光発電施設	1	1,309				
墓地						
農用地区域への編入			1	65,731		
土地利用見直しによる除外	1	12,771			1	8,608
計	7	16,336	7	95,860	2	10,739
合計	8	17,129	9	97,318	2	10,739

軽微変更 : 用途変更等

重要変更 : 農用地区域からの除外(農地転用)等

【成果】 農地法、農業経営基盤強化促進法、農振法の趣旨に基づき、農地を守り活かすことができた。

②農地流動化推進事業助成金事業 11,455千円

認定農業者等の農地の賃借を助成金で支援し、経営規模の拡大と農地の流動化を図る。

・助成要件 令和2年1月1日から令和2年12月31日までの間における賃貸借3年以上の利用権設定

・認定農業者 (2,000円/10a・年)

年度	H30	R1	R2
対象者(人)	32	41	52
うち家族経営協定締結者	13	16	17
対象面積(m ²)	650,144.92	432,413.06	942,951.58
うち家族経営協定締結者	129,540.90	124,863.00	125,445.58

・認定農業者以外 (1,000円/10a・年)

年度	H30	R1	R2
対象者(人)	60	40	98
うち家族経営協定締結者	4	3	6
対象面積(m ²)	275,787.40	265,325.64	568,178.48
うち家族経営協定締結者	16,806.00	16,496.00	35,945.00

【成果】 認定農業者等の経営規模の拡大、農地の流動化、及び、遊休農地の解消を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	2 農業経営基盤強化費	24千円	24千円

①農業経営基盤強化事業 24千円

国有農地借受者の耕作状況の把握及び貸付使用料の徴収事務を行う。

【成果】 国有農地の有効活用を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	3 農業者年金費	836千円	836千円

①農業者年金事業 836千円

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上と併せて、農業の担い手を確保するため、新・旧農業者年金加入者の各種手続きや新農業者年金の加入推進を行う。

・農業者年金受給者の届出処理及び指導

被保険者 (人)

年度	H30	R1	R2
新農業者年金	44	47	54
うち新規加入者	3	7	8

受給待期者 (人)

年度	H30	R1	R2
旧農業者年金	20	18	13
新農業者年金	23	21	20

受給者 (人)

年度	H30	R1	R2
旧農業者年金	216	203	191
新農業者年金	22	28	31

【成果】 農業者に豊かで安定した老後の生活を提供できた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	17 農地中間管理費	2,897千円	2,691千円

①農地中間管理事業 2,691千円

農業の生産性向上や農業経営の効率化を進める担い手への集積・集約を加速させることにより、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、有効利用、効率化を図る。

・機構集積協力金交付事業

年度	H30		R1		R2	
協力金名	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
地域集積協力金	-	-	-	-	-	-
経営転換協力金	4	20,560.00	-	-	-	-
耕作者集積協力金	-	-	-	-	-	-

・中間管理事業による実績

年度	H30		R1		R2	
マッチング (中間管理権設定)	筆数	面積(m ²)	筆数	面積(m ²)	筆数	面積(m ²)
	316	383,010.00	212	380,922.00	258	390,051.00

【成果】 担い手への農地の集積を推進することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	16 移住推進費	82,493千円	78,708千円

①上種・両高尾地区地域おこし協力隊事業 1,803千円 *国事業(特交)
上種・西高尾地区地域の住民と連携しながら有害鳥獣対策を行うなど地域の活性化となるような活動を行った。

【成果】 地域等と連携し有害鳥獣の捕獲を行い、農業被害の軽減や地域に必要な対策を行っ

②イチゴ産地化地域おこし協力隊事業 21,174千円 *国事業(特交)
(株)北栄ドリーム農場にてイチゴの栽培技術を学んだ。また観光農園の先進地視察に参加したほか、隊員の居住地域において清掃活動等の地域行事に参加した。

【成果】 活動終了後の営農を見据えた知識・技術を取得することができた。また、観光農園の視察においては令和3年の開園に向け、効率的な運営方法を学んだ。



②ブドウ産地活性化地域おこし協力隊事業 2,270千円 *国事業(特交)
(株)北条ワイン醸造所にてワイン用ブドウ栽培を学んだ。

【成果】 (株)北条ワイン醸造所で栽培技術を学んだほか、第4回とっとり大山ブランド食品博の販売促進活動で商品の知識を深めることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	5 農業振興費	390,265千円	169,455千円

①農業振興事業 691千円
大栄西瓜マスコットキャラクター「夏味ちゃん」の着ぐるみのイベント参加やうちわ等のグッズ作成を通して、消費拡大に向けたPR活動を行った。
広島カープコラボミニタオル 2,500枚
クリアファイル 2,000枚
夏味ちゃんうちわ 2,500枚



②経営改善支援活動事業 517千円

- ・農業経営基盤強化資金利子補助金(*県1/2、町1/2) 96千円 *県事業
- ・果樹共済農家負担軽減補助金(*県1/2、自己負担1/2) 141千円 *町=自己負担1/2の20%
- ・収入保険農家負担軽減補助金 262千円 *加入者割4,500円
- ・認定農業者審査会報償費 18千円 *町単独事業

*審査内容:(5/8)新規4件・更新2件、(7/15)新3・更3、(11/5)新7・更9、(2/16)新5・更9 (3/12)新1

*審査委員=農家代表2人、学識経験者1人、普及所1人、農業委員2人、JA(営農センター)1人、産業振興課1人

【過去の実績】

年度	H30	R1	R2
農業経営基盤強化資金利子補助	6	5	3
果樹共済農家負担軽減補助	55	41	38
認定農業者認定件数(新規)	24(13)	15(14)	43(20)

(件)

【参考資料】

認定農業者総数の推移	
H30	124人
R1	127人
R2	137人

*所得380万円以上
1,900時間労働/年

【成果】 安定的な経営をめざす農業者の借入に対して利子負担の軽減を図った。

③野菜価格安定対策事業 57千円 *国事業

- ・鳥取県ブランド野菜価格安定対策負担金 57千円
鳥取県の指定するブランド野菜の価格差補給金造成に係る負担金(令和2年度は夏秋きゅうり)

【成果】 価格の下落による農家への影響を最小限に抑えることができた。

④農業振興補助金事業 22,152千円

- ・北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金 1,125千円 *町単独事業
生産者自らが消費地に出かけて行う販売促進活動や料理講習会の開催などのPR活動、また、PR用チラシの作成などに要する経費に対して補助金を交付し、さらなるブランド化の推進を図った。
6生産部(長芋、大栄西瓜、オリジナル野菜、花き、らっきょう、ぶどう)

【成果】 新型コロナウイルスの影響で対面販売などができない中で、西瓜ポロシャツの作成、らっきょうのInstagram更新などできる販促活動を行った。

- ・経営所得安定対策推進事業費補助金 2,108千円 *国事業
経営所得安定対策制度を円滑に推進するため、実務を行う北栄町農業再生協議会に対して、補助金を交付した。

【成果】 申請に必要な書類の配布や回収、データの整理など必要経費を支援することで、事業の推進が図れた。

- ・鳥取梨生産振興事業費補助金 5,632千円 *県事業(県2/3)
鳥取県育成オリジナル新品種(新甘泉など)の導入と生産基盤整備のための費用に対する支援を行った。
3件(梨の改植 119.2a、948本)
(梨の新植 5a、15本、ハウス新設)
(梨の新植 5a、46本)

【成果】 新甘泉等の導入と生産基盤の整備により、梨生産の基盤強化を図った。

- ・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金 9,621千円 *県事業(県1/2)
産地で振興する果樹の品目品種の生産拡大を図るため施設整備に係る支援を行った。
2件(加工用ぶどう新植 134.72a、2,400本、果樹棚及びびかん水施設の設置)
(加工用ぶどう新植 147.37a、6,543本)
1件(柿新植 25.610a、216本)

【成果】 加工用ぶどうおよび輝太郎(柿)の新植をすることで、生産拡大を図った。

- ・水田共同利用機械整備事業費補助金 3,666千円 *県事業(県1/2)
北栄町の水田全域を対象として共同利用する水田均平用作業機械の導入を支援した。

【成果】 町内水田の均平率を維持し、持続的な営農につながる取組みを支援した。

【過去の実績】

(千円)

年度	H30	R1	R2
北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金	926	994	1,125
経営所得安定対策推進事業補助金	2,407	2,564	2,108
鳥取梨生産振興事業費補助金	7,423	2,975	5,632
鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金	12,433	15,172	9,621
水田共同利用機械整備事業費補助金	-	-	3,666

⑤がんばる農家プラン支援事業 23,431千円 *県事業(県1/3、町1/6)

意欲ある農業者等が行う創意工夫を生かしたプランに対して補助金を交付し支援した。

- ・花壇苗生産拡大プラン(1/3) 9,882千円
ハウス、資材置場、エディブルフラワー栽培資材
- ・農福連携プラン(3/3) 4,850千円
ハウス
- ・中玉トマト、ストックの経営安定を図るプラン(1/3) 4,381千円
作業小屋
- ・西瓜とほうれん草を基幹とした作業改善プラン(1/3) 2,038千円
軟弱野菜調整機、組み合わせハカリ等
- ・青ねぎ生産拡大プラン(3/3) 1,394千円
マニアスプレッダ
- ・ブロッコリー生産拡大プラン(3/3) 886千円
乗用中耕作業管理機



【過去の実績】

H30		R1		R2	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
7	38,268	5	11,025	6	23,431

【成果】 農業者による創意工夫を生かした取り組みにより、規模拡大、所得向上等が行われ、元気な農業者の育成、北栄町農業の振興、活性化につながった。

⑥就農条件整備事業 2,589千円 *県事業(県1/3、町1/6)

新規就農者に対し、就農時に必要な機械・施設の導入に対する補助を行うことにより、営農計画の実現と農業経営の安定を図った。

(整備内容)

- プレハブ冷蔵庫(白ネギ) 319千円
- 育苗パイプハウス(白ネギ) 521千円
- フロントローダー、中古管理機(西瓜・ブロッコリー) 505千円
- 中古パイプハウス(西瓜) 599千円
- ハウス資材(ねばりっこ・西瓜) 457千円
- 土壌消毒機(ねばりっこ・西瓜) 188千円

【過去の実績】

H30		R1		R2	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
4	4,323	4	3,622	6	2,590

【成果】 新規就農者の初期設備投資にかかる負担を軽減することができた。



⑦北栄アグリフォーラム 25千円 *町単独事業

令和元年度開催のアグリフォーラムにおける抽選会商品を発送した。

⑧集落営農体制強化支援事業 10,682千円 *県事業(県1/3、町1/6)

集落営農組織が継続的に営農を行うための機械(コンバイン、トラクター)導入に関する補助を行った。

⑨企業等農業参入促進支援事業 564千円 *県事業(県1/3、町1/6)

- ・企業等農業参入促進支援事業補助金 564千円
農業経営に意欲的な企業等の新規参入を促し、農業経営の初期段階の円滑な経営の推進を図るために農業参入する企業を対象に参入検討段階から支援した。
(導入設備)白ネギ管理機、白ネギ運搬車、白ネギ皮むき機

【成果】 設備導入費用を補助することで企業の農業参入がスムーズに行えた。

⑩産地パワーアップ事業 63,291千円

- ・産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 5,746千円
産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組に対する支援を行った。

*国事業(国:資材費の1/2)
西瓜 寒冷紗 36戸 185枚

- ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 57,545千円
施設園芸の産地を作るため導入する鳥取型低コストハウスの整備に対して支援を行った。
- *県事業(国1/3(資材費の1/2)、県2/9、町1/9)
西瓜 鳥取型低コストハウス 15戸 47棟

⑪産地パワーアップ事業【繰越事業】 30,818千円

- ・産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 3,962千円
産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組に対する支援を行った。

*国事業(国:資材費の1/2)
西瓜 寒冷紗 28戸 123枚

- ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 26,856千円
施設園芸の産地を作るため導入する鳥取型低コストハウスの整備に対して支援を行った。
- *県事業(国1/3(資材費の1/2)、県2/9、町1/9)
西瓜 鳥取型低コストハウス 6戸 20棟

【過去の実績】

年度	区分	H30		R1		R2	
西瓜 寒冷紗	繰越					123枚	52,487㎡
	現年			248枚	105,368㎡	185枚	75,351㎡
西瓜 低コストハウス	繰越					20棟	6,862㎡
	現年	118棟	33,739㎡	95棟	28,236㎡	47棟	14,627㎡

⑫園芸産地活力増進事業 10,984千円

- ・園芸産地活力増進事業 *県事業(県1/3、町1/6)

鳥取県農業の強みの一つである野菜等の振興を図るため、園芸品目の産地づくりや野菜等の供給体制整備の取組みを支援する。

長芋用コンテナ(6,000個) 4,470千円
長芋深耕機購入(5台) 3,500千円
小松菜予冷库(6台) 2,848千円
シンテッポウユリ種子(44袋) 166千円

- 【成果】 各生産団体等の機材等を導入することにより、生産供給環境整備の取組みを支援した。

⑬農業経営サポート事業 299千円 *町単独事業

- ・体験農園の管理委託 250千円
JA鳥取中央青壮年部大栄支部ドリームクラブに体験農園の管理委託をし、町内の園児とサツマイモの芋掘りを通じて若手農家との交流を行った。

⑭農産物PR事業 327千円 *町単独事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で県外に赴いての販売促進を行うことができない中で、交流自治体と連携し、農産物を現地へ送りイベントで委託出品することによって北栄町農産物をPRした。

- 【成果】 コロナ禍で県外販促が行えない中で、らっきょう、大栄西瓜、ねばりっこなどの輸送やPR手法を交流自治体である東京都港区、滋賀県湖南市と共に調整・検討し、販売促進をしていただくことで北栄町農産物のPRを行うことができた。

⑮戦略的園芸品目総合対策事業 120千円 *県事業 生産対策(県1/3、町1/6)
 生産者の機械導入(循環扇)を支援することにより、県育成のオリジナルいちご品種「とっておき」の拡大を図った。
 【成果】 循環扇の導入により、ハウス内の適正な温度管理ができるようになり、生産効率が上がった。

⑯鳥取の花いきいき総合戦略事業 1,532千円 *県事業 生産対策(県1/3、町1/3)
 県外市場への安定した集出荷流通体制の構築のため育苗委託やLEDライトの導入の支援を行った。
 【成果】 花きの安定した栽培に関する整備を行った。

⑰ハウス強靱化施設園芸事業 442千円 *国事業(国1/2)
 町が策定した「農業用ハウス強靱化緊急対策事業計画」に基づき、老朽化により対策が必要となった農業用ハウス4名分29棟の補強実施を支援した。
 【成果】 災害に強いハウスの整備により、より効率的な営農が行えるようになった。

年度	R1		R2	
ハウス強靱化事業	7戸	34棟	4戸	29棟

⑱ジャンボタニシ防除対策事業 113千円 *町単独事業
 町内水田においてジャンボタニシ(スクミリンゴカイ)による被害が拡大しているため、防除作業(均平作業)に対して補助金を交付し、被害の減少を図った。
 【成果】 2つの集落営農組織に対して支援を行うことで、均平作業を防除の最適な時期に実施することができた。

⑲収入保険加入促進事業 820千円 *町単独事業
 収入保険に加入する者に対して、鳥取県農業共済組合を通じて1人あたり20,000円のキャッシュバックを行うことにより、収入保険への加入を促進した。(41名)
 【成果】 収入保険へ加入することにより、市場の影響による農家の収入減少への影響を抑えた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	6 担い手育成支援費	31,960千円	24,762千円

①担い手育成支援事業 24,762千円
 東伯地区農業士会負担金 35千円
 東伯地区指導農業士の活動費について、北栄町の推薦している東伯地区指導農業士5名分についての負担金

・農業次世代人材投資資金(経営開始型) 7,341千円 *国事業
 独立就農をする新規就農者に対して、就農から5年間の生活基盤安定に資する補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

【過去の実績】(交付金)

H30		R1		R2	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
13	16,686	9	10,265	8	7,341

【成果】 就農初期の営農をはじめ、生活の安定を図る資金として支援した。

・親元就農促進支援交付金 16,400千円 *県事業(県2/3、町1/3)
 親元で就農しようとする後継者の農業研修をサポートすることにより、地域の農業力の底上げを図るとともに、将来の地域農業の中心となる人材の育成を行った。

【過去の実績】

H30		R1		R2	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
9	7,600	13	11,400	17	16,400

【成果】 親元就農を促進することで後継者の確保につながり、地域農業の安定を図った。

- ・就農応援交付金 985千円 *県事業(県2/3、町1/3)
独立就農をする新規就農者のうち農業次世代人材投資金の対象外となった者について、就農から3年間の生活基盤の安定のための補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

【過去の実績】

H30		R1		R2	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
1	1,000	1	850	2	985

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	7 農林業地域改善対策費	1,125千円	1,125千円

- ①地域改善対策負担軽減事業 1,059千円 *町単独事業
県営ほ場整備事業(21世紀水田対策大倉地区)に係る地元負担金に対し補助した。
【成果】 補助により、地元負担の軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	8 畜産振興費	23,737千円	18,207千円

①畜産振興事業 18,207千円

- ・鳥取和牛振興増頭対策事業補助金(増頭対策) 16,184千円 *県事業(県1/3、町1/6)
繁殖雌牛の増頭(計35頭)に対する経費を支援した。
【成果】 鳥取和牛の振興及び繁殖雌牛の導入費用の負担を軽減した。
- ・乳用牛優良精液利用促進事業補助金 731千円 *町単独事業(町補助率1/2)
優良精液の購入費の補助を行い、優良精液の種付けをすることにより、泌乳能力の向上と高品質な牛乳の生産を図り、安定した酪農経営を支援した。

【過去の実績】

H30		R1		R2	
配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)
251本	979	203本	828	178本	731

【成果】 優良精液を各酪農家が利用し、優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保へ向けた支援ができた。

- ・優良乳用牛購入事業補助金 500千円 *町単独事業(10万円/1頭)
乳用牛の増頭を目的とした繁殖雌牛の購入について、その経費の一部を補助し、安定した事業経営を支援した。
【成果】 5頭の雌牛を増頭し、優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保へ向けた支援ができた。

- ・後口谷畜産団地刈払い・伐採作業委託料 699千円
後口谷畜産団地の敷地内外に繁茂している立木や草等を伐採した。
【成果】 敷地内の立木及び敷地外に垂れ下がっている草木を伐採し、施設管理を行った。

- ・電気設備調査委託料 65千円
- ・鳥取県畜産推進機構負担金 26千円

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	9 農地費	57,526千円	51,246千円
<p>①単町農業農村整備事業 3,023千円 *町単独事業 町が管理する農道の除草、修繕等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農道管理委託料 1,754千円 シルバー人材センター、大栄西瓜組合協議会(スイカロード除草)、町内業者へ業務委託した。 ・農道修繕工事請負費 1,041千円 町管理農道の修繕を行った。 ・農道台帳管理費 228千円 <p>【成果】 町が管理する農道の適切な管理ができた。</p>					
<p>②単県・団体営基幹農道借入金償還金事業 458千円 *町単独事業 ・土地改良事業に係る農道新設改良事業費の一部を町が負担した。</p> <p>【成果】 農道整備に係る負担軽減ができた。</p>					
<p>③土地改良区地元負担軽減補助金事業 13,537千円 *町単独事業 地域農業の経営安定と活性化を目的として、地元負担軽減のため土地改良区への補助を行った。(町道新設改良事業費償還金補助を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北条砂丘土地改良区関係 3,373千円 ・北条水系土地改良区関係 4,636千円 ・大倉土地改良区関係 1,904千円 ・大栄町土地改良区関係 3,624千円 <p>【成果】 土地改良区へ補助することにより農家の負担軽減となった。</p>					
<p>④県営土地改良事業費負担金事業(繰越) 1,450千円 *国55%、県32%、倉吉5.2%、北栄7.8% 県営農業用河川工作物等応急対策事業(土地改良施設耐震対策事業)北条用水地区の市町村負担金(平成28年度の中部地震により宅地や道路の上載荷重に対して不安定な構造となっているコンクリート水路の耐震改修)</p>					
<p>⑤国営事業 12,475千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営東伯地区維持管理事業負担金 10,895千円 *国、県、町(北栄37.8%、琴浦62.2%) ・西高尾ダム周辺施設維持管理委託料 1,489千円 *町単独事業 ・国営土地改良事業推進負担金(中国四国協議会) 37千円 <p>【成果】 対象施設の適切な維持管理が図れた。</p>					
<p>⑥ふるさと活性化基金積立金事業 17,554千円 *町単独事業 ふるさと農村活性化基金積立金を活用して、多面的機能支払の活動組織組織に対して、交付金交付前の活動を行うために貸付をした。(交付金交付時に償還)</p> <p>【成果】 国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動をしてもらうことができた。</p>					

⑦団体営農業農村整備事業 2,447千円

- ・測量設計委託料 1,762千円 *国事業(10/10)
農業用ため池で新たに防災重点ため池に指定された池のうち、人家に影響のあるため池3箇所
のハザードマップを作成し、該当自治会の各家庭に配布した。(下堤、桜池、上鳥池・下鳥池)
 - ・農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金 684千円 *国50、県17.5、町17.5、改良区15%
大栄町土地改良区と北条水系土地改良区が既存施設の機能診断結果に基づいて施設を修繕、
更新する費用に対して、補助を行った。
- 【成果】 地元代表者と意見交換をしながらハザードマップを作成し、ため池決壊時の危険箇所、
避難経路等の共通認識ができた。
また、土地改良区へ事業費の補助をすることにより農家の負担軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	10 中山間地域等直接支払費	176千円	176千円

①中山間地域等直接支払事業 176千円 *国1/3、県1/3、町1/3

農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等(東高尾地区)における農業生産の維持を図るための活動に対し補助を行った。

年度	H29	H30	R1	R2
協定数	1	1	1	1
対象用地	34,447㎡	34,447㎡	34,447㎡	15,689㎡

※協定期間 H27～R1(第4期)、R2～R6(第5期)

【成果】 中山間地域の農業生産の維持が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	11 有害鳥獣防除費	2,614千円	1,751千円

①有害鳥獣防除事業 1,751千円

有害鳥獣の捕獲や駆除により、農林産物への被害を防いだ。

- ・鳥獣被害対策実施隊賃金 205千円 *町単独事業
- ・射撃環境改善事業補助金 8千円 *県事業(県1/3、町1/3)
有害鳥獣捕獲に従事する者の射撃練習に係る費用を支援し、野生鳥獣の保護管理を図った。
- ・侵入防止柵購入支援事業補助金 374千円 *町単独事業
- ・ヌートリア等捕獲奨励金 652千円 *県事業(県1/3、町1/3)
一部町単独…カラス、アナグマ

【過去の実績】

(匹、頭、羽)

捕獲・駆除	奨励金	H30	R1	R2
ヌートリア	3,000円	68	33	120
イノシシ	10,000円	23	50	32
カラス	1,000円	36	92	37
シカ	猟期外 10,000円	3	6	4
アナグマ	3,000円	17	17	5

※←頭数は、支出を伴った数字のみ記載。

- ・ヌートリア・アナグマ対策講習会 講師報償費 8千円
- ・カラス一斉駆除用弾代 43千円
- ・捕獲器等購入費 461千円

*シカの捕獲については、猟期(11/1～2月末)は奨励金5,000円。

【成果】 捕獲により農作物等への被害の軽減を図った。
ヌートリア等による被害が継続しているため、鳥獣被害対策実施隊員を講師に「ヌートリア・アナグマ対策講習会(外来法による捕獲講習)」を開催し、農家が鳥獣被害から自衛できる体制づくりを行った。(参加者:99人)

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	12 多面的機能支払交付金費	112,847千円	94,966千円

①活動支援推進交付金事業(多面的機能支払交付金) 94,966千円 *国1/2、県1/4、町1/4
 地域住民が行う、農地や農業用施設などの農村資源や自然環境の保全の共同活動、農業用施設などの施設の長寿命化を図るための活動に対して交付金を交付した。

24の組織のうち22の組織で広域協定を締結し、より活動に専念できる環境となった。
 ふるさと活性化基金を活用し、交付金支払いまでの間の各組織の活動費について貸付(無利子)事業を行った。(広域協定)

【過去の実績】(取組組織数)

	年度	H30	R1	R2
多面的機能(農地維持、資源向上(共同))活動支援交付金		24	23 (うち21は広域)	24 (うち22は広域)
多面的機能(資源向上(長寿命))活動支援交付金		15	22 (うち21は広域)	23 (うち22は広域)

【成果】

各組織ごとで農地や自然環境の保全、施設等の長寿命化が図れた。
 (組織数 3)広域協定組織、別所地域農地・水・環境を守る会、東高尾清流の郷
 (広域協定組織数 22組織は下記のとおり)*順不同

大谷ふるさと愛創会	妻波地区農地・水・環境保全会	西園みどりの会	東園環境保全活動組織
TMA(田井)	江北環境保全会	六尾農地保全の会	下種地域ふるさと保全会
弓原地区農地・水・環境保全会	松神豊かな郷	西穂波地区環境保全会	原農村資源保全協議会
下種地域環境保全隊	北尾環境活動組織	穂波水とみどりの会	上種ふるさとを守る会
瀬戸みどりネット	米里農地保全の会	大島みどりと水を守る会	
亀谷環境保全会議	まがり美土里グループ	北条島地区水田耕作者の会	

●ふるさと農村活性化基金(*R3.3.31現在)

年度	R2
基金残高	17,553,896円

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	13 しっかり守る農林基盤整備費	21,898千円	20,214千円

①しっかり守る農林基盤整備事業 20,214千円 *県事業(内容により補助率が異なる)
 農道補修、畑かん用水ポンプ修繕、畑かん用水管更新、令和2年6月豪雨災害による災害復旧などを行った。

【成果】 農業生産基盤の改良、新設及び改修等が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	14 環境保全型農業直接支援対策費	774千円	773千円

①環境保全型農業直接支払対策事業 773千円 *県事業(国1/2、県1/4、町1/4)
 農薬の50%削減と地球温暖化効果のある取組(カバークロープ(レンゲ草))など環境保全型農業に取り組む農家等に対し、交付金(6,000円/10a)を交付した。

【過去の実績】

H30		R1		R2	
件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
1	839	1	1,009	1	1,289

【成果】 環境保全を重視した農業生産に取り組んだ。

*取組団体:原西部営農組合



款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	18 土地改良施設維持管理適正化事業費	3,756千円	3,443千円

①土地改良施設維持管理適正化事業 3,443千円 *県事業(国30%、県30%、町30%、改良区等10%)
土地改良施設の整備・補修・維持管理に必要となる事業費を5年間積み立て、整備補修を実施する事業に取り組む改良区に対し交付金を交付した。

・北条砂丘土地改良区関係 3,186千円 ・北条水系土地改良区関係 120千円
・大倉土地改良区関係 137千円

【成果】 5年後の事業実施に向け、積み立てが出来た。

改良区	積立金残高(全体額)	着工予定年度	主な工事(予定)内容
北条砂丘土地改良区	22,200千円	R4~R7	揚水機場ポンプ、機器整備補修
北条水系土地改良区	800千円	R6	揚水機場整備補修
大倉土地改良区	3,100千円	R5、R7	揚水機場ポンプ整備補修

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	28 気象災害等対策費	36,070千円	818千円

①気象災害等対策事業(雪害復旧対策事業) 730千円 *県1/3、町1/6
令和2年12月から3月に降った大雪により被害を受けた農業用ハウス等の復旧に対し、補助を行った。
(令和3年度へ繰越して事業実施)

【成果】 早期に災害前の営農を行えるようになった。

②緊急防除支援事業(ジャンボタニシ対策) 88千円 *町単独事業

・緊急防除支援事業費補助金 88千円
湯梨浜町水田で被害が拡大するジャンボタニシと縞枯れ対策のため、湯梨浜町が実施する「水田病害中緊急対策(秋耕うん推進)事業補助金」について、北栄町に住所を有する農家の経費分を負担した。

【成果】 関係機関と連携しながら被害拡大防止に努めた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	1 林業振興費	7,927千円	7,595千円

①枯松伐採促進事業 127千円 *町単独事業(事業費の60%を助成)
松くい虫による被害拡散防止と枯松による危険防止のために行った伐採に対し、経費を補助した。

* 事業体:2団体

【過去の実績】 (本)

	H30	R1	R2
枯松伐採	8	7	9

【成果】 枯松伐採費用の負担軽減を行うことで、被害拡大防止となった。

②林業労働者福祉向上推進事業 151千円 *町単独事業

林業労働者共済年金掛金及び林業労働者年末一時金支給の経費に対して助成を行った。

* 事業体:(公財)鳥取県林業担い手育成財団

【成果】 林業労働者の生活の安定と福祉の向上に寄与することで林業労働者の確保及び就労条件の改善を図れた。

③林業関係負担金事業 72千円

(社)鳥取県緑化推進委員会負担金	35千円
鳥取県治山林道協会負担金	27千円
天神川流域林業活性化センター負担金	10千円

【成果】緑の募金活動により自治会や学校などが行う緑化の取り組みを支援した。

④林道事業 615千円 *町単独事業

林道整備について修正登記を行った。

【成果】登記を適正な状態に修正した。

⑤森林整備担い手育成対策事業 168千円 *県1/2、町1/2

健康保険料、厚生年金等の社会保険料の事業主負担に対して助成を行った。

* 事業体:鳥取県中部森林組合

【成果】林業労働者の育成と雇用の安定化等、就労条件の改善を図れた。

⑥間伐材搬出促進事業 960千円 *町単独事業(1,000円/m³を助成)

間伐の推進、間伐材の搬出を促進するため、間伐材の搬出経費に対して助成を行った。

* 事業体:鳥取県中部森林組合

【過去の実績】 (ha)

	H30	R1	R2
伐採面積	7.30	8.29	5.94

【成果】国土保全、水源涵養などの公益的機能の回復、増進に役立った。

⑦森林クラウドシステム整備事業 110千円 *町単独事業

県・町・林業事業体が共有して森林情報を管理するシステムの整備を行った。

【成果】森林情報の更新を行うことで林業事業の推進に役立った。

⑧森林経営管理事業 5,393千円 *町単独事業

森林環境譲与税を活用し、新たな森林管理システム推進センターの支援を受け、森林経営管理制度における経営管理意向調査及び経営管理権集積計画作成業務を行った。また、森林整備のための基金積立を行った。

経営管理意向調査業務	825千円
新たな森林管理システム推進センター負担金	480千円
森林環境譲与税積立金	4,088千円

【成果】適切な森林経営管理を行うための計画策定を推進できた。

●森林環境譲与税積立金(*R3.3.31現在)

年度	R2
基金残高	4,382,373円

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	2 松くい虫防除費	66,577千円	31,110千円

- ①松くい虫防除事業 19,626千円 *県事業
 松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤散布防除及び被害木の伐倒駆除を実施した。
 * 高度公益機能森林(海岸付近 県補助65%) 地区保全松林(蜘蛛ヶ家山周辺 県補助50%)
- ②松くい虫防除事業(繰越) 11,484千円 *県事業
 令和元年度に被害を受けた松くい虫特別伐倒駆除について、年度内での事業完了ができなかったため、繰越して行った。

【成果】 松くい虫による被害の拡大を防止した。

業務内容	R2	
	業務量	金額
松くい虫防除空中散布(地上作業含む)	95ha	8,803千円
松くい虫防除地上散布	8.5ha	1,669千円
*松くい虫被害特別伐倒駆除(枝条破碎)	196.6 m ²	8,109千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	91千円
養蜂群移転補償	1式	632千円
その他(動員費、事務費)	1式	322千円
*松くい虫被害特別伐倒駆除(枝条破碎)繰越	277.3 m ²	11,484千円



【過去の実績】

業務内容	H30		R1	
	業務量	金額	業務量	金額
松くい虫防除空中散布(地上作業含む)	95ha	6,732千円	95ha	7,169千円
松くい虫防除地上散布	8.5ha	1,011千円	8.5ha	1,035千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	256.3m ²	8,883千円	R2へ繰越	
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	108千円	1式	757千円
養蜂群移転補償	1式	587千円	1式	636千円
その他(動員費、事務費)	1式	691千円	1式	430千円

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	3 松林保全対策費	185千円	147千円

- ①松林保全推進事業 147千円 *町単独事業
 松くい虫に強い松(抵抗性クロマツ)の苗木の購入を行い、関係者に配布し、松林の保全を行った。
 * 4地区(東新田場、下神、松神、西園)

【過去の実績】

	H30	R1	R2
購入本数	959本	1,020本	1,530本
地区数	6	4	4

【成果】 抵抗性松を配布し、各地区にて植栽し、松林の保全を支援した。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	4 竹林整備費	477千円	342千円																														
<p>①竹林整備事業 342千円</p> <p>・竹林整備事業補助金 272千円 *県事業 放置竹林を整備(伐採)する費用に対し、(森林環境保全税を活用し)支援を行った。 *施行地面積が0.1~1.0ha未満(補助率8/10) 整備面積 0.13ha 整備箇所 1か所(曲)</p> <p>【過去の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伐採本数</td> <td>3,816本</td> <td>2,320本</td> <td>1,196本</td> </tr> <tr> <td>箇所数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>面積(ha)</td> <td>0.40</td> <td>0.20</td> <td>0.13</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 竹林の拡大防止と森林環境の改善が図られた。</p>							H30	R1	R2	伐採本数	3,816本	2,320本	1,196本	箇所数	2	1	1	面積(ha)	0.40	0.20	0.13														
	H30	R1	R2																																
伐採本数	3,816本	2,320本	1,196本																																
箇所数	2	1	1																																
面積(ha)	0.40	0.20	0.13																																
款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	1 水産業振興費	38千円	37千円																														
<p>①水産振興事業 37千円 *町単独事業</p> <p>・種苗放流事業費補助金 水産資源の増大を図るため、漁協が行う種苗(キジハタ)放流事業に対し支援した。 *町負担 キジハタ (事業費 - (県負担:事業費×3/4))×1/2</p> <p>【過去の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>放流</th> <th>漁獲(kg)</th> <th>放流</th> <th>漁獲(kg)</th> <th>放流</th> <th>漁獲(kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キジハタ</td> <td>2,832.0尾</td> <td>1,519</td> <td>2,943.5尾</td> <td>1,143</td> <td>2,978.5尾</td> <td>893</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 放流用キジハタ種苗(全長5センチ)を放流し、水産資源管理を図れた。</p>							H30		R1		R2		放流	漁獲(kg)	放流	漁獲(kg)	放流	漁獲(kg)	キジハタ	2,832.0尾	1,519	2,943.5尾	1,143	2,978.5尾	893										
	H30		R1		R2																														
	放流	漁獲(kg)	放流	漁獲(kg)	放流	漁獲(kg)																													
キジハタ	2,832.0尾	1,519	2,943.5尾	1,143	2,978.5尾	893																													
款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	1 商工振興費	117,341千円	110,791千円																														
<p>①商工振興事業 5,910千円 *町単独事業</p> <p>商工会が行う経営支援事業、交流事業、地域活性化事業に補助し、商工業者の活動を支援した。また、大学生等を実習生として受入れた企業に対して経費の一部を補助した。</p> <p>【過去の実績】 商工会育成補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>会員数(人)</th> <th>補助金額(千円)</th> <th>会員数(人)</th> <th>補助金額(千円)</th> <th>会員数(人)</th> <th>補助金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>377</td> <td>5,800</td> <td>380</td> <td>5,800</td> <td>385</td> <td>5,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>会員数は年度末の数字</p> <p>【成果】 商工会の経営支援事業及び地域総合支援事業に対して補助を行い、事業の支援を行った。</p> <p>②マル経融資利子補助事業 385千円 *町単独事業</p> <p>事業者の経営改善のために経営改善貸付(マル経融資)を活用した事業者に対し、返済分に係る利子補助を行った。</p> <p>【過去の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>補助金額(千円)</td> <td>219</td> <td>457</td> <td>385</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 日本政策金融公庫の融資制度であるマル経融資に利子補助を行うことで、間接的に中小企業の発展の一助になった。</p>						H30		R1		R2		会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)	377	5,800	380	5,800	385	5,800		H30	R1	R2	件数	11	16	13	補助金額(千円)	219	457	385
H30		R1		R2																															
会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)																														
377	5,800	380	5,800	385	5,800																														
	H30	R1	R2																																
件数	11	16	13																																
補助金額(千円)	219	457	385																																

③中小企業支援事業 320千円 *町単独事業

町内の企業と移住定住策を紹介した「企業ガイドブック」を作成し、新成人、高校、小中学校へ配布するとともに移住相談等で活用した。

【過去の実績】

	H30	R1	R2
掲載企業数(社)	31	36	38
配布数(部)	500	800	800



【成果】 若年層に町内企業や地元への就職に興味を持っていただくとともに、地域産業の魅力発信と移住定住策のPRを行った。

④企業立地及び雇用促進事業 15,968千円 *町単独事業

1 企業立地促進奨励金 13,568千円
事業所の新增設に伴う投下固定資産税相当額を奨励金として支給した。

*該当企業に対し3ケ年間助成を行うもの。

10件(新規:3件 継続:7件)

2 雇用促進奨励金 2,400千円
事業所の新增設により町内者を正規雇用した場合に奨励金を支給した。

4件 8名

【成果】 企業が実施する設備投資に対し奨励金を交付することで、企業の発展や町内者の雇用促進に繋がり、地域経済の活性化の一助となった。

⑤就労・創業支援事業 3,529千円 *町単独事業

町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。

創業支援事業補助金 3件 2,177千円
歯科技工所(由良宿)・整体業(弓原)・ローフードカフェ(江北)

由良宿まちづくり活性化支援事業補助金 1件 1,352千円
焼肉店(由良宿)

*由良宿地域において、対象業種を飲食業・小売業・宿泊業に業種を絞り、にぎわい・経済循環を生み出し観光地としての魅力を高めることを目的とする。

【成果】 創業時の初期投資に係る負担軽減をすることで、町内産業の振興や雇用機会を創出するきっかけとなった。

⑥砂丘地振興基金積立金事業 4千円 *町単独事業

砂丘地振興基金の定期預金利子を基金に組み入れた。

【過去の実績】 (千円)

年度	H30	R1	R2
基金残高	88,999	83,452	83,456

【成果】 資金を運用することにより、基金の増額を図ることができた。

⑦道の駅北条公園再整備事業 6,053千円

道の駅北条公園の指定管理者再公募に向け、適切な指定管理料の算定を(一社)全国道の駅支援機構に委託し行った。その後、指定管理者の公募を行い、(株)TTCを指定管理者に指定した。

【成果】 (株)TTCは道の駅の指定管理に関し豊富な実績を有しており、同社がこれまで培ったノウハウを活用し、再整備を進めることができたこととなった。



款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	29,993千円	29,083千円

①北栄砂丘まつり交付金事業 0千円 *町単独事業

・第15回北栄砂丘まつり

【成果】 ※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

②国内外の交流推進事業 4千円 *町単独事業

【成果】 ※台湾台中市大肚区と湖南省との青少年訪問団やイベント等による相互交流を計画していたが、新型コロナウイルスの影響を勘案し、事業を中止した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	16 移住推進費	82,493千円	78,709千円

①北栄暮らし支援事業 46,136千円

- ・移住相談会への参加 11千円
- ・移住奨励金 8,950千円(県1/2)※県外転入者の場合
- （子育て加算(商品券)） 900千円
- ・若年層移住定住者住宅取得支援補助金 19,519千円(県1/2)※県外転入者の場合
- ・家財道具等処分費補助金 100千円(県1/2)※県外転入者が居住の場合
- ・定住支援住宅取得補助金 12,800千円
- ・空き家利活用流通促進事業補助金 1,800千円(県1/2)
- ・Uターン就職活動交通費助成事業補助金 7千円
- ・移住支援員の配置 1,871千円(県1/2)
- ・ほくえいPR動画コンテスト 38千円

【実績】

事業名	H30	R1	R2
移住相談会(東京・大阪)	9回	8回	7回※全てオンライン
移住奨励金	88名/28件	63名/20件	79名/29件
若年層移住定住者住宅取得支援補助金	10件	15件	24件
IJUターン空き家改修支援事業補助金	1件	0件	0件
家財道具等処分費補助金	4件	2件	1件
定住支援住宅取得補助金	14件	37件	27件
空き家利活用流通促進事業補助金			2件
Uターン就職活動交通費助成事業補助金			1名
移住支援員配置	1名	1名	1名

【成果】 北栄町への移住・定住を推進するため、オンライン移住相談会への参加、パンフレットの更新、配布等を行い北栄町を広くPRした。また、北栄町独自のオンライン移住相談会を4回開催した。PRを行ったことで、移住希望者の移住選択肢の一つとして北栄町を提示することに繋がった。

奨励金交付、若年層の住宅取得に対する補助などを行い、移住・定住の促進を図ることができた。また、町内者へも住宅取得に対する補助を行い定住を促進することができた。町内外問わず幅広い支援を行うことで、町内に住み続けたいと思うキッカケ作りとすることができた。

空き家の不要な家財の処分費用を補助することで、空き家の利活用を促進することができた。空き家を利用する移住者だけでなく、空き家の活用に苦慮していた所有者の支援に繋がった。

ほくえいPR動画コンテストを開催し、審査を合格となったPR動画については、北栄町ホームページ・移住相談会・SNS等で活用する。

②おためし住宅事業 153千円 *町単独事業
 ・おためし住宅 消耗品費・光熱水費・通信費・修繕費 153千円

【実績】		H30	R1	R2
	人数/利用件数	11名/4組	12名/5組	-名/-組

【成果】 ※新型コロナウイルスの影響を勘案し、年間を通し利用を停止した。

③地域づくり地域おこし協力隊事業 7,173千円 *国事業(特交)

名探偵コナンによるまちづくり地域おこし協力隊は、コナン通りを中心とした賑わい創出に関する取り組みを行った。新型コロナ感染拡大の影響で中止となったが、青山剛昌ふるさと館でナイトミュージアム企画を立ち上げるなど運営に参画することで、ファンや観光客からの関心を集め、結果として感染終息後の集客回復に向けて布石を打つことができた。

妻波地区地域おこし協力隊は、就農に向けたスイカ栽培等に取り組み、地域の農地保全の活動も行いながら妻波地区の新たな担い手として活躍され、妻波地区の地域活動にも積極的に参加することで、地域住民の賑わい、交流を創出した。

【成果】 観光、農地保全、地域間交流、地域活性といったそれぞれの隊員が抱えるミッションを果たすことで、それぞれの取り組みから地域、町の活性化に寄与し地域の賑わいを創出した。また、2名の隊員が退任し、引き続き町内に定住することとなった。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	2 観光費	88,270千円	81,944千円

①観光振興事業 32,948千円 *町単独事業

観光施設を整備して受け入れ態勢の向上を図り、関係団体と連携して観光案内や情報発信を進め、誘客宣伝を図った。

・各種手数料(遊具点検、Gゴルフ認定コース更新料等)	279 千円	
・各種業務委託 (観光パンフ作成保管配布、松枯れ伐倒駆除、鳥取空港観光案内等)	3,062 千円	
・観光施設整備工事(レークサイド大栄砂場新設等)	3,548 千円	
・観光施設整備工事(レークサイド大栄トイレ新設)	6,646 千円	(繰越事業)
・観光施設等修繕工事	7,030 千円	
・観光施設解体・撤去工事(レークサイド大栄遊具解体等)	505 千円	
・指定管理施設の備品購入	570 千円	
・北栄町観光協会補助金	10,063 千円	
・関係団体等負担金 (鳥取中部観光推進機構、鳥取県観光連盟、道の駅連絡会等)	518 千円	

【成果】 コロナ禍において、施設整備や観光案内、情報発信を進めることで、感染終息後の集客回復を見込んだハード、ソフト両面の整備を進めた。

- ②観光施設指定管理者委託事業 22,089千円 *町単独事業
- 4か所の町有施設に指定管理者を置き、サービスの向上と運営の効率化を図った。
- ・観光施設指定管理委託料 21,443 千円
 - <内訳> 北条海浜広場 } 6,097 千円
 - 蜘蛛ヶ家山山菜の里 } 7,853 千円
 - お台場公園 7,493 千円
 - レークサイド大栄 7,493 千円
 - ・北条海浜広場消防用設備保安委託料 22 千円
 - ・土地賃借料(北条海浜広場、レークサイド大栄案内誘導看板) 622 千円
 - ・レークサイド大栄運営委員会報償費 2 千円

【実績】

年間利用状況(利用者数)

区 分		H30	R1	R2
オートキャンプ場		11,374人	13,359人	8,751人
お台場公園		54,108人	53,446人	29,101人
レークサイド大栄		45,773人	43,974人	40,270人
主催グラウン ドゴルフ大会	一般	33回 5,752人	35回 6,325人	26回 5,267人
	会員	8回 525人	9回 738人	6回 623人

【成果】 新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、指定管理者によるサービスの向上と運営の効率化を進め、施設の適切な整備を行ったことで利用者の利便性の向上を図った。

③コナンのまちづくり事業 13,922千円 *町単独事業

- ・ノベルティグッズ(クリアファイル)の制作 142 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路の開催(委託先:北栄町観光協会) 5,136 千円
(R2開催委託分 3,581千円、R3(R2)開催委託分 1,555千円)
(R2累計入場者数7,898人、R2入場料収入2,741千円(町収入分))
- ・名探偵コナン巨大迷路装飾ラッピング制作設置委託 198 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路改修等工事 1,272 千円
- ・キャラクターオブジェ着彩メンテナンスほか修繕 2,732 千円
- ・マンガのまちづくり推進研修会 219 千円
- ・「まんが王国とっとり」協働推進補助金(交付団体:2団体) 2,168 千円
- ・まんが・アニメ関連商品開発支援事業補助金(交付団体:2団体) 60 千円

【成果】 コロナ禍においても、集客催事として巨大迷路を開催し、キャラクターオブジェのメンテナンス等コナン通りの受け入れ環境を整備することで、「名探偵コナンに会えるまち」を内外に発信し続け、感染終息後のV字回復に向けて布石を打つことができた。
また、マンガのまちづくり推進研修会を開催して有識者による講演を行うことで、コナンのまちづくりに対する町民の関心を高め、理解を深める機会を提供できた。

④「まんが王国とっとり」協働推進事業 12,984千円 *県1/2(上限5,000千円)

- ・江戸川コナン&怪盗キッドキャラクターオブジェの設置 6,875 千円
- ・コナン駅コインロッカーの設置 4,276 千円

【成果】 新しいキャラクターオブジェを設置したことで、SNS等で話題となり、ファンや観光客、住民の方の関心を高めることができた。また、コナン駅にコインロッカーを設置したことで、観光客が自由に周遊できる時間が増え、利便性や満足度を高めることができた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	3 お台場公園サービスエリア費	2,999千円	2,957千円

①お台場公園サービスエリア管理事業 2,957千円 *町単独事業

お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を行った。

・トイレ清掃委託料	2,093 千円
・トイレトーパー等消耗品購入費	776 千円
・施設の維持管理(消防設備点検、修繕費など)	53 千円
・車椅子購入費	35 千円

【実績】

年間利用状況(利用者数)

区 分	H30	R1	R2
レストラン・売店	53,286人	49,685人	14,892人
農産物直売所	255,545人	261,812人	244,702人
計	308,831人	311,497人	259,594人

【成果】 お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	4 北条砂丘公園センター費	1,809千円	1,754千円

①北条砂丘公園センター管理事業 1,754千円 *町単独事業

北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を行った。

・トイレ清掃委託料	1,007 千円
・トイレトーパー等消耗品購入費	99 千円
・光熱水費(希望の館含む)	424 千円
・施設の維持管理(トイレの修繕など)	224 千円

【実績】

年間利用状況(利用者数)

区 分	H30	R1	R2
農産物直売所・食事処	27,080人	29,950人	20,400人

【成果】 北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	7 環境衛生費	17,904千円	14,516千円
①合併処理浄化槽整備事業 712千円					
		年度	H30	R1	R2
		補助事業費	1,552千円	0	412千円
②合併処理浄化槽特別会計繰出金事業 4,441千円					
		年度	H30	R1	R2
		繰出金	3,995千円	4,609千円	4,441千円
【成果】 令和2年度設基数:1 下水道に接続できない者に浄化槽設置助成を行い、公共用水域の水質保全に寄与した。また、合併浄化槽特別会計へ繰出を行い、経営の安定に寄与した。					
③浄化槽設置事業推進基金積立金事業 0千円					
		年度	H30	R1	R2
		基金残高	1,741千円	1,647千円	1,553千円
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	4 農業総務費	77,317千円	75,711千円
①農業集落排水特別会計繰出金事業 9,134千円					
		年度	H30	R1	R2
		繰出金	9,135千円	9,209千円	9,134千円
【成果】 農業集落排水特別会計へ繰出を行い、経営の安定に寄与した。					
②集落排水事業推進基金積立金事業 1千円					
		年度	H30	R1	R2
		基金残高	8,310千円	7,278千円	6,243千円
款	7 土木費	項	1 土木管理費	予算現額	決算額
		目	1 土木総務費	89,610千円	89,095千円
①斜面崩壊復旧事業 7,000千円					
		年度	H30	R1	R2
		事業費	0	945千円	7,000千円
【成果】 平成30年7月豪雨により崩壊した人家裏の斜面を復旧するため、令和元年度に現地測量を実施し、令和2年度復旧工事を完成させた。					
②震災に強いまちづくり促進事業 5,358千円					
住宅の耐震化(無料診断、耐震改修)					
		年度	H30	R1	R2
		事業費	5,035千円	5,370千円	5,358千円
【成果】 住宅の耐震化について地道に啓発を続けており、年間数件ずつではあるものの、継続的に耐震改修工事が行われており、町内住宅の耐震化に寄与することができた。					

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予算現額	決算額
		目	1 道路維持管理費	182,066千円	138,499千円
		①道路維持管理事業		138,499千円	
		年度	H30	R1	R2
		維持管理費	56,277千円	108,655千円	138,499千円
		<ul style="list-style-type: none"> ・維持修繕関係費 37,403千円 道路維持修繕 町道側溝修繕工事 19件 主な工事内容: 舗装陥没修繕、側溝蓋修繕、路肩修繕、安全施設修繕、原材料費 等 ・舗装修繕関係費 62,950千円 舗装長寿命化工事 5件(9路線) ・町道除草委託業務 7,413千円 通学路、幹線町道等 ・測量設計委託料等 3,102千円 道路修繕測量・設計、土木積算システム賃貸借料 ・除雪関係費①(町道) 25,564千円 冬期除雪 町内全域 4回 巡視・点検 ・除雪関係費②(消雪装置維持管理) 2,067千円 電気料金、点検整備、下神融雪ポンプ修繕、凍結防止剤購入等 			
		【成果】 必要に応じて町道等の維持管理を行うことにより、安全な交通を確保した。			
款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予算現額	決算額
		目	2 道路新設改良費	285,765千円	206,279千円
		①社会資本整備総合交付金事業		166,183千円	
		松神国坂線(下神・田井)外の道路改良工事、米里12号線道路改良工事外の測量設計業務及び除雪			
		年度	H30	R1	R2
		交付金事業費	96,115千円	204,047千円	166,183千円
		<ul style="list-style-type: none"> ・松神国坂線側溝改良工事(田井4工区)外 ・米里12号線道路改良工事「測量設計業務委託」外 			
		【成果】 通学路の側溝改良による路肩拡幅・冠水対策のための道路嵩上げ等を行い、4路線の安全性や走行性が向上した。			
		②道路メンテナンス事業		40,096千円	
		橋梁定期点検(2巡目)・加賀前橋橋梁外の修繕工事			
		年度	H30	R1	R2
		補助事業費	-	-	40,096千円
		<ul style="list-style-type: none"> ・道路橋定期点検業務 50橋 ・加賀前橋橋梁修繕工事外 5橋 			
		【成果】 橋梁の老朽化対策として、50橋の法定点検及び5橋の修繕工事を行い、施設の長寿命化を促進した。			

款	7 土木費	項	3 河川総務費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	1 河川総務費	1,183千円	1,064千円								
<p>①河川総務事業 348千円</p> <p>天神川樋門操作 286千円 国から受託事業:江北排水樋門外1門 由良川樋門操作 62千円 県から受託事業:瀬戸排水樋門外1門</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託事業費</td> <td>245千円</td> <td>333千円</td> <td>348千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 大雨時に河川からの逆流防止を図り、堤内地の浸水被害を防止した。</p>						年度	H30	R1	R2	受託事業費	245千円	333千円	348千円
年度	H30	R1	R2										
受託事業費	245千円	333千円	348千円										
<p>②河川関係負担金事業 132千円</p> <p>天神川改修促進期成同盟会外1団体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金</td> <td>252千円</td> <td>252千円</td> <td>132千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 天神川水系河川改修事業の促進に寄与した。</p>						年度	H30	R1	R2	負担金	252千円	252千円	132千円
年度	H30	R1	R2										
負担金	252千円	252千円	132千円										
<p>③浜川水路橋維持管理事業 584千円</p> <p>弓原地区浜川の北条川放水路横断水路橋維持管理事業 操作業務委託、電気料金、修繕費、需用費等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2,142千円</td> <td>619千円</td> <td>584千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 水路橋の適切な維持管理を行い、浜川の機能を保全することができた。</p>						年度	H30	R1	R2	維持管理費	2,142千円	619千円	584千円
年度	H30	R1	R2										
維持管理費	2,142千円	619千円	584千円										
款	7 土木費	項	5 都市計画費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	2 下水道費	896,215千円	896,215千円								
<p>①下水道特別会計繰出金事業 896,215千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰出金</td> <td>901,187千円</td> <td>914,338千円</td> <td>896,215千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 下水道事業へ繰出を行うことにより、下水道事業会計の経営安定化を図ることができた。</p>						年度	H30	R1	R2	繰出金	901,187千円	914,338千円	896,215千円
年度	H30	R1	R2										
繰出金	901,187千円	914,338千円	896,215千円										

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	1 児童福祉総務費	262,119千円	253,906千円

①子育て総務事業 190,679 千円

町内私立保育所(園)及び町外保育所(園)に委託し、保育を実施するとともに、保護者の仕事と育児の両立を図った。

・北条みどりこども園委託料 93,183 千円
(3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H30	人数	9	10	17	16	13	17	82
R1	人数	12	12	11	17	17	14	83
R2	人数	6	13	14	12	16	19	80

※町外からの広域入所は含まず

・栄保育所委託料 22,107 千円
(3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H30	人数	3	3	3	0	7	2	18
R1	人数	2	3	3	0	0	4	12
R2	人数	6	1	3	0	0	0	10

※町外からの広域入所は含まず

・広域保育委託料 61,440 千円
(3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H30	人数	11	12	10	11	10	6	60
R1	人数	10	12	13	6	14	11	66
R2	人数	8	7	10	10	5	16	56

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

②木育推進事業 270 千円

7か月児健診時に県産材を使った積木セットをプレゼントした。

・配布数 93セット

【成果】 親子で木と触れ合うことを通して、豊かな心を育ててもらえるきっかけを提供できた。



③在宅育児支援事業 10,361 千円

乳幼児をこども園などに預けずに家庭で保育する保護者に給付金を支給した。

・支給件数 延べ 132件

【成果】 家庭で保育する保護者へ経済的な支援を行うことができた。

④ネウボラ事業 941 千円

専任のコーディネーター(保健師)が母子健康手帳の交付から継続的に関わり、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行った。

・母子健康手帳交付件数 94件、養育支援訪問件数 延べ 30件

【成果】 個々のケースを把握し、ハイリスク妊婦(世帯)については、関係課や医療機関と情報共有しながら必要な支援を行い、虐待やDVの未然防止につなげた。

⑤産前産後サポート事業 72 千円

産前産後の体調不良のため、家事などを行うことが困難な場合にヘルパーを派遣した。

・利用件数 延べ 3件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、安心して出産を迎え、子育てができる環境を整えた。

⑥産後ケア事業 473 千円

出産後に、育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない場合に、医療機関等で心身のケアや育児のサポートを行った。

・宿泊型 延べ 9件

・デイサービス型 母子利用 延べ 4件/乳児のみ 延べ4件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、母子が安心して過ごせる環境を整えた。

⑦パパママ教室 50 千円

妊娠・出産・育児に関する不安軽減、子育て中の孤立防止、育児技術の習得に向けて、妊婦とその家族に対して知識の普及と地域での相談場所・仲間づくりを行った。

・参加者 延49人（妊婦 24人、夫 18人、その他家族 7人）

【成果】 夫等家族の参加もあり、妊婦への理解や産後の孤立予防につながった。



⑧1歳児すくすく教室 2 千円

日々の育児が変化する1歳頃に、発達段階に沿った育児に関する知識の普及を行った。6か月児健診から1歳6か月児健診までの間、乳幼児と家族の状況を把握し育児支援を行った。

・参加者 73人（乳児 36人 保護者 37人）

【成果】 参加者の日頃の困り事に応じた講話を行う事で育児不安の軽減につながった。また、保護者同士の情報交換や、身近な相談場所や支援者の周知機会になった。

⑨親育ち事業 148 千円

虐待の未然予防につなげるため、子育ての不安軽減や養育能力の向上を図るための「笑育講座」や「生きるための心の教育」に取り組んだ。

【成果】 保護者や町内こども園の保育士が子どもに対して「ほめる、共感する、待つ」など肯定的な関わりを学び、虐待の未然予防につなげることができた。

将来、安心と喜びを感じる妊娠・出産を迎えるため、生きるための心の教育の取り組みを町内小中学校と共同で開始し、意識向上を図ることができた。

⑩施設等利用給付事業 951 千円

無償化の対象である3歳以上の子どもに対し、一時預かり、認可外保育施設の入所等について一定の範囲で施設へ給付した。

・利用件数 4件

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	2 認定こども園管理運営費	508,125千円	495,871千円

①町立こども園管理運営事業 65,199 千円

・北条こども園管理運営事業	20,830 千円	・大誠こども園管理運営事業	21,823 千円
・由良こども園管理運営事業	16,463 千円	・大谷こども園管理運営事業	6,084 千円

園児数 (3月末現在)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	広域入所	合計
H30	30	62	73	96	95	109	465	14	479
R1	23	61	74	87	98	99	442	7	449
R2	30	53	69	89	91	98	430	2	432
北条こども園	6	24	29	39	40	43	181	0	181
大誠こども園	15	15	20	25	27	22	124	0	124
由良こども園	9	11	18	21	21	24	104	1	105
大谷こども園	0	3	2	4	3	9	21	1	22

保育料徴収の状況 (単位:千円・%)

区分	H30年度			R1年度			R2年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	53,431	53,431	100.0	35,293	35,293	100.0	16,616	16,616	100.0
滞納繰越分	410	305	74.4	105	48	45.7	52	52	100.0
計	53,841	53,736	99.8	35,398	35,341	99.8	16,668	16,668	100.0

※令和元年10月から幼児教育・保育無償化制度施行。

※各こども園には、北栄町外からの広域入所分を含む。

【成果】 国基準を上回る北栄町の基準による適正な職員配置に努め、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えた。また、園内研修の充実を図るとともに、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。
施設の定期的な点検を行い、必要に応じて補修や工事を実施し、安全を確保した。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	3 放課後児童健全育成費	29,016千円	29,016千円

①放課後児童健全育成事業 29,016 千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、放課後の安全な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。(令和元年7月から民間事業者へ委託して実施。)

利用児童数等 北条なかよし学級 定員:100人 大栄こども学級 定員:80人

区分		児童数(3月)							月平均 登録数	最大登録		年日数 (日)
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		月	人数	
北条	H30	32	26	18	7	5	1	89	103.5	7月	118	289
	R1	51	27	16	11	3	1	109	115.0	7月	129	286
	R2	32	39	20	8	4	0	103	112.3	4月	133	289
大栄	H30	23	18	19	2	0	1	63	75.6	4月	100	289
	R1	29	22	17	11	0	0	79	82.2	4月	90	286
	R2	28	14	16	11	6	0	75	88.6	4、7月	107	289

※人数は、利用数ではなく申込数

【成果】 放課後や夏休みなどの長期休業中など、児童が適切に生活したり遊べる場を提供することで、保護者が安心して働ける環境を整備できた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	5 地域子育て支援費	3,467千円	2,960千円

①北栄子育て支援センター事業 1,954 千円

子育て家庭の交流の場の提供や、母親のリフレッシュにつながる取り組みを行った。

利用数 (数値は延べ数)

区分	H30	R1	R2
年間利用世帯数	4,186	4,778	2,908

【成果】 新型コロナウイルスの影響で来所者数が減少したものの、利用者からの「リフレッシュできた」「他の人と交流できてよかった」などの声が多く、満足度の高い取り組みを行うことができ、親子の交流や母親の気分転換を図ることができた。

②ファミリー・サポート・センター事業 37 千円

地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮し、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と援助ができる人(提供会員)の調整を行った。

会員数 (3月末)

区分	H30	R1	R2
活動件数	7	10	9
提供会員	12	3	3
依頼会員	37	37	28
会員合計	40	40	31

【成果】 子育て世代のサポートができた。

③乳幼児健康支援一時預かり事業 866 千円

子どもが病気にかかりこども園等に登園することができず、保護者が仕事などを休むことができない場合に、病院等の専用スペースで一時預かり保育を倉吉市に委託し行った。

区分	H30	R1	R2
病児保育事業	17	66	69
病後児保育事業	14	5	7

※年間利用児童数(延人)

【成果】 病気の子どもを安心して預ける場所を提供することで、保護者の就労等のサポートができた。

④休日保育事業 103 千円

日曜・祝日等に保護者の勤務などで保育ができない場合の対応として、休日保育を倉吉市に委託し行った。

・利用件数 4 件

【成果】 保護者の就労等のサポートができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予算現額	決算額												
		目	1 教育委員会費	1,782千円	1,777千円												
		①教育委員会事業		1,777 千円	(教育関係負担金含む)												
<p>毎月1回の教育委員会の定例会を開催したほか、必要により臨時会を開催した。総合教育会議、各種研修会等への出席やこども園、小学校、中学校への計画訪問、諸行事に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 定例会12回(毎月)、臨時会2回 ・教育委員会視察 コロナウイルスの感染拡大状況により実施見送り ・総合教育会議 5月26日、12月2日 意見交換のテーマ 小学校における外国語教育活動について/大谷こども園の在り方について など ・計画訪問(こども園、小・中学校) 前期:中止、後期:10月~11月 ・負担金 郡教委連絡協議会負担金、県市町村教委研究協議会負担金 <p>【成果】 教育委員会においては、法令等に定める議決事項等の審議決定に加え、教育行政における懸案事項等について協議を行い、教育行政の振興を図った。 計画訪問を行い、教育活動の現状や学校経営上の成果と課題を把握した。また、学校経営について意見交換を行い、今後の教育推進方策について協議した。</p>																	
款	9 教育費	項	1 教育総務費	予算現額	決算額												
		目	2 事務局費	250,690千円	184,131千円												
		①事務局事業		19,638 千円													
<p>就学前教育に係る指導助言、就学相談や指導助言等を行うため、指導主事を4名配置。音田教育振興基金から、経済的な問題がある等の困難な中学生に高等学校入学準備費給付金を支給した。</p> <p>授業用及び校務用パソコンの整備(リース)</p> <p>音田教育振興基金給付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給付金支給者</td> <td>5人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>給付金合計額</td> <td>50万円</td> <td>60万円</td> <td>50万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 指導主事4名により、こども園幼児から中学校生徒までの子どもたちの豊かな育ちや学びなどについてこども園、小中学校等へ指導等を行った。学校教育以外においても家庭教育や人権教育にも指導的立場で意見を述べ、教育の振興を図った。 音田教育振興基金を活用し、向学心旺盛ながら経済的に支障があるなどの中学生に高等学校入学準備費を支給し、学習を支援した。</p>						項目	H30	R1	R2	給付金支給者	5人	6人	5人	給付金合計額	50万円	60万円	50万円
項目	H30	R1	R2														
給付金支給者	5人	6人	5人														
給付金合計額	50万円	60万円	50万円														
		②事務局関係負担金事業		10,290 千円													
<p>教育に関する次の負担を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校災害共済掛け金負担金 1,084 千円 少人数学級実施協力金 7,000 千円 中部こども支援センター負担金 1,222 千円 ICT共同化推進協議会負担金 736 千円 など <p>【成果】 少人数学級の導入により、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させたほか、不登校児童生徒の学校復帰を目指す中部子ども支援センターの活動を支援した。</p>																	

③教育力向上事業 5,632 千円

大学教授等を講師に迎え授業研究を行い、児童・生徒の学力向上に向けた取り組みを行った。

- ・サマースクール（7月22日ほか6日間、中央公民館講堂など）
- ・ウインタースクール【英語版】（1月末～2月中旬8日間、各中学校）
- ・生き方を学ぶ講演会
- ・学力等調査の実施（ハイパーQU、知能検査、学力検査、診断テスト）
- ・自治会等地域ボランティア学習支援（土下自治会外3団体）
- ・英語検定受験料助成 3級受検27人、準2級受検6人、2級受検3人

【成果】 サマースクール～まなびの広場～や自治会等地域ボランティア学習支援事業などにより、夏休み等の学習習慣定着につなげたほか、授業研究会に大学教授や准教授を招聘して、指導方法や教材研究について学び、実践に活かした。

学力調査等の実施・分析により、指導内容の工夫を図った。

英語検定3級以上の受験者を増やすことや中学生の英語力向上のためウインタースクールを実施。ALT等とのリスニング、スピーキングに特化した取り組みで参加生徒は意欲をもって取り組んだ。

④ふるさと鳥取見学(県学)支援事業 204 千円

県の補助金(補助率1/2)を活用し、社会科見学を行った。

大栄小学校 6年:大山寺他

⑤通学路安全対策事業 1,297 千円

通学路安全対策推進協議会で協議した通学路の安全対策を実施。

- ・地域での見守り体制の強化のため、「こどもかけこみ110の車・自転車」を導入した。
- ・スピード抑制対策として「通学路路面シート」を6ヶ所設置した。

⑥県立特別支援学校通学支援事業 2,968 千円

県立倉吉養護学校小学部に通学する医療ケアが必要な児童について鳥取県交付金(10分の10)を活用し通学支援を行う事業。児童4名の通学を支援した。

⑦発達支援体制整備事業 837 千円

障がいのある又は発達に支援を必要とする乳幼児、児童、生徒に対し、自立と社会参加に向けた適切な支援を行う体制を構築。福祉課・健康推進課・教育総務課で連携した事業を行った。

特別支援教育アドバイザーを配置し、こども園、小中学校において発達支援に関する指導助言を行った。

⑧小学生自転車用ヘルメット着用推進事業 38 千円

小学生自転車用ヘルメットの購入費補助を行った。

申請者:25人

【成果】

事業実施により、PTAでも積極的に制度の紹介をしていただくなど、着用の推進につなげることができた。

⑨コミュニティスクール推進体制構築事業 811 千円

中学校区ごとに準備委員会を開催し、令和3年4月の学校運営協議会の設置に向けて取り組んだ。

【成果】

予定通り両中学校区での学校運営協議会設置の準備ができ、次年度以降の実践に向けて、体制を整えることができた。

⑩GIGAスクール構想整備事業 71,536 千円

GIGAスクール構想の実現に向けてタブレット端末910台の整備及び校内通信ネットワークの整備を行った。

【成果】

次年度からの本格実施に向けて体制を整えることができた。

⑪北条中学校大規模改造事業 7,315 千円

建築から24年が経過した北条中学校の施設長寿命化を図るための大規模改造工事実施設計を行った。

【成果】

次年度の工事実施に向けて発注準備を整えることができた。

⑫幼児通級指導教室設置事業 1,028 千円

発達に支援が必要な園児(年中児)を対象に、通所による個別指導や小集団指導を実施した。保護者面談を実施し相談対応を行った。

【成果】

- ・一人一人の園児の発達や個々のニーズに応じた目標を設定し指導を行うことで、子ども達が「できた」喜びを味わいながら自信をつけた。園生活においても変容が見られた。
- ・保護者の思いに寄り添いながら、子どもの育ちを共有したり、その子に合った関わり方を共に考えたりしていくことができた。

⑬高校生等通学費助成事業 1,439 千円

高校生等を抱える世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの教育の機会の均等を図ることを目的として、通学費用を支援する。

【成果】

県内13高校等から、55人の申請があり、通学費を支援することができた。

⑭フリースクール利用料助成事業 900 千円

町内の義務教育段階にある児童生徒がフリースクールに通う場合の経費に対する支援を行う。

【成果】

町内フリースクールに通う6人(中学生3人・小学生3人)から申請があり、通学経費を支援することができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 額	決 算 額
		目	3 外国青年招致費	7,049千円	5,676千円

①外国青年招致事業 5,676 千円

外国語指導助手を招致し、中学校における英語授業の補助や小学校・こども園における外国語活動等を実施した。

- ・4月～3月 ジャマイカ国籍女性 北条中学校勤務
- ・4月～7月 ジャマイカ国籍女性 大栄中学校勤務

【成果】 中学校での学習活動に加え、小学校での外国語活動及び外国語科学習の先行実施において、円滑な実施に資することができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予算現額	決算額
		目	1 北条小学校管理費	43,833千円	42,699千円

①北条小学校管理事業 42,106 千円 ※風のまちづくり事業充当3,263千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・ 教室照明LED化工事 3,263 千円
- ・ 図書室エアコン取替工事 968 千円
- ・ 北校舎インターホン増設工事 721 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等支援員等の設置 16,631 千円

児童数 (令和2年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	24 人	31 人	55 人
2年	3 組	37 人	35 人	72 人
3年	2 組	30 人	34 人	64 人
4年	3 組	33 人	36 人	69 人
5年	2 組	21 人	35 人	56 人
6年	2 組	34 人	28 人	62 人
特別支援学級	6 組	24 人	13 人	37 人
合計	20 組	203 人	212 人	415 人

【成果】 北条小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 593 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

区 分	H30	R1	R2
利用児童数	63人	76人	76人
対全校児童数	15.5%	18.4%	18.3%

※H30からさつきヶ丘自治会児童は冬期バス通学に変更

【成果】・遠距離通学児童の安全な登下校の確保をした。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予算現額	決算額
		目	2 大栄小学校管理費	61,899千円	59,846千円

①大栄小学校管理事業 56,076 千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・ 校長室他エアコン取替工事 7,040 千円
- ・ 渡り廊下防水シート改修工事 2,200 千円
- ・ 防犯カメラ更新工事 704 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 23,795 千円

児童数 (令和2年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	3 組	36 人	26 人	62 人
2年	2 組	28 人	30 人	58 人
3年	3 組	32 人	39 人	71 人
4年	2 組	31 人	21 人	52 人
5年	2 組	35 人	29 人	64 人
6年	2 組	20 人	33 人	53 人
特別支援学級	6 組	20 人	7 人	27 人
合計	20 組	202 人	185 人	387 人

【成果】 大栄小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 3,771 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

区 分	H30	R1	R2
利用児童数	188人	205人	224人
対全校児童数	48.8%	55.0%	57.9%

【成果】 遠距離通学児童の安全な登下校の確保をした。

款	9	教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
			目	3 小学校教育振興費(共通)	876千円	546千円

①小学校外国語教育活動事業 46 千円

小学校に外国語教育指導員を配置。3, 4年生の外国語活動、5, 6年生の外国語科の学習を実施。

【成果】 ALT、英語専科教員と連携し、外国語科学習の円滑な実施を図ることができた。

②小学校教育振興関係負担金事業 48 千円

次のとおり負担した。

- ・ 中部小学校教育研究費負担金 25 千円 ・ 中部学校保健会負担金 8 千円
- ・ 中部小学校体育連盟負担金 8 千円 ほか

【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。

③児童通学支援事業 452 千円

北条小学校の遠距離通学となる児童に対し、路線バス代を補助した。対象地区:松神、下神。

区 分	H30	R1	R2
補助児童数	35人	33人	29人
対全校児童数	8.6%	8.0%	7.0%

【成果】 遠距離通学児童の通学時の安全確保を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減した。

款	9	教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
			目	4 北条小学校教育振興費	11,713千円	11,382千円

①北条小学校教育振興事業 11,382 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

- ・ 児童用図書・教材備品購入費 1,987 千円

就学援助事業(要保護・準要保護) 2,948 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H30	R1	R2
対象	保護者数	38人	40人	41人
	児童数	51人	48人	49人
児童の割合		12.6%	11.6%	11.8%

特別支援教育就学奨励事業 458 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H30	R1	R2
対象	保護者数	21人	18人	19人
	児童数	22人	19人	21人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	5 大栄小学校教育振興費	10,111千円	9,644千円																														
<p>①大栄小学校教育振興事業 9,644 千円</p> <p>学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用図書・教材備品購入費 1,632 千円 <p>就学援助事業(要保護・準要保護) 1,520 千円</p> <p>経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">対象</td> <td>保護者数</td> <td>20人</td> <td>22人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>28人</td> <td>28人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>児童の割合</td> <td>7.3%</td> <td>7.5%</td> <td>8.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別支援教育就学奨励事業 347 千円</p> <p>特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">対象</td> <td>保護者数</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。</p>						区分	H30	R1	R2	対象	保護者数	20人	22人	24人	児童数	28人	28人	33人	児童の割合	7.3%	7.5%	8.5%	区分	H30	R1	R2	対象	保護者数	13人	13人	16人	児童数	13人	13人	16人
区分	H30	R1	R2																																
対象	保護者数	20人	22人	24人																															
	児童数	28人	28人	33人																															
児童の割合	7.3%	7.5%	8.5%																																
区分	H30	R1	R2																																
対象	保護者数	13人	13人	16人																															
	児童数	13人	13人	16人																															
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	6 言語通級指導教室費	119千円	112千円																														
<p>①言語通級指導教室事業 112 千円</p> <p>大栄小学校に言語障がい通級指導教室「ことばの教室」を設置。この教室はことばが増えない、発音がはっきりせずわかりにくいなどの児童に対し指導を行った。</p> <p>【成果】 必要なことばのトレーニングやコミュニケーションの力を高める小集団指導を行うことにより、友達に思いを伝えることを楽しみ、自信をつけさせた。</p>																																			
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	7 発達通級指導教室費	258千円	254千円																														
<p>①発達通級指導教室事業 254 千円</p> <p>大栄小学校に発達障がい通級指導教室「まなびの教室」を設置。発達障がいのある児童等に指導を行った。</p> <p>【成果】 一人一人に合わせた指導を行うことによって、子どもたちが「できた」「わかった」喜びを味わったり学び方を身に付けたりし、自信をつけた。</p>																																			

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	1 北条中学校管理費	40,407千円	38,627千円

①北条中学校管理事業 38,627 千円 ※風のまちづくり事業充当8,080千円

学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。

- ・ 教室照明LED化工事 8,080 千円 ・ 体育施設修繕工事 430 千円
- ・ 体育館ステージ幕取替工事 182 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 17,012 千円
生徒数 (令和2年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	26 人	22 人	48 人
2年	2 組	33 人	24 人	57 人
3年	2 組	28 人	33 人	61 人
特別支援学級	4 組	11 人	8 人	19 人
合計	10 組	98 人	87 人	185 人

【成果】 北条中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	2 大栄中学校管理費	55,877千円	53,575千円

①大栄中学校管理事業 53,575 千円 ※風のまちづくり事業充当8,456千円

学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。

- ・ 教室照明LED化工事 8,457 千円 ・ 調理台取替工事 11,330 千円
- ・ 体育館ステージ下収納台設置業務 1,045 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 17,313 千円
生徒数 (令和2年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	32 人	21 人	53 人
2年	2 組	25 人	35 人	60 人
3年	3 組	23 人	26 人	49 人
特別支援学級	3 組	10 人	1 人	11 人
合計	10 組	90 人	83 人	173 人

【成果】 大栄中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	3 中学校教育振興費(共通)	1,504千円	1,312千円

①中学校教育振興関係負担金事業 249 千円

次のとおり負担した。

- ・ 県中学校体育連盟負担金 107 千円 ・ 中部教育協議会負担金 134 千円
- ・ 学校図書館協議会負担金 3 千円 ・ 県中学校指導部連盟負担金 1 千円
- ・ 県中部学校保健会負担金 4 千円

【成果】 ・各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。

②学習事業 228 千円

中学校のキャリア教育の一環として、卒業生や各職種の社会人の方を講師に招き、体験談等を聞いたほか、運動会、文化祭等では生徒会を中心に自治的な活動となるよう実施。

【成果】 社会人等の講話を通じて将来のあるべき自分の姿を考えさせたほか、運動会等の行事を通して学級集団で目標達成を目指す取り組みや自治的活動の育成を図った。

③修学旅行引率費補助金事業 60 千円

引率費の一部を助成した。

北条中学校 3学年 66名 教職員 8名 9月24日～1泊2日 松江・石見方面
大栄中学校 3学年 46名 教職員 7名 9月24日～1泊2日 松江・石見方面

④生徒派遣事業 185 千円

各種大会等に参加のためのバス等の借り上げ、また、交通費・宿泊費等の補助を行った。

・バス等借上 185 千円
・主な派遣先 中部地区総体、中部地区新人大会

⑤部活動振興事業 592 千円

部活動指導員等を設置するとともに、部活動使用物品を購入し、活動環境を整えた。

- ・部活動指導員の設置
北条中:バスケットボール、サッカー、バドミントン、剣道
大栄中:柔道、卓球(男女)、バレーボール、吹奏楽
- ・外部指導者の設置
北条中:卓球

【成果】 8名の指導員、1名の外部指導者による大会引率や技術的指導により、教員の長時間勤務の解消、心理的負担の軽減の一助となった。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	4 北条中学校教育振興費	8,043千円	7,506千円

①北条中学校教育振興事業 7,506 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費 1,858 千円

就学援助事業(要・準要保護) 3,780 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H30	R1	R2
対象	保護者数	24人	34人	31人
	生徒数	31人	44人	33人
生徒の割合		14.8%	22.3%	17.8%

特別支援教育就学奨励扶助事業 361 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H30	R1	R2
対象	保護者数	6人	9人	14人
	生徒数	6人	9人	14人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	5 大栄中学校教育振興費	7,847千円	7,263千円

①大栄中学校教育振興事業 7,263 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費 3,559 千円

就学援助事業(要保護、準要保護) 2,183 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H30	R1	R2
対象	保護者数	17人	19人	21人
	生徒数	17人	20人	22人
生徒の割合		8.30%	10.1%	12.7%

特別支援教育就学奨励事業 115 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

項目		H30	R1	R2
対象	保護者数	7人	4人	8人
	生徒数	7人	4人	8人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	4 学校給食費	131,372千円	130,486千円

①学校給食センター管理事業 58,273 千円

小・中学校、北条こども園の学校給食の実施において、給食センターの管理運営、食数管理のほか、給食費の徴収業務等を行った。調理部門については、民間委託により民間企業等の専門的な知識・技術を活用し、業務効率の向上、安全管理の推進を図った。また、子どもたちの食育推進のため、各種給食イベントを実施した。

・給食実施回数

学校等名	H30	R1	R2
北条こども園	238 回	229 回	233 回
北条小学校	189 回	181 回	192 回
大栄小学校	188 回	182 回	188 回
北条中学校	188 回	181 回	188 回
大栄中学校	186 回	181 回	188 回

※新型コロナウイルスの影響による
給食中止 4月27日～5月1日(4食)

・学校給食調理等業務委託 (単位:千円)

区分	H30	R1	R2
委託料	39,960	40,330	40,700

※業務委託はH29から5年契約

・主な実施事業

食育週間特別献立(6月)

サプライズ給食(年2回)

地産地消懇談会(8月)

全国学校給食週間(1月)(特別献立、学校給食アンケート、小中学生給食作品展)

卒業生お祝い給食(3月)

・給食費の徴収状況

(単位:千円・%)

区分	H30年度			R1年度			R2年度			
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
小学校	現年	45,025	45,022	99.99	43,396	43,396	100.00	35,458	35,458	100.00
	滞納	1,030	268	26.0	764	339	44.4	405	75	18.5
	計	46,055	45,290	98.3	44,160	43,735	99.0	35,863	35,533	99.1
中学校	現年	27,948	27,942	99.98	25,509	25,509	100.00	18,834	18,834	100.00
	滞納	1,553	88	5.7	1,472	438	29.8	766	272	35.5
	計	29,501	28,030	95.0	26,981	25,947	96.2	19,600	19,106	97.5
合計	75,556	73,320	97.0	71,141	69,682	97.9	55,463	54,639	98.5	

【成果】 年間を通し、安心安全な学校給食の提供が実施できた。また、今年度については、地方創生臨時交付金を活用し、給食費(3ヶ月分)を免除することにより、新型コロナウイルスで経済的な影響が大きかった子育て世帯への負担軽減を図ることができた。

学校給食費の徴収及び過年度未納額の債権整理を計画的に行い、着実な徴収に結びつけることができた。



サプライズ給食(北栄町産ドリームいちごサンド)



地元食材応援給食(大栄すいか)

②給食費事業(賄材料費) 61,693 千円

県内産・町内産食材をはじめ、必要となる学校給食食材の購入を行った。県内産、町内産食材を多く取り入れ、児童生徒の食育推進に繋げた。町費負担による地元食材を使ったサプライズ給食事業を実施した。

・地産地消率(県指定44品目)

区分	H30	R1	R2
国内産	100 %	100 %	100 %
うち県内産	94 %	98 %	95 %
県平均	70 %	70 %	67 %



地元食材応援給食(北栄町産黒毛和牛ハンバーガー、北条ワインのソース)

【成果】

年間を通して、品質の良い学校給食用食材を安定的に、なるべく安価に供給できた。また、地元食材を用いたサプライズ給食を実施し、子どもたちの食育推進と地産地消、さらには北栄町産食材のPRに繋げることができた。

令和2年度の学校給食における県産品利用率(県統計)は県内1位。



新型コロナウイルスで給食中止となり、キャンセルとなった大根を切り干し大根に加工(JA鳥取中央女性会北条支部による取組)



校区合同学校給食展

款	7 土木費	項	1 土木管理費	予算現額	決算額												
		目	1 土木総務費	89,610千円	89,095千円												
①住宅新築資金等貸付特別会計繰出金事業 28,055千円																	
【成果】 住宅新築資金等貸付特別会計の閉鎖にあたり、収支をゼロとするため、赤字補てん分を一般会計から繰出し会計閉鎖した。																	
款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額												
		目	1 社会教育総務費	60,361千円	59,697千円												
①社会教育総務事業 80千円																	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催 3回 ・委員の各種研修等への参加 2回(鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会など) 																	
【成果】 社会教育の振興のため、社会教育事業について、意見を述べたり、事業に参画したりした。また、コロナ対策を講じたうえで開催された鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会に参加し、社会教育委員に求められることについて学ぶと同時に、社会教育委員同士の情報交換を行うことにより委員の資質向上につながった。																	
																	
鳥取県社会教育委員研修会																	
②社会教育総務関係負担金事業 607千円																	
社会教育に関する協議会等の負担金																	
<ul style="list-style-type: none"> ・東伯郡社会教育協議会 ・鳥取県社会教育協議会 ・鳥取県社会教育委員連絡協議会 ・倉吉地区少年補導センター 																	
【成果】 関係機関との連携により社会教育振興につながった。																	
③青少年育成北栄町民会議交付金事業 141千円																	
・各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行う青少年育成北栄町民会議に交付金を交付した。																	
【成果】 あいさつ運動、見守りパトロール等により、地域が一体となって取り組む青少年健全育成につながった。																	
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動モデル自治会の名称を「あいさつ運動推進自治会」に変更し、各自治会に合った活動を推進 ・あいさつ運動推進事業所 92事業所(うち10事業所増、2事業所減) ※減は廃業に伴うもの 																	
④社会教育推進事業 123千円																	
・届ける学びを目的に「生涯学習出前講座」を実施し、地域住民を対象に学習情報・機会の提供を図る。																	
回数 年間67回 (含:おとなほくえい塾32回、認知症予防セットメニュー7回、貸出DVD1回)																	
会場 各自治会公民館等																	
参加者 延べ1,139人 (含:おとなほくえい塾547人、認知症予防セットメニュー105人、貸出DVD20人)																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>95回</td> <td>132回</td> <td>67回</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>2,484人</td> <td>2,878人</td> <td>1,139人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H30	R1	R2	回数	95回	132回	67回	参加者	2,484人	2,878人	1,139人
年度	H30	R1	R2														
回数	95回	132回	67回														
参加者	2,484人	2,878人	1,139人														

【成果】 自治会やいきいきサロンをはじめとする各種団体から申し込みがあった。内容に対する満足度も高く、住民のニーズにあった講座を提供することができた。

⑤社会教育関係団体活動費補助金事業 140千円

社会教育関係団体の活動に対し補助した。

- ・町婦人会
- ・北条小学校PTA
- ・大誠こども園PTA
- ・北条中学校PTA

【成果】 各団体が自主的に企画立案する活動や町行事、園行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などに補助し、会員等の資質向上につながった。

⑥学校・家庭・地域連携協力推進事業 852千円

・放課後子供教室推進事業「子どもほくえい塾」(国・県・町それぞれ1/3負担)

放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を、地域住民の協力で実施した。

※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託。

年度	H30	R1	R2
回数	146回	149回	127回
参加者	2,788人	1,353人	1543人
ボランティア・保護者	1,285人	749人	860人

・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催 2回

放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営・実施を図るため運営委員会を開催した。

【成果】 放課後子供教室では、多くの地域の方々に協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や放課後に様々な活動が実施できた。また、放課後子ども総合プラン運営委員会での意見などを参考にし、改善につながった。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	2 成人式費	438千円	243千円

①成人式事業 243千円

成人式実行委員会を立ち上げ、成人式開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を勘案し、延期とした。2021年1月に、町長や恩師などから集めたメッセージと、JA全農とっとりから提供された鳥取県産米「星空舞」の真空パックを送付した。2月下旬に開催時期の参考にするため、アンケートを送付し、結果、2021年8月14日(土)に開催することとした。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	3 公民館費	46,652千円	45,138千円

①中央公民館管理事業 4,426千円

町民が身近に感じ、いつでも「つどい」、「ふれあい」、「学ぶ」ことのできる中央公民館として、十分に機能が発揮できるよう施設の適正な管理を行った。

〔中央公民館利用実績〕

年度	H30	R1	R2
開催日数	359日	360日	340日※
利用者数※	19,252人	20,882人	17,148人

※R2は4/18～5/6休館

※会議室・ロビー利用者数



おもしろまなびタイム

【成果】 施設の点検を行い必要な対策をしながら、町民が安心・安全で気軽に利用できる学習施設として、子どもから高齢者まですべての年代を対象に学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。

②公民館運営事業 18,227千円

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の身近な拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕 10,737千円

大栄分館の管理運営をNPO法人まちづくりネットに委託し、地域住民の参画と協働に基づき、地域に根ざした「行って元気が出る中央公民館」としての運営を行った。

・中央公民館大栄分館利用実績

年度	H30	R1	R2
開催日数	359日	360日	341日※
利用者数※	45,403人	51,121人	49,531人

※R2は4/19～5/6休館

※会議室・ロビー利用者数

【成果】 すべての町民を対象に、健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進が図れた。

③公民館講座事業 770千円

ニーズが多様化、高度化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつながりを深めながら仲間づくりの輪を広げ、心の豊かさと健康的・文化的な生活の向上をめざし、公民館活動を行った。

〔シニアクラブ(高齢者教室)〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に、「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に学習講座を毎月開催し、生涯学習を推進した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開講式及び野外学習は中止した。

学習別会員数

年度	H30	R1	R2
総合学習	55	60	61
パソコン	23	18	15
ニュースポーツ	54	55	47
歌 唱	31	32	28
習 字	8	9	8
フラダンス	9	6	7
絵てがみ	15	14	14
食を考える	12	13	16
絵画	6	6	6



シニアクラブコース別学習
書道教室

学習別参加者

内 容	H30		R1		R2		
	回数	参加者	回数	参加者数	回数	参加者数	
総合学習	8	延べ194	8	延べ242	7	延べ154	
コース別学習	10	延べ932	10	延べ972	10	延べ818	
全 体 学 習	開講式・講演	1	80	1	81	中止	-
	ニュースポーツ交流会	1	49	1	53	1	43
	野外学習	2	61	2	73	中止	-
	閉講式・講演	1	80	1	68	1	58

〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に、地域づくり・人づくり活動の推進と多様な学習を通じた仲間づくりの機会として各種講座を実施し、参加者の輪を広げた。

内 容	H30		R1		R2	
	回	人数	回	人数	回	人数
青少年対象講座	20	417	15	379	11	273
成人対象講座	25	260	4	68	4	48

【成果】 青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、まなぶ環境づくりが推進できた。また、自主的な生きがいのある活動を促進し、ともに学ぶ仲間を広げる取組みとなった。

砂丘太鼓では、昨年度の参加者が今回はサークルのメンバーとして指導の立場で教室をサポートするなど、人づくりにつながった。

④北栄文芸編集・発行経費事業 822千円

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発刊するとともに、広く「文芸」に触れ合う場として公民館ロビーや自治会公民館、医院などに文芸誌を配置した。

特に、2年度は第60号を合併15周年記念号として、「現在の砂丘社について」と「牧田邦俊元編集長を偲んで」の特集を載せ発行した。

〔発刊実績〕 (R2)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	4回	300部

※60号は350部発行

【成果】 自治公民館、銀行等町内各所に「北栄文芸」を配置することにより、町民が文芸に親しみやすい環境を設けることが出来た。また、町民の創作意欲の向上と文化・芸術的な生涯学習活動につながった。

⑤展示・鑑賞・発表経費事業 1,731千円

〔第16回北栄町美術展〕

北栄町の文化・芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化・芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：令和2年11月3日(火・祝)～15日(日)】

出展状況

項目	H30	R1	R2
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	7	8	8
洋画	20	19	19
デザイン	5	7	3
書道	33	34	33
彫刻	2	2	2
版画	4	8	8
写真	20	21	18
工芸	27	25	19
ちぎり絵	13	10	9
切り絵	4	3	3
俳画	5	3	3
絵手紙	11	10	11
和紙あかり	10	8	17
計	161	158	153



美術展表彰式



公民館まつり作品展

〔第15回公民館まつり〕

文化・芸術・芸能活動の発展と生涯学習の推進を図るため、公民館まつり実行委員会を組織し、日ごろの創作活動や文化・芸能活動を幅広く町民に発表した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オープニングセレモニーや体験コーナーなどは中止し、ふれあい芸能発表会でもカラオケ、合唱等声を出す演目の出演はお控えていただいた。

〔公民館まつり展示・発表状況〕

年度	H30	R1	R2
作品展	30部門314点	25部門304点	28部門302点
芸能発表会	52組260人	59組260人	15組69人



公民館まつり芸能発表会

〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や、町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

【成果】 ・美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日頃の取組みを発表する場となった。また、住民には、芸術・文化に触れ合う貴重な場となった。

・公民館まつりの作品展・芸能発表では、多くの活動団体・個人の発表、来場者の鑑賞ができ、また、町民が集い交流することで親睦を深め生涯学習意欲を高めることができた。

・ロビー展は、文化団体との連携により出展の充実を図り、多くの中央公民館来館者に成果を発表し、創作意欲の向上を図るとともに、多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することができた。



ロビー展

⑥成果還元活動費補助金事業 84千円

文化教室等が、作品展など町内各所で発表し、地域周辺住民に対しその成果を還元された活動を支援した。コロナ禍において、芸能・音楽などの教室は福祉施設への慰問が実施できず、発表の場が確保しづらい状況にあった。

年度	H30	R1	R2
団体数	21(団体)	19(団体)	18(団体)
延べ回数	39(回)	36(回)	28(回)

【成果】 身につけた技術などについて、地域への還元を促進することができ、地域文化の豊かさの醸成に資することが出来た。また、仲間と集い・学び・ふれあいながら親睦を深め、人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。

⑦町文化団体協議会補助金事業 268千円

町民の文化的な生活や学びの推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な推進・啓発に対し支援するとともに、中央公民館事業である美術展や公民館まつりの文化芸術作品の出品や、芸能活動発表等の事業運営で連携するための活動経費の一部を補助した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、文化団体合同発表会、湖南市との文化交流はともに行われなかった。

【成果】 地域の文化振興と町民の生涯学習の活性化を図ることができた。

⑧ふるさと北栄再発見事業 545千円

ふるさとへの誇りや愛着心を育み、北栄町の魅力を発見・発信することを目的に「北栄ふるさとかるた」を作成し、学校、図書館、いきいきサロン等に配付した。

【成果】 小・中・高校生、北栄川柳教室、北栄俳句会等、多くの町民、地域のみなさんと一緒に作成することができ、北栄町の歴史・文化・自然・観光などの魅力の発信に資するものを作り上げることができた。



お披露目式(北条小)

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	4 図書館費	46,675千円	45,711千円

①図書館管理事業 3,413千円

図書館利用者が「いつでも、誰でも」安全に快適に利用でき、居場所となる施設として、適正に維持管理した。

【成果】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、来館者が安心して利用できる環境を提供し、利用につなげることができた。(R2年4月18日から5月6日まで閉館)

②図書館運営事業 12,458千円

図書館資料の収集、整理、保存を行い、資料相談の充実に努めた。また、講座事業や催しを実施し、住民に親しまれ暮らしに役立つ図書館として、適正に運営した。

・図書購入費(書籍・視聴覚資料等) 5,225 千円

利用実績(北条分室・雑誌・AV資料全て含む)

年度	H30	R1	R2
利用登録者数(人)	13,317	13,183	13,422
実利用者数(人)	2,102	2,125	1,758
来館者数(人)	59,661	58,765	43,518
貸出冊数	85,194	84,225	78,342
蔵書冊数	133,709	136,866	139,519
資料購入数	3,872	3,927	4,200

主な事業・行事

(図書館本館)

項目	H30		R1		R2	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
あたまイキイキ音読教室	12回	97人	12回	155人	11回	103人
出前音読教室	17回	192人	16回	250人	7回	95人
図書館まつり	2日間	651人	2日間	747人	2日間	473人
「源氏物語を読む」講座	20回	488人	20回	482人	17回	306人
郷土史入門講座	4回	93人	2回	74人	2回	37人

『特集・展示コーナー』

<特集コーナー>

「感染症対策&免疫強化」「絵本で元気」「日本酒と世界のお酒」
「若者におすすめの本」「2020年を振り返る」「合併15周年特集」
「追悼特集…たばたせいいち、安野光雅」

<パネル展>

「原爆と人間パネル展」「感染症パネル展」「今こそ絵本を！」
「自殺対策強化月間展」「新春書家五人展」など



北条町合併15周年記念展示

(北条分室)

項目	H30		R1		R2	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
図書館まつり	2日間	166人	2日間	280人	2日間	116人

「絵本・紙芝居などの読みきかせ」

読み聞かせボランティア「つくしんぼ」により、北条地区のこども園・小学校・福祉施設などにおいて毎月1回ずつ実施した。

「特集コーナー」「パネル展」は、本館と同様のもの、分室独自のものを双方を実施した。

- 【成果】 ・資料を幅広く計画的に収集し、テーマを決めた特集やパネル展示など工夫しながら活用することで、町民の多様なニーズに応えることができた。
 ・各種講座・催し物で来館を促し、関連する図書資料の活用につなげることができた。



読みメンおはなし会(図書館まつり)



出前音読教室(北栄町シニアクラブ)

③「今こそ絵本を！」推進事業

714千円

- ・ブックスタート(生後7か月児対象)

乳児健診時に生後7か月の乳児と保護者に絵本等を手渡し、ブックスタートの趣旨説明や読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせを行った。

年度	H30	R1	R2
対象者(組)	104	100	94
配布数	100	97	94



バッグに本を入れてプレゼント



プレゼント本

- ・マタニティ・ファーストブック(母子手帳交付者)

教育総務課 子育て世代包括支援センターにおいて母子健康手帳の交付と同時に絵本引換券を発行し、出産までに希望の絵本1冊と「みんな、絵本から」(柳田邦男 著)に引き換える。引き換えの際に図書館司書が、おなかの赤ちゃんに絵本を読むことで母子ともに心が安定するなど効果があることを説明し、人生における絵本との出会いを提供した。

年度	H30	R1	R2
対象者(組)	100	93	101
配布数	58	59	44

- ・絵本のすすめ講座(一般編)

期日:10月11日(日)

場所:大栄農村環境改善センター

講師:柳田邦男 氏(ノンフィクション作家、絵本推進活動家)

参加人数:87人

- ・絵本のすすめ講座(親子編)

期日:11月8日(日) 図書館まつりで実施

場所:図書館

講師:山田節子 氏(鳥取県こども読書アドバイザー)

参加人数:14人



山田氏による講演の様子

・絵本のすすめ講座(中学生編)
 期日:12月3日(木)
 場所:北条農村環境改善センター
 講師:くすのきしげのり氏(児童文学作家)
 参加人数:109人

【成果】 ・図書館児童コーナーをはじめ、大栄庁舎内(町長室、出納室前)の「おすすめ絵本コーナー」のほか、町内福祉施設に絵本架を設置し、町民が絵本に触れる機会を広げることができた。
 ・生まれる前、生まれてからの親子で絵本を通じてコミュニケーションを図るきっかけとして実施しているブックスタート及びマタニティ・ファーストブックの取り組みをはじめとし、各年代を対象とした講演会を実施し、子どもから大人まで絵本を親しむ環境を提供し、「絵本で子どもが豊かに育つ町 北栄町」を推進することができた。



町長室の絵本架

④図書館関係負担金事業 5千円
 鳥取県図書館協会負担金

【成果】 他の市町村図書館との連携、情報交換のできる場が提供された。また、全国図書館大会や部門別研究集会への参加など、様々な支援・情報が得られ、業務遂行の上で参考になった。

款 9 教育費	項 4 社会教育費	予算現額	決算額
	目 5 文化費	1,154千円	1,147千円

①青少年劇場巡回公演委託事業 1,077千円

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、生の優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。

学校名	事業名	演目
北条小	青少年劇場巡回公演(児童劇)	100万回生きたねこ
大栄小	青少年劇場巡回公演(児童劇)	いえでででんしゃ
大栄中	芸術鑑賞教室	おぺらってなあに

※北条中学校は、この事業を利用せず太鼓鑑賞を実施

【成果】 本物の芸術に触れる機会を提供したことにより芸術への関心を高めることができた。

②北栄文化回廊事業 70千円

北条農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、中央公民館に文化イベントを集結し、様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを出現させるとともに、「北条ふるさとまつり」と連携し、「文化の薫るまち」のイメージの浸透を図った。
 また、図書館、青山剛昌ふるさと館とも連動し、期間中、町全体で集中的に「北栄文化」の発信を行った。

メイン期間 令和2年11月3日～11月15日



児童生徒絵画コンクール



フラワーアレンジメント教室

イベント名称等	場 所	人 数	
北栄町美術展 (11/3～15)	北条農村環境改善センター	753 人	※期間中来館者数
特別企画展 「砂丘社100周年」 (10/10～11/23)	北栄みらい伝承館	171 人	
芸能公開収録 (北条砂丘太鼓、書道パフォーマンス)	北条健康福祉センター	30 人	
フラワーアレンジメント教室	北栄町中央公民館	12 人	※オープンスペース展示
七宝焼教室	北栄町中央公民館	6 人	
児童生徒絵画コンクール	北栄町中央公民館外	- 人	
図書館まつり【図書館本館】(11/9～10)	北栄町図書館(本館)	473 人	
図書館まつり【北条分室】(11/9～10)	北栄町図書館(北条分室)	116 人	
齋尾家限定公開(11/11)	齋尾家	11 人	
生涯学習課関係 計		1,572 人	

イベント名称等	場所	人数	
青山剛昌名探偵コナン 特別原画展など	青山剛昌ふるさと館	4,753 人	※期間中来館者数
全体計		6,325 人	



北条砂丘太鼓・書道パフォーマンス(芸能公開収録)

【成果】・複数の展示・イベントを集中的に行うことで多くの方に「文化の薫るまち」を実感いただく機会を提供するため、コロナ対策を講じることができるもののみを実施した。その中でも、芸能公開収録は、「北条砂丘太鼓」「書道パフォーマンス」をウェブ上で公開することができた。
・児童生徒絵画コンクールに応募された絵画を展示し、小中学生の絵画を見ていただく機会を提供した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	6 文化財保護対策費	2,272千円	1,522千円

①文化財保護対策事業 1,483千円

本町の文化財保護行政を円滑に推進するため、文化財に対する啓発や調査研究を行うとともに町内に存在する指定文化財等の維持、管理及び埋蔵文化財試掘調査を行い、文化財保護と開発事業との調整を図った。また、国登録有形文化財の齋尾家住宅の限定公開を実施することにより、貴重な文化財を身近に感じられる機会を提供する。

また、北栄町文化財保存活用地域計画を作成し、2021年7月認定に向け、文化庁に提出。

- ・文化財保護委員会の開催 3回
- ・齋尾家住宅限定公開 2回
- ・指定文化財等の保護、管理報償
国指定2件 国登録8件 県指定12件 町指定21件
- ・歴史探訪ウォークの開催
- ・国特別天然記念物「オオサンショウウオ」の保護
- ・各種開発事業との調整



齋尾家住宅限定公開

【成果】 町内の各種文化財に関して、その保管・活用方針への助言等を基に内容を精査した。町内には多くの文化財が存在し、それぞれについて情報収集を行い、また関係各所への情報提供などを行なった。国登録有形文化財である齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を見学することにより、町の文化財に対する関心が深まった。また、歴史探訪ウォークでは、鳥取県立博物館と連携し、学芸員によりわかりやすく文化財の解説をしてもらい、健康づくりにあわせ、文化財を身近に感じてもらうことができた。

必要に応じ、文化財やそれに付随する施設等の補修・維持管理を行い、文化財保護に対する意識の啓発に努めた。

また、文化庁・県文化財課の指導・助言を得て、文化財保護委員会での審議、パブリックコメント等の実施で意見収集を行い、北栄町文化財保存活用地域計画(素案)を作成することができた。

②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業 39千円

北栄町の誇れる近代化遺産である由良台場、六尾反射炉を発信するため、関係自治体と連携し、活用に向け情報を収集した。

【成果】 ・佐賀市、伊豆の国市との連携による調査実施につなげることができた。
・六尾反射炉跡の試掘調査を実施し、水路跡、造成跡、鍛冶炉跡、耐火レンガ、近世瓦等を検出し、遺構の残りがよいことを確認した。
・上記内容を活かし、3/21に湯梨浜町・琴浦町との連携事業として、ミニシンポジウムを開催し、町内外に幅広く発信し、文化財の保護と活用を促進しつつ、住民への浸透を図ることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	7 歴史民俗資料館費	6,801千円	6,347千円

①歴史民俗資料館管理事業 4,002千円

歴史民俗資料館を円滑に運営するため適切な管理を行うとともに、地域に埋もれた貴重な資料の収集保存に努め、保管資料の整理と展示活動等を通じて文化財の活用を図った。

【成果】 博物館資料アドバイザーの助言を得て資料の再整理・再保存を実施し、資料を活用した展示を行うことができた。

②歴史民俗資料館展示事業(下表参照) 2,344千円

・歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回

【入館実績】

期間	開館日数	事業内容	入館者数	町内	町外
4/11~5/24	21	前田明範遺作展	296人	157人	139人
5/30~7/26	50	町内で発掘された出土遺物	311人	182人	129人
8/8~9/27	44	生田和孝の手仕事	662人	147人	515人
10/10~11/23	38	特別企画展 砂丘社100周年	600人	211人	389人
12/5~1/30	40	明治・大正・昭和の生活道具	254人	166人	88人
2/13~3/21	37	北栄町の自然	350人	235人	115人
		企画展小計	2,473人	1,098人	1,375人
4/1~3/31		生田和孝・加藤廉兵衛常設展のみ	123人	79人	44人

総入館者数 2,596人

年度	H30	R1	R2
入館者数(人)	3,356	2,153	2,596

【成果】 各種展示を通じて町内の文化等について触れたり、考えたり、楽しむ機会を提供できた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額														
		目	8 民芸実習館費	857千円	811千円														
		①民芸実習館費事業 811千円																	
		<p>多くの町民が陶芸や油絵などの文化的創作活動が安心・安全、かつ、充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。</p> <p>〔利用実績〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数</td> <td>190日</td> <td>161日</td> <td>161日</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>1,184人</td> <td>1,243人</td> <td>1,354人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	H30	R1	R2	開館日数	190日	161日	161日	利用者数	1,184人	1,243人	1,354人	 <p>陶芸教室</p>	
年度	H30	R1	R2																
開館日数	190日	161日	161日																
利用者数	1,184人	1,243人	1,354人																
		【成果】 陶芸教室や木工教室、水墨画教室、木版画教室を実施し、施設の利用促進を図った。																	
款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額														
		目	9 町内遺跡発掘調査費	2,002千円	1,907千円														
		①町内遺跡発掘調査事業 1,907千円																	
		<p>開発行為に伴い、踏査・試掘・ボーリング調査を実施。(国庫補助事業)</p> <p>・場所 北栄町江北、六尾、由良宿</p> <p>・状況 江北…国道179号整備に先立ち、試掘調査を実施。遺構・遺物は検出されなかった。六尾…内容確認のため、六尾反射炉跡の試掘調査を実施。水車を設置していたと考えられる大規模な水路跡や耐火レンガ、鍛冶炉跡などが見つかった。反射炉建設以前と考えられる遺構を検出。由良宿…大栄ICアクセス道整備に先立ち、ボーリング調査を実施。クロスナ層を確認。</p>																	
		【成果】 国道179号関係の試掘調査では、近代の遺構・遺物が検出されたが、本調査は不要と考える。六尾反射炉跡は、遺構の残りがよいことが確認され、史跡整備に向けて今後も計画的に調査を行う予定。大栄ICアクセス道関係のボーリング調査では、クロスナ層が確認されたため、試掘調査を予定。																	
款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額														
		目	1 保健体育総務費	31,639千円	31,022千円														
		①保健体育総務事業 30,283千円																	
		<p>・北栄町スポーツ推進委員(25人)</p> <p>地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。</p> <p>≪主な活動内容≫</p> <p>協議会開催 4回(うち1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催)</p> <p>訪問型ニュースポーツ体験事業 1回</p> <p>(地域の団体等に対するニュースポーツの指導)</p> <p>北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会の運営協力(大会中止)</p> <p>体力測定・ミニ体力測定の実施 10月13日 他</p> <p>北栄町駅伝競走大会の運営協力 11月15日</p> <p>元旦マラソン&ウォーキング大会 1月1日(大雪のため中止)</p> <p>東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会 他</p>																	
		<p>・北栄町スポーツ表彰</p> <p>本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を取めた選手及び団体を表彰した。(2月28日開催)</p> <p>体育功労賞1人、優秀指導者賞1人、スポーツ最優秀賞4人、スポーツ優秀賞20人、スポーツ敢闘賞67人、スポーツ奨励賞51人</p>																	

社会体育施設工事
 B&G海洋センターLED化工事
 北条運動場バックネット更新工事 他

【成果】 生涯スポーツの普及と社会体育振興の取組みにより、町民の体力向上と健康増進につながった。
 社会体育施設の修繕等工事を行うことにより、町民に安心して使っていただける施設とすることができた。

②保健体育総務関係負担金事業 739千円

県体育協会負担金、郡体育協会分担金、県スポーツ推進委員協議会負担金、郡スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか

【成果】 関係機関との連携を図り、関係機関が実施する各種事業により、社会体育振興につながった。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	2 保健体育振興費	37,378千円	33,102千円

①保健体育振興事業 121千円

北栄町スポーツ県外派遣費補助金
 県、または県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。補助決定件数 5件

【成果】 中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上につながった。

②北栄スポーツクラブ事業 32,354千円

一般財団法人北栄スポーツクラブに指定管理者として町内社会体育施設の管理を委託するとともに、主な社会体育事業の実施を補助事業として行っていたが、総合型地域スポーツクラブの振興を図っている。

補助事業

各種スポーツ大会、スポーツ少年団、スポーツグランプリ表彰ほか

指定管理施設

北条体育館 大栄体育館 大誠体育館 勤労者体育センター 北条ふれあい会館
 大栄ふれあい会館 北条野球場 大栄野球場 北条運動場 大栄運動場
 北条多目的広場 B&G海洋センター

年度	H30	R1	R2
全施設延べ利用人数	197,725人	205,351人	162,615人
スポーツクラブ会員数	1,271人	1,238人	1,235人

【成果】 総合型地域スポーツクラブである北栄スポーツクラブの会員は1,200人を超えているが、近年は横ばいとなっている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等の中止や施設利用者の減少となる結果となったが、感染症対策を徹底した上、可能な範囲で実施し、町民の健康増進に貢献した。

北栄スポーツクラブを核として、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進につながった。

③ウォーキングのまち北栄町推進事業 98千円

年齢、体力にかかわらず気軽に取り組むことのできるウォーキングを実施した。
 北栄てくてくウォーキング 3回 参加者延べ130人

【成果】 日常生活の中で気軽に取組めるウォーキングを行うことで運動習慣の定着につながった。

④訪問型ニュースポーツ体験事業 29千円

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、参加者の希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながら、ニュースポーツを体験し、運動に親しみきっかけとした。

年度	H30	R1	R2
回数	20回	9回	1回
訪問した委員	延べ51人	延べ28人	4人

【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響により申込みが1件にとどまったが、スポーツ推進委員指導によるニュースポーツを体験していただき、生涯スポーツ人口増の取組みを低年齢層から広げることができた。

⑤オリンピック事業 500千円

新型コロナウイルス感染症の影響により東京2020オリンピック・パラリンピックが1年延期となり、聖火リレーについても延期となった。次年度開催に向け、鳥取県実行委員会に負担金を支払った。

【成果】 次年度、スムーズな業務運営のため、業務を進めた。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 すいか・ながいも健康マラソン大会費	4,488千円	4,135千円

①すいか・ながいも健康マラソン大会事業 4,135千円

第33回大会

参加申込者数 2,887人

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため大会中止

年度	H30	R1	R2
参加申込者	4,920人	4,990人	2,887人

【成果】 大会中止に伴う迅速な対応と次回大会への準備を行った。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	1 人権推進費	2,766千円	1,899千円

①人権対策関係負担金事業 264千円

県人権文化センター負担金
東伯郡同和対策協議会負担金
部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金
とっとり被害者支援センター負担金

【成果】 関係団体の活動を通じて、人権対策事業の進展に資した。

②人権啓発活動事業 1,236千円

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切に思いやりや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。
また、北栄町人権教育・啓発推進協議会に人権啓発事業の一部を委託し、じんけんフェスティバルや各種大会等へ参加した。

〔人権の花運動〕

期 日 10月6日、10月15日
場 所 北条小学校、大栄小学校
内 容 花の苗各330株の栽培
参加人数 児童35名、人権擁護委員6名



人権の花贈呈式(北条小)

【成果】 命や人を大切にする心を育てることに寄与した。

〔北栄町じんけんフェスティバル2020〕

期 日 12月5日(土)
場 所 大栄農村環境改善センター
内 容 演題:「ハンセン病の歴史に学ぶコロナ差別と地域社会」
講師:藪本 雅子氏(フリーアナウンサー)
参加人数 150人

【成果】 ハンセン病の歴史とともに、現代のコロナ差別との共通点や、地域でいきいきと生活するため私たちが日頃から大切にすべきことなどを学んだ。

〔今年度の主な大会派遣〕

大会名	開催場所	参加者数
2020年度部落解放・人権政策確立要求中央集会	東京都	中止
第45回部落解放・人権西日本夏期講座	オンライン	11人
第35回人権啓発研究集会	オンライン	22人
第45回人権尊重社会実現鳥取県研究集会	倉吉市	6人
部落解放第52回全国高校生集会	徳島市	中止
部落解放研究第54回全国集会	北九州市	中止
第43回全国人権保育研究集会	奈良市	中止
第72回全国人権・同和教育研究大会	新潟県	中止

※機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。(8月、12月、2月発行)

【成果】 町内団体等で構成される北栄町人権教育・啓発推進協議会に事業委託し、各種大会やコロナ差別に対する自治会・事業所宣言を促進するなど、人権啓発事業を広範に推進した。

③人権擁護委員事業 264千円

地域において人権思想を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、倉吉人権擁護委員協議会に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員 6人

(主な活動内容)

- ・特設人権相談(町内月1回)
- ・特設人権相談(じんけんフェスティバル)
- ・事業所訪問(24事業所)

倉吉人権擁護委員協議会負担金



事業所訪問(人権週間)

【成果】 地域住民に対し人権思想の普及と人権相談による人権擁護に資することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	2 隣保館運営費	10,619千円	10,206千円

①隣保館管理運営事業 9,989千円

町全体を対象に人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、人権課題解決のための各種事業や相談事業などを行い、さらに福祉の向上につながる取組みを実施した。

事業名		H30	R1	R2
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権保育・教育担当者会	3回	3回	3回
	分かりやすいじんけんの話	6回	6回	6回
	同和問題現地研修	2回	1回	3回
	習字教室	24回	23回	23回
	押し花教室	4回	4回	-
	絵本の読み聞かせ	12回	11回	12回
	おしゃべりサロン	12回	10回	12回
	ほくほくパソコンネット講座	26回	8回	8回
相談件数	66件	116件	78件	
施設利用者数	2,600人	3,134人	3,829人	

【成果】 人権啓発講演会「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。また、「ほくほくプラザだより(館報)」、SNS等による情報発信により、施設利用者の増加につながった。



分かりやすいじんけんの話

②隣保館関係負担金事業 70千円

鳥取県隣保館連絡協議会負担金

中部地区隣保館集会所連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動及び連携を通じて事業運営の充実と人権啓発の進展を図ることができた。

③隣保館運営審議会(児童館運営委員会も兼ねる)事業 33千円

隣保館運営審議会兼児童館運営委員会 2回

【成果】 「ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)」の事業実施状況や事業計画などを説明し、意見を伺うことによって事業実施の参考とすることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	3 児童館運営費	299千円	200千円

①児童館管理運営事業 184千円

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域組織活動の支援を行った。

主な事業等	H30	R1	R2
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室(自然体験含)	3回	7回	12回
料理教室	1回	3回	-
創作教室	3回	1回	2回
科学実験	1回	1回	-
工作・木工教室	1回	1回	1回
お魚教室	1回	1回	1回
ほくほく食堂	3回	3回	3回
職場訪問	2回	4回	2回
長期連携行事(もち米作り)	3回	2回	1回
異文化を学ぶ(ハロウィン)	1回	1回	1回
解放子ども会の集い	1回	1回	1回
施設利用者数	10,446人	9,668人	9,812人

【成果】 地域との連携を深めながら遊びと体験を通じて、児童の健全育成・資質向上に貢献した。



ほくほく食堂

②児童館関係負担金事業 16千円

全国児童館連合会負担金
鳥取県子ども会育成連絡協議会

【成果】 関係団体の活動と連携を通じて、児童館活動の質的向上を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	4 人権教育費	27,563千円	26,965千円

①人権を学ぶ会事業 531千円

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民と一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。

・人権を学ぶ会

項 目		H30	R1	R2
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	63回	63回	44回
	延参加者	1,032人	1,112人	597人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	12回	10回	3回
	延参加者	224人	176人	74人

・各種会議並びに研修会

項 目		H30	R1	R2
人権教育推進協力員会議	実施回数	4回	4回	4回
	延参加者	60人	60人	71人
人権教育地区推進員会議	実施回数	3回	3回	3回
	延参加者	235人	231人	222人

【成果】 身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができた。

②人権学習会事業 395千円

小・中学生を対象に人権学習を開催し、仲間づくりや人権に関する知識や認識を広げた。

項目		H30	R1	R2
人権学習会 (小学生)	実施回数	21回	43回	43回
	延参加者	266人	382人	435人
人権学習会 (中学生)	実施回数	26回	25回	44回
	延参加者	111人	117人	156人



人権学習会(ほくほく合宿)

【成果】 お互いを大切にする気持ちや、真実を自分で調べることにより、自分の考えを持ち、差別や偏見をなくしていこうとする意識や態度を育むことができた。

③人権教育推進員設置事業 2,481千円

人権教育推進員(1人)を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を努めた。

項目		H30	R1	R2
人権教育事業所研修 (人権教育推進員)	実施回数	8回	9回	4回
	延参加者	281人	265人	53人
人権教育事業所研修 (事業所自主研修)	実施回数	9回	7回	6回
	延参加者	352人	260人	202人
人権教育職員研修 (北栄町役場)	実施回数	6回	9回	6回
	延参加者	393人	448人	326人

【成果】 各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

④鳥取県人権教育推進協議会負担金事業 27千円

鳥取県人権教育推進協議会に対し、市町村負担金を交付し活動を支援した。

【成果】 鳥取県人権教育推進協議会等が主催する「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の運営が円滑に行われ、この集会に参加することにより町民はもとより、県民全体の人権意識高揚につなげることができた。

会 計 名	予算現額	決算額
国民健康保険事業特別会計	2,050,211千円	1,854,318千円

令和2年度は、歳入総額1,940,561千円、支出総額1,854,318千円で収支は86,243千円の黒字となった。

1 国民健康保険税の収納状況

(単位:千円・%)

区 分	H30年度		R1年度			R2年度			
	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
現年分	一般被保険者分	449,872	98.7	432,524	426,167	98.5	416,611	412,311	99.0
	退職被保険者等分	3,388	100.0	250	250	100.0	90	90	100.0
	計	453,260	98.7	432,774	426,417	98.5	416,701	412,401	99.0
滞納繰越分	一般被保険者分	5,898	58.9	9,749	6,622	67.9	9,170	5,431	59.2
	退職被保険者等分	26	31.7	56	0	0.0	0	0	0.0
	計	5,924	58.6	9,805	6,622	67.5	9,170	5,431	59.2
合 計	459,184	97.8	442,579	433,039	97.8	425,871	417,832	98.1	

2 療養諸費に係る保険者負担分の給付状況

(単位:件・千円)

区 分	H30年度		R1年度		R2年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
療養給付	一般	64,574	1,092,637	63,424	1,142,161	58,339	1,089,945
	退職者	796	10,939	137	8,894	0	0
療養費	一般	437	5,666	322	2,882	118	2,199
	退職者	3	21	4	7	0	0
審査支払手数料	—	6,270	—	6,316	—	3,703	
高額療養費	一般	2,361	154,825	2,641	187,878	2,323	173,512
	退職者	23	1,821	11	3,173	0	0
高額介護合算療養費	3	16	0	0	0	0	

【成果】 被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付(保険者負担分7割～9割及び高額療養費等)を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

3 出産育児一時金、葬祭費等事業の状況

(単位:件・千円)

区 分	H30年度		R1年度		R2年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
移送費	0	0	0	0	0	0
出産育児一時金	11	4,737	13	5,412	5	3,764
葬祭費	25	375	31	465	30	450

【成果】 出産育児・葬祭等に要する経費について給付を行い、経済的な負担を軽減した。

4 特定健康診査受診状況

	H30	R1	R2
特定健診受診率	44.1%	42.9%	35.8%

（※R2は速報値）

【成果】 特定健診受診率は、国が示す目標値60%と比較すると依然として低い状態であり、受診率向上対策が課題となっている。

5 国民健康保険の加入状況(年間平均) 年報数値(各年月報4月～3月報告)

区 分		H30年度	R1年度	R2年度
世帯数		2,342世帯	2,269世帯	2,221世帯
被保険者数	一般被保険者	4,115人	4,000人	3,857人
	退職被保険者数	42人	7人	0人
	計	4,157人	4,007人	3,857人
介護保険第2号被保険者数		1,322人	1,234人	1,104人

H30年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		79人	396人	2人	13人	0人	10人	500人
減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計	
	88人	344人	6人	26人	164人	15人	643人	

R元年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		73人	392人	3人	19人	0人	10人	497人
減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計	
	69人	338人	9人	31人	154人	15人	616人	

R2年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		52人	372人	5人	14人	0人	12人	455人
減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計	
	59人	282人	3人	30人	126人	21人	521人	

6 療養の給付等の内訳 年報数値(各年月報6月～5月報告:現物給付3月診療～2月診療)

区 分		H30年度		R1年度		R2年度	
		費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入 院	一般	616,953	149,928	660,461	165,115	643,017	166,714
	退職者	5,608	133,535	11,139	1,591,319	0	0
入院外	一般	488,402	118,688	485,223	121,306	467,896	121,311
	退職者	5,099	121,412	482	68,866	0	0
歯 科	一般	84,956	20,645	87,252	21,813	80,718	20,927
	退職者	1,105	26,300	122	17,399	0	0
調 剤	一般	263,471	64,027	282,767	70,692	262,443	68,043
	退職者	3,384	80,570	707	100,989	0	0
食事療養	一般	29,113	7,075	29,265	7,316	23,791	6,168
	退職者	433	10,321	253	36,104	0	0
訪問看護	一般	12,337	2,998	9,195	2,299	4,267	1,106
	退職者	0	0	0	0	0	0
合 計		1,510,861	363,450	1,566,866	391,032	1,482,126	384,269

【成果】 療養の給付等は1人あたりで見ると増加傾向にあり、生活習慣病予防等の取り組みにより療養の給付の抑制を図っていく必要がある。

会計名	予算現額	決算額
介護保険事業特別会計	1,672,194千円	1,621,881千円

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった方に対して居宅サービスや施設サービスを提供し、それに係る費用は、被保険者(40歳以上)が納める保険料と国・県・町からの負担金・補助金・繰入金等により運営している。

介護予防の更なる推進のため、「こけないからだ講座」の拡充及び「地域ケア会議」を実践し、ケアプランのチェックを徹底し、自立支援のための適正なサービス提供となるよう努めた。

【地域ケア会議の状況】



月2回、地域包括支援センター職員を中心に、介護保険室、理学療法士、歯科衛生士、栄養士などの専門職を交え、担当ケアマネ、サービス事業所職員と要支援者等のサービス提供について協議を行った。

	H30	R1	R2
対象件数	71件	61件	39件

【成果】

利用者一人ひとりの生活機能向上に着目して、生活の質の向上に向けた支援体制の構築につながっている。

決算は、歳入総額16億6,609万円、歳出総額16億2,188万1千円、実質収支額は4,420万9千円であった。

1 認定者・要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(1) 認定者の状況

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
R2年3月末	49	99	128	155	112	126	76	745
R3年3月末	51	101	134	169	110	124	71	760
※死亡者	7	4	6	20	23	27	44	131

※令和2年度中に死亡した認定者数

(2) 要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(単位:人)

申請区分	申請件数	審査結果									申請取下	合計
		支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	非該当			
①新規申請	176	31	28	34	30	14	11	13	5	9	175	
更新	支援1	15	8	7	0	0	0	0	0	0	0	15
	支援2	26	3	15	5	2	1	0	0	0	0	26
	介護1	33	0	0	16	14	1	1	1	0	0	33
	介護2	27	0	3	2	17	2	1	2	0	0	27
	介護3	24	0	0	1	6	6	8	2	1	0	24
	介護4	26	0	1	1	4	2	11	6	0	1	26
	介護5	12	0	0	0	0	1	3	8	0	0	12
②小計	163	11	26	25	43	13	24	19	1	1	163	
変更	支援1・2の者	37	1	4	5	12	6	5	2	0	2	37
	介護1~5の者	56	0	0	4	3	14	12	20	0	3	56
	③小計	93	1	4	9	15	20	17	22	0	5	93
合計(①+②+③)	432	43	58	68	88	47	52	54	6	15	431	

2 地域支援事業 53,825 千円

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業 45,897 千円

(ア) 介護予防・生活支援サービス事業 36,998 千円

●訪問型サービス

(単位:人、回)

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防訪問介護相当サービス	209		

●通所型サービス

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防通所介護相当サービス	835		
筋力アップ教室	348	48	通所型サービスA
リフレッシュ教室	254	48	通所型サービスA
はつらつ!お達者教室	390	48	通所型サービスA
食べて!うたって!笑わ一会!	315	48	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	361	48	通所型サービスC

●介護予防ケアマネジメント

事業名	延人数	備考
筋力アップ教室	15	通所型サービスA
リフレッシュ教室	10	通所型サービスA
はつらつ!お達者教室	12	通所型サービスA
食べて!うたって!笑わ一会!	10	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	20	通所型サービスC

介護予防サービス計画書作成		H30	R1	R2
事業所委託	件数	1,116 件	1,134 件	1,191 件
	委託料	4,661 千円	4,778 千円	5,313 千円
包括直営	件数	667 件	735 件	609 件

(イ) 一般介護予防事業 8,899 千円

●介護予防普及啓発事業

(単位:人、回)

事業名	延人数	開催回数	備考
シニアファイト教室	356	48	
転倒予防教室	323	24	
生きがいデイサービス	902	106	
脳活クラブ	408	48	
認知症サポーター養成講座	264	9	
高齢者サークル事業	7,306	1,101	サークル数 21団体
介護予防講座	121	8	

●地域介護予防活動支援事業

こけないからだ講座	125	11	新規:由良宿3区
こけないからだ講座(フォロー)	111	10	

●地域リハビリテーション活動支援事業

お口の機能向上事業	37	3	
リハビリテーション専門職派遣事業	51	13	北栄さわやか体操含む

【こけいからだ講座の状況】



講座終了後、住民主体で地域の公民館などで週1～月1回程度集まり、体操を継続することで、筋力の維持・向上、閉じこもり予防、交流の場となっている。

	H30	R1	R2
実施自治会(内新規)	27(2)	27(1)	28(1)
その他(介護事業所等)	3	3	3

(2) 包括的支援事業・任意事業 7,652 千円

(ア) 在宅医療・介護連携推進事業 13 千円

中部圏域1市4町、医師会、福祉保健局協働にて、研修会の開催や「わたしの未来ノート～大切な人に伝えたいこと～」の発行等、医療・介護関係機関の連携の推進を図った。

	参加者	備考
新型コロナウイルス入院患者の家族支援研修会	50	中部圏域の介護保険・障がい福祉サービス事業所対象の体操アンケート調査の結果をもとに実施

	H30	R1	R2	備考
退院調整率	91.6%	89.0%	未実施	コロナの影響により未実施
連携シート提出率	81.1%	77.6%	未実施	コロナの影響により未実施

(イ) 生活支援体制整備事業 6,676 千円

第1層(町全域)協議体「ほくえい支え愛協議体」、および第2層(小学校区単位)協議体「よっしゃやらあ会」を開催し、生活支援や助け合い活動の推進について協議した。

	延人数	開催回数	備考
生活支援サポータ養成講座	12	1	
第1層協議体		1	
第2層協議体	133	18	

(ウ) 認知症総合支援事業 348 千円

認知症の人とその家族、地域の人、専門職など、どんな人でも気軽に集える場としてNP〇法人まちづくりネットと共催し「オレンジカフェ」を開催し、相談等に対応した。

開催回数	実人数	延件数	備考
20回	35	211	4月はコロナの影響により中止

(エ) 権利擁護事業 8 千円

会議名	回数	協議事案件数	備考
高齢者等虐待防止連絡協議会	2	1	

● 高齢者虐待対応の状況(実数) (単位:人)

	通報相談件数	虐待判断件数	備考
養護者による虐待	7	1	
施設従事者による虐待	1	1	

(オ) 任意事業 607 千円 (単位:人、回)

主な事業名	延人数	開催回数	備考
在宅介護者慰労事業	46	2	
家族介護用品支給事業	133		枚数/実人数15人
認知症の人と家族のつどい	22	8	3月は中止/5・9・12月は参加者なし

・認知症高齢者等が行方不明になった時、地域ぐるみで早期発見につなげられるよう、安心安全なまちづくりの推進を行った。

	H30	R1	R2
協力機関登録数	41	40	38
事前登録者	9	14	15
GPS貸与者	2	2	2

3 介護保険給付費

区 分	種 別	延件数(件)	給付額(円)
居宅(介護予防)サービス	訪問介護	583	54,219,585
	訪問入浴介護	32	1,749,258
	訪問看護	549	19,474,487
	訪問リハビリテーション	55	1,431,153
	居宅療養管理指導	115	557,508
	通所介護	2,213	238,639,455
	通所リハビリテーション	1,770	127,930,957
	短期入所生活介護	190	28,978,404
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	272	20,907,308
	福祉用具貸与	3,251	40,073,989
	福祉用具購入費	56	1,405,900
	住宅改修費	68	4,841,601
	特定施設入居者生活介護	36	7,613,127
	居宅介護支援計画	4,816	59,239,112
	計		607,061,844
地域密着型(介護予防)サービス	地域密着型通所介護	12	1,468,899
	認知症対応型通所介護	18	2,948,265
	小規模多機能型居宅介護	440	66,822,849
	認知症対応型共同生活介護	855	212,564,201
	計		283,804,214
施設介護サービス	介護老人福祉施設	680	177,740,431
	介護老人保健施設	1,309	381,134,812
	計		558,875,243
小 計		1,449,741,301	

特定入所者(介護予防)サービス等	特定入所者介護サービス費	食費 1,247	28,545,420
		居住費 1,229	11,714,269
	計		40,259,689

高額介護サービス等	高額介護サービス費	2,603	28,967,374
	高額医療合算サービス費	140	4,106,805
	計		33,074,179

諸 費	審査支払手数料	17,160	1,630,200
-----	---------	--------	-----------

介護給付費合計額		1,524,705,369
----------	--	---------------

【成果】 事業計画内での給付費の決算となり、平成22年度から実施している地域ケア会議等の取り組みの成果だと考えられる。

4 介護保険料の収納状況

(単位:千円)

区 分	H30		R1		R2		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分特別徴収	337,380	100.0	334,479	100.0	333,222	333,222	100.0
現年度分普通徴収	22,532	97.1	24,126	95.8	24,081	23,134	96.1
滞納繰越分	1,740	64.3	812	61.5	1,321	1,086	82.2
計	361,652	99.5	359,417	99.6	358,624	357,442	99.7

65歳人口・高齢化率等における年度末の状況

年 度	H30	R1	R2
65歳以上人口	5,045 人	5,098 人	5,176 人
高齢化率	33.7 %	34.5 %	35.4 %
介護認定者数	759 人	745 人	760 人
65歳以上	745 人	734 人	747 人
40～64歳	14 人	11 人	13 人
認定率	15.0 %	14.4 %	14.4 %
介護給付費	1,470,857千円	1,473,957千円	1,524,705千円

要介護認定者数における年度末の状況 (単位:人)

年 度	H30	R1	R2
要支援1	35	49	51
要支援2	105	99	101
要介護1	132	128	134
要介護2	157	155	169
要介護3	128	112	110
要介護4	125	126	124
要介護5	75	76	71
合 計	757	745	760

介護保険の資格取得者・喪失者の状況 (単位:人)

年 度	H30	R1	R2
取得者(65歳到達・転入)	287	283	273
喪失者(死亡・転出)	187	230	195
増 減	100	53	78

居宅サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H30	R1	R2
要支援1	21	23	26
要支援2	73	74	80
要介護1	80	83	88
要介護2	96	101	110
要介護3	62	67	54
要介護4	40	43	42
要介護5	15	15	14
合 計	387	406	414

地域密着型サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H30	R1	R2
要支援1	3	4	4
要支援2	5	2	4
要介護1	18	24	27
要介護2	29	35	35
要介護3	28	30	27
要介護4	17	8	14
要介護5	4	7	3
合 計	104	110	114

施設サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H30	R1	R2
介護老人福祉施設	65	63	51
介護老人保健施設	101	111	111
介護療養型医療施設	0	0	0
合 計	166	174	162

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

会 計 名	予算現額	決算額
住宅新築資金等貸付事業特別会計	45,274千円	45,270千円

住宅新築資金等貸付事業は、生活環境等の安定向上が阻害されている地域の環境の整備改善を図るため、住宅新築及び宅地取得に資金を貸付け、その債権回収業務を行っている。

なお、令和2年度で国への償還が終了することから本特別会計を廃止し、令和3年度以降は一般会計において債権回収業務を実施する。

令和2年度償還額(件数)は住宅新築(11件)1,383,851円、宅地取得(4件)450,000円。

令和2年度末現在の滞納状況は、滞納者8名(12件)、滞納額19,080,544円。

令和2年度の決算は、予算現額45,274千円に対し、歳入総額45,270千円、歳出総額45,270千円となり、収支差額なしとして、会計閉鎖。(歳入不足額は一般会計より補填)

1 住宅新築資金等貸付金償還状況 (単位:件、円)

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
H30	住宅新築	現年度分	4	1,505,660	761,709	0	743,951
		滞納分	16	26,169,119	1,312,577	0	24,856,542
		小計	20	27,674,779	2,074,286	0	25,600,493
	宅地取得	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	6	6,805,899	231,000	0	6,574,899
		小計	6	6,805,899	231,000	0	6,574,899
合 計		26	34,480,678	2,305,286	0	32,175,392	

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
R1	住宅新築	現年度分	3	957,113	304,501	0	652,612
		滞納分	15	25,600,493	2,404,698	0	23,195,795
		小計	18	26,557,606	2,709,199	0	23,848,407
	宅地取得	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	6	6,574,899	530,000	0	6,044,899
		小計	6	6,574,899	530,000	0	6,044,899
合 計		24	33,132,505	3,239,199	0	29,893,306	

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
R2	住宅新築	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	13	23,848,407	1,383,851	5,175,665	17,288,891
		小計	13	23,848,407	1,383,851	5,175,665	17,288,891
	宅地取得	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	6	6,044,899	450,000	3,803,246	1,791,653
		小計	6	6,044,899	450,000	3,803,246	1,791,653
合 計		19	29,893,306	1,833,851	8,978,911	19,080,544	

2 住宅新築資金等貸付事業に係る町債の償還状況

(単位:円)

年度	種別	元金	利子	計
H30	住宅新築	1,378,931	94,823	1,473,754
	宅地取得	0	0	0
	計	1,378,931	94,823	1,473,754

年度	種別	元金	利子	計
R2	住宅新築	319,662	8,174	327,836
	宅地取得	0	0	0
	計	319,662	8174	327,836

年度	種別	元金	利子	計
R1	住宅新築	1,056,399	42,393	1,098,792
	宅地取得	0	0	0
	計	1,056,399	42,393	1,098,792

・起債残高 0円(令和2年度が最終償還)

【成果】 北栄町住宅新築資金等貸付金債権管理マニュアルを策定し、滞納者に対する個別方針を定め分納誓約書を徴取するなど、2件の債権放棄も含めた滞納対策を強化・実施した。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額						
農業集落排水事業特別会計	17,778千円	17,288千円						
<p>北条島地区農業集落排水事業(平成9年5月供用開始)に係る維持管理費</p> <p>目 的 北条島における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した農業集落排水設備の適正管理。</p> <p>処理施設 クリーンセンター島</p> <p>事業期間 平成6年度 ～ 平成8年度</p> <p>令和2年度の決算は、予算現額17,778千円に対し、歳入総額 17,288千円、歳出総額 17,288千円で、実質収支額は0円であった。</p> <p>1 令和2年度末 接続戸数 76戸</p> <p>2 維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理施設維持管理委託料 1,009千円 ・汚泥採取処分手数料 69.82t 796千円 <p>3 起債償還状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度償還額 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>元金</td> <td>9,128千円</td> </tr> <tr> <td>利子</td> <td>1,583千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,711千円</td> </tr> </table> ・起債償還終了年度 令和8年度 <p>【成果】 大きな事故もなく、適切な維持管理に努めることができた。 令和2年度は、施設の長寿命化対策として国庫補助事業として機能診断調査を実施、最適整備構想(※)を策定しました。</p> <p>※40年間を見通しつつ、まずは当面の5年間を重点計画期間とする構想</p>			元金	9,128千円	利子	1,583千円	合計	10,711千円
元金	9,128千円							
利子	1,583千円							
合計	10,711千円							

会 計 名	予算現額	決算額
栄財産区特別会計	2,380千円	2,123千円

令和2年度の決算は、予算現額2,380千円に対し、歳入総額2,378千円、歳出総額2,123千円で、実質収支額は255千円であった。

管理会の開催、保有財産等は以下のとおり。

1 栄財産区管理会の開催状況

招集日	出席委員	内 容
8月20日	5名	令和元年度決算審議
10月26日	4名	令和2年度補正予算協議
12月28日	4名	令和2年度補正予算、令和3年度当初予算協議

2 事業等の状況

- ・栗林の管理 草刈1回(9/15)
- ・栗の販売 1本1,000円で販売。27名(27本)が購入

3 財政調整基金の状況

年度	H30	R1	R2
基金残高(千円)	62,833	63,183	65,083

4 財産等の状況

(1) 栄財産区所有地

地 目	面積(m ²)
山 林	375,529
畑 地	55,938
雑種地	1,377
原 野	623
計	433,467

(前年度末に変動なし)



(2) 保安林指定

森林の所在地	面積(m ²)
西高尾字谷奥1798	33,854
同 1788-1	72,560
同 1788-2	20,304
同 1801-1	29,694
東高尾字奥谷773-5	57,203
同 852-1	52,555
同 852-2	15,467
同 852-3	64,794
同 852-313	10,804
同 852-313	6,014
計	363,249

(前年度末に変動なし)

【成果】 区有地の適正管理を行うことができた。また、栗販売の促進を行い、多くの方に「財産区」を知っていただくとともに、自主財源の確保を行うことができた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額																													
合併処理浄化槽事業特別会計	7,587千円	7,277千円																													
<p>浄化槽市町村整備推進事業により、対象地域に設置した合併処理浄化槽の維持管理</p> <p>目 的 公共下水道処理区域外の地域における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した合併処理浄化槽の適正管理。</p> <p>全体計画 合併処理浄化槽 (5人槽～21人槽)</p> <p>事業期間 平成18年度 ～ 平成20年度</p> <p>対象地域 浄化槽による汚水処理が、経済的・効率的である地域 青木、岩坪、高千穂、及び由良宿3区・下種・松神・田井・北尾・江北浜 東新田場・米里の各一部</p> <p>令和元年度の決算は、予算現額 7,587千円に対し、歳入総額 7,277千円、歳出総額 7,277千円で、実質収支額は0円であった。</p> <p>1 整備状況</p> <table> <tr> <td>平成18年度</td> <td>24</td> <td>基</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>26</td> <td>基</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>2</td> <td>基</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>52</td> <td>基</td> <td>(接続済 51)…… 接続率 98%</td> </tr> </table> <p>2 維持管理経費</p> <table> <tr> <td>法定検査手数料(11条)</td> <td>280千円</td> </tr> <tr> <td>保守点検清掃委託料</td> <td>3,464千円</td> </tr> </table> <p>3 起債償還状況</p> <table> <tr> <td>令和2年度償還額</td> <td>元金</td> <td>1,851千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利子</td> <td>879千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>2,730千円</td> </tr> </table> <p>・起債償還終了年度 令和20年度</p> <p>【成果】 大きな事故もなく、適切な維持管理に努めることができた。</p>			平成18年度	24	基		平成19年度	26	基		平成20年度	2	基		合 計	52	基	(接続済 51)…… 接続率 98%	法定検査手数料(11条)	280千円	保守点検清掃委託料	3,464千円	令和2年度償還額	元金	1,851千円		利子	879千円		合計	2,730千円
平成18年度	24	基																													
平成19年度	26	基																													
平成20年度	2	基																													
合 計	52	基	(接続済 51)…… 接続率 98%																												
法定検査手数料(11条)	280千円																														
保守点検清掃委託料	3,464千円																														
令和2年度償還額	元金	1,851千円																													
	利子	879千円																													
	合計	2,730千円																													

会 計 名	予算現額	決算額																																																																												
大栄歴史文化学習館特別会計	75,928千円	68,595千円																																																																												
<p>「名探偵コナン」の原作者 青山剛昌氏の生まれ育った地である鳥取県北栄町において、漫画家青山剛昌氏にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここに訪れる人々に彼の作品を通し、青山剛昌氏の魅力や人となりを紹介している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月7日～6月18日の間臨時休館した。</p> <p>総入館者数 64,310 人 (うち有料入館者数 58,276 人) 入場料収入 33,379,700 円 有料入館者(数)の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>大人</th> <th>中高生</th> <th>小学生</th> <th>海外団体</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>109,257人</td> <td>9,946人</td> <td>22,822人</td> <td>6,989人</td> <td>149,014人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>143,044人</td> <td>15,921人</td> <td>35,165人</td> <td>9,199人</td> <td>203,329人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>44,692人</td> <td>4,135人</td> <td>9,430人</td> <td>19人</td> <td>58,276人</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td>31.2%</td> <td>26.0%</td> <td>26.8%</td> <td>0.2%</td> <td>28.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>誘客活動 県内の道の駅、ホテル・旅館及び土産物店等に割引券を設置し、鳥取県を訪れた観光客の誘客を進めた。併せて、Web割引券の発行及び旅行雑誌・CM等への割引券の掲載により誘客活動を進めた。(優待券利用者数14,996人) また、下記のイベント実施のほか、加西サービスエリア(下り)および宝塚北サービスエリアへの広告掲出、あべのアポロシネマおよびMOVIX亀有の2映画館でのCM放映、旅行雑誌等への広告掲載を行うことで、県内者だけでなく県外者への誘客活動も進めた。</p> <p>1 イベントの実施</p> <table> <tbody> <tr> <td>名探偵コナンバースデーメッセージ募集</td> <td>R2.3/16～4/13</td> </tr> <tr> <td>青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集</td> <td>4/6～5/8</td> </tr> <tr> <td>青山先生・怪盗キッドバースデーイベント(タペストリー設置)</td> <td>6/19～21</td> </tr> <tr> <td>暑中見舞いハガキ申込受付</td> <td>6/22～30</td> </tr> <tr> <td>七夕タペストリー設置</td> <td>6/22～7/7</td> </tr> <tr> <td>名探偵コナンイラストコンテスト</td> <td>7/1～9/4</td> </tr> <tr> <td>ARフォトコンテスト</td> <td>9/1～12/18</td> </tr> <tr> <td>名探偵コナン北栄町誰解き探索(リサーチ)</td> <td>10/3～25</td> </tr> <tr> <td>北栄町民入館無料デー</td> <td>10/19～11/30</td> </tr> <tr> <td>ハロウィンイベント</td> <td>10/31～11/1</td> </tr> <tr> <td>Twitter連動企画4万人達成缶バッジプレゼント</td> <td>11/1～30</td> </tr> <tr> <td>キャラクターイラスト年賀状募集</td> <td>11/2～1/4</td> </tr> <tr> <td>クリスマスイベント(缶バッジプレゼント・タペストリー設置)</td> <td>12/1～27</td> </tr> <tr> <td>年賀状ポスト設置</td> <td>12/1～31</td> </tr> <tr> <td>臨時休館、入館制限における誕生日入館無料デー&誕生日限定缶バッジプレゼント(R2.4/7～10/2誕生日対象)</td> <td>12/1～1/1</td> </tr> <tr> <td>お正月イベント(カレンダープレゼント)</td> <td>1/1～3</td> </tr> <tr> <td>SNS投稿キャンペーン(ポストカード&缶バッジプレゼント)</td> <td>2/12～4/30</td> </tr> <tr> <td>開館14周年記念夜間ライトアップ</td> <td>2/20～3/29</td> </tr> <tr> <td>ゆらまちウォークに参加して開館14周年記念限定待受画面をGETしよう</td> <td>3/1～R3.5/9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響・臨時休館により中止したイベント</p> <table> <tbody> <tr> <td>GWイベント</td> <td>4/25～5/6</td> </tr> <tr> <td>青山剛昌先生と話そうDAY2021</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>バレンタインデー・ホワイトデーイベント</td> <td>2/13～14、3/13～14</td> </tr> <tr> <td>ナイトミュージアム</td> <td>2/20、3/19～20</td> </tr> </tbody> </table>			種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計	H30	109,257人	9,946人	22,822人	6,989人	149,014人	R1	143,044人	15,921人	35,165人	9,199人	203,329人	R2	44,692人	4,135人	9,430人	19人	58,276人	前年比	31.2%	26.0%	26.8%	0.2%	28.7%	名探偵コナンバースデーメッセージ募集	R2.3/16～4/13	青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集	4/6～5/8	青山先生・怪盗キッドバースデーイベント(タペストリー設置)	6/19～21	暑中見舞いハガキ申込受付	6/22～30	七夕タペストリー設置	6/22～7/7	名探偵コナンイラストコンテスト	7/1～9/4	ARフォトコンテスト	9/1～12/18	名探偵コナン北栄町誰解き探索(リサーチ)	10/3～25	北栄町民入館無料デー	10/19～11/30	ハロウィンイベント	10/31～11/1	Twitter連動企画4万人達成缶バッジプレゼント	11/1～30	キャラクターイラスト年賀状募集	11/2～1/4	クリスマスイベント(缶バッジプレゼント・タペストリー設置)	12/1～27	年賀状ポスト設置	12/1～31	臨時休館、入館制限における誕生日入館無料デー&誕生日限定缶バッジプレゼント(R2.4/7～10/2誕生日対象)	12/1～1/1	お正月イベント(カレンダープレゼント)	1/1～3	SNS投稿キャンペーン(ポストカード&缶バッジプレゼント)	2/12～4/30	開館14周年記念夜間ライトアップ	2/20～3/29	ゆらまちウォークに参加して開館14周年記念限定待受画面をGETしよう	3/1～R3.5/9	GWイベント	4/25～5/6	青山剛昌先生と話そうDAY2021	1/3	バレンタインデー・ホワイトデーイベント	2/13～14、3/13～14	ナイトミュージアム	2/20、3/19～20
種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計																																																																									
H30	109,257人	9,946人	22,822人	6,989人	149,014人																																																																									
R1	143,044人	15,921人	35,165人	9,199人	203,329人																																																																									
R2	44,692人	4,135人	9,430人	19人	58,276人																																																																									
前年比	31.2%	26.0%	26.8%	0.2%	28.7%																																																																									
名探偵コナンバースデーメッセージ募集	R2.3/16～4/13																																																																													
青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集	4/6～5/8																																																																													
青山先生・怪盗キッドバースデーイベント(タペストリー設置)	6/19～21																																																																													
暑中見舞いハガキ申込受付	6/22～30																																																																													
七夕タペストリー設置	6/22～7/7																																																																													
名探偵コナンイラストコンテスト	7/1～9/4																																																																													
ARフォトコンテスト	9/1～12/18																																																																													
名探偵コナン北栄町誰解き探索(リサーチ)	10/3～25																																																																													
北栄町民入館無料デー	10/19～11/30																																																																													
ハロウィンイベント	10/31～11/1																																																																													
Twitter連動企画4万人達成缶バッジプレゼント	11/1～30																																																																													
キャラクターイラスト年賀状募集	11/2～1/4																																																																													
クリスマスイベント(缶バッジプレゼント・タペストリー設置)	12/1～27																																																																													
年賀状ポスト設置	12/1～31																																																																													
臨時休館、入館制限における誕生日入館無料デー&誕生日限定缶バッジプレゼント(R2.4/7～10/2誕生日対象)	12/1～1/1																																																																													
お正月イベント(カレンダープレゼント)	1/1～3																																																																													
SNS投稿キャンペーン(ポストカード&缶バッジプレゼント)	2/12～4/30																																																																													
開館14周年記念夜間ライトアップ	2/20～3/29																																																																													
ゆらまちウォークに参加して開館14周年記念限定待受画面をGETしよう	3/1～R3.5/9																																																																													
GWイベント	4/25～5/6																																																																													
青山剛昌先生と話そうDAY2021	1/3																																																																													
バレンタインデー・ホワイトデーイベント	2/13～14、3/13～14																																																																													
ナイトミュージアム	2/20、3/19～20																																																																													

2 館内展示の入れ替え、新設

青山剛昌名探偵コナン特別原画展第1期～第6期	4/1～3/31 年間を通じて展示 (4/7～6/18の間は臨時休館)
劇場版名探偵コナン「緋色の弾丸」原画展示	6/19～R4.4/中旬
劇場版名探偵コナン「紺青の拳」グッズ展示	11/30～R3.6/30
赤井秀一&沖矢昴グッズ展示	R2.3/30～11/29
青山剛昌先生手形設置	
青山剛昌先生の仕事部屋展示物「日本戦艦大和」、「日本航空母艦赤城」設置	
コナン通り案内マップ改修	

3 館内設備の整備

倉庫用ユニットハウス増設
 原画保存棚購入
 原画保存シート・ストレージボックス購入
 受付レジキャッシュレス決済システム導入準備

4 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

対策マニュアルの作成
 館内路面シート設置
 玄関サーモグラフィ検温システム導入
 来客カウンター設置
 受付ビニールカーテン設置
 ショップ出入口ドアオートスライド設置

【成果】

新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部イベントの中止や臨時休館を余儀なくされたが、感染防止対策を講じ運営を行った。各種誘客活動の他、イベントや展示入れ替え、館内設備の整備を進めることで、ウィズコロナ期からアフターコロナ期に向けた受け入れ態勢を整備できた。

会 計 名	予算現額	決算額
後期高齢者医療事業特別会計	175,355千円	173,967千円

令和2年度は、歳入総額173,982千円、支出総額173,967千円となり、収支は15千円の黒字となった。

医療給付などの運営主体は後期高齢者医療広域連合が行い、町は保険料の徴収や資格の取得・喪失など、主に窓口業務を担当した。

1 後期高齢者医療保険料の収納状況 (単位:千円・%)

区 分	H30年度			R1年度			R2年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分	117,108	117,016	99.9	122,555	122,101	99.6	128,183	127,764	99.6
過年度賦課分	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滞納繰越分	634	346	54.5	377	100	26.5	585	525	89.7
計	117,742	117,362	99.7	122,932	122,201	99.4	128,768	128,289	99.6

2 被保険者数

※ 65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人

区 分		平成31年 3月末現在(人)	令和2年 3月末現在(人)	令和3年 3月末現在(人)
被保険者数	65歳～69歳※	6人	5人	10人
	70歳～74歳※	7人	8人	19人
	75歳～79歳	800人	829人	778人
	80歳～84歳	706人	668人	668人
	85歳～89歳	602人	595人	602人
	90歳～94歳	308人	312人	319人
	95歳～99歳	96人	99人	112人
	00歳～	16人	15人	21人
	計	2,541人	2,531人	2,529人

3 療養の給付等の内訳

区 分	H30年度		R1年度		R2年度	
	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入院	1,299,975	511,600	1,390,191	549,265	1,175,055	464,632
入院外	548,352	215,801	600,062	237,085	599,057	236,875
歯 科	57,837	22,761	47,352	18,709	49,397	19,532
調 剤	366,532	144,247	391,403	154,643	355,963	140,752
食事療養	65,645	25,834	68,540	27,080	58,066	22,960
食事療養歯科	253	99	2	1	0	0
訪問看護	10,956	4,312	15,724	6,212	14,851	5,872
合 計	2,349,550	924,655	2,513,272	992,996	2,252,389	890,623

【成果】療養の給付等は依然として増加傾向にあり、生活習慣病予防等の取り組みにより療養の給付の抑制を図っていく必要がある。

会 計 名	予算現額	決算額
水道事業会計(収益的支出)	234,206千円	214,987千円

水道事業の概要

年間配水量は、1,831,335m³で、前年度に比べ 4.3%の増加、年間給水量は、1,498,595m³で、前年度に比べ 2.4%の増加となりました。

この結果、年間有収水量率は、81.8%で、前年度に比べ 1.5ポイント減少となりました。

事項	平成30年度	令和元年度	令和2年度
年度末給水人口(人)	15,045	14,751	14,617
年度末給水戸数(戸)	14,960	5,343	5,377
年度末給水栓数(栓)	5,898	5,925	5,949
年間配水量(m ³)	1,769,346	1,756,378	1,831,335
年間1カ月平均配水量	147,445	146,364	152,611
年間給水量(m ³)	1,513,424	1,462,867	1,498,595
年間1カ月平均給水量	126,118	121,905	124,883
年間有収水量率(%)	85.5	83.3	81.8

1. 収益的収入

(単位:円)

事項	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	252,391,016	88.0%	248,683,596	89.1%	233,389,021	81.5%
営業外収益	33,084,167	11.5%	30,255,456	10.8%	53,140,918	18.5%
特別利益	1,291,400	0.5%	299,900	0.1%	0	0.0%
計	286,766,583	100.0%	279,238,952	100.0%	286,529,939	100.0%

2. 収益的支出

(単位:円)

事項	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	197,833,029	88.9%	191,921,875	90.6%	184,826,358	86.0%
営業外費用	24,654,884	11.1%	19,817,314	9.4%	30,161,031	14.0%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	222,487,913	100.0%	211,739,189	100.0%	214,987,389	100.0%

【成果】 安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適切な維持管理等を行った。
老朽管の改良工事を進め、修繕費が減額になるよう努めた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計(資本的支出)	199,684千円	106,595千円

1. 資本的収入 (単位:円)

事項	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
工事負担金	12,527,047	13.2%	4,477,543	5.7%	4,994,000	6.7%
企業債	82,400,000	86.8%	73,900,000	94.3%	69,300,000	93.3%
計	94,927,047	100.0%	78,377,543	100.0%	74,294,000	100.0%

2. 資本的支出 (単位:円)

事項	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	164,712,932	66.4%	155,567,088	68.5%	42,065,074	39.5%
企業債償還金	83,356,181	33.6%	71,653,246	31.5%	64,530,333	60.5%
計	248,069,113	100.0%	227,220,334	100.0%	106,595,407	100.0%

(建設改良費内訳)

○配水施設等改良費	35,475千円
配水池改修工事、配水管改良工事等	
・工事請負費	26,741千円
・委託料(設計業務)	968千円
○営業設備費	6,590千円
・取替量水器購入	1,640千円
・上下水道施設管理システム購入	4,950千円

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計(収益的支出)	876,797千円	836,242千円

下水道事業の概要

処理区域内人口は、14,231人で、前年度に比べ124人の減少、水洗化率は、91.3%で、前年度に比べ0.8ポイントの上昇となりました。

この結果、年間有収水量は1,275,088m³で、前年度に比べ約2.2%の増加となりました。

事項	令和元年度	令和2年度
行政区域内人口(人)	14,854	14,720
処理区域内人口(人)	14,355	14,231
水洗化人口(人)	12,995	12,992
普及率(%)	100	100
水洗化率(%)	90.5	91.3
年間有収水量(m ³)	1,247,641	1,275,088
使用料単価(円/m ³)税抜	202.5	202.6

1. 収益的収入 (単位:円)

事項	令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	962,450,210	82.4%	957,247,556	82.8%
営業外収益	205,760,828	17.6%	198,791,784	17.2%
特別利益	100,000	0.0%	0	0.0%
計	1,168,311,038	100.0%	1,156,039,340	100.0%

2. 収益的支出 (単位:円)

事項	令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	701,874,541	79.5%	677,344,338	81.0%
営業外費用	178,531,365	20.2%	158,897,925	19.0%
特別損失	3,086,000	0.3%	0	0.0%
計	883,491,906	100.0%	836,242,263	100.0%

【成果】 下水道施設の事故もなく、適切な維持管理等に努めることができた。公共用水域の水質保全の確保及び住民の生活環境の改善に寄与した。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計(資本的支出)	944,954千円	911,683千円

1. 資本的收入 (単位:円)

事項	令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
企業債	36,800,000	11.9%	19,900,000	6.4%
他会計出資金	226,337,000	73.0%	222,758,000	71.0%
国庫補助金	31,245,000	10.1%	68,335,000	21.8%
負担金等	15,756,759	5.0%	2,589,270	0.8%
計	310,138,759	100.0%	313,582,270	100.0%

2. 資本的支出 (単位:円)

事項	令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	92,387,347	10.9%	166,706,615	18.3%
固定資産購入費	112,860	0.0%	1,135,354	0.1%
企業債償還金	752,328,977	89.1%	743,841,517	81.6%
計	844,829,184	100.0%	911,683,486	100.0%

(建設改良費内訳)

○管路建設改良費	21,289千円
○処理場建設改良費	135,450千円
○流域下水道建設負担金	7,492千円
○上下水道施設管理システム利用分担金	2,475千円

会 計 名	予算現額	決算額
風力発電事業会計(収益的支出)	401,514千円	321,693千円

風力発電事業は、平成17年11月から本格運転を開始し、令和2年度で16年目を迎えている。
1,500kW/9基 総定格出力 13,500kW

1. 収益的収入 (単位:円)

事項	令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	458,239,255	90.9%	459,496,305	89.8%
財務収益	2,018,209	0.4%	2,663,542	0.5%
事業外収益	43,744,567	8.7%	49,413,033	9.7%
計	504,002,031	100.0%	511,572,880	100.0%

2. 収益的支出 (単位:円)

事項	令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	303,612,809	93.6%	295,857,847	92.0%
事業外費用	20,305,000	6.3%	25,835,100	8.0%
特別損失	468,000	0.1%	0	0.0%
計	324,385,809	100.0%	321,692,947	100.0%

3. 視察・見学者 新型コロナウイルス感染症予防のため視察・見学対応を中止

4. 年間発電量

売電実績 20,358,720kWh

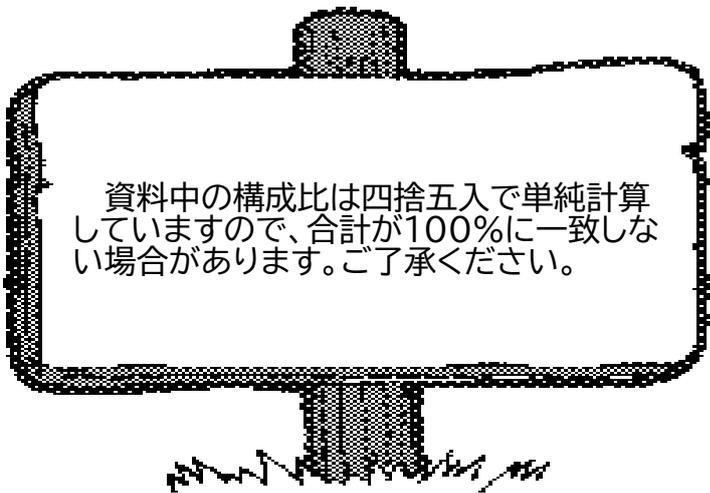
(単位:kWh)

月	過去平均 売電電力量 ①	年間推定 売電電力量 ②	年間売電 電力量(実績) ③	過去平均と の比較 ③/①	売電電力量 達成率 ③/②
3	2,548,864	2,850,552	2,563,200	100.6%	89.9%
4	1,973,810	1,562,004	2,428,080	123.0%	155.4%
5	1,457,245	1,250,883	1,337,760	91.8%	106.9%
6	818,891	1,581,444	1,143,840	139.7%	72.3%
7	1,028,640	1,082,403	1,070,880	104.1%	98.9%
8	902,715	1,122,174	864,480	95.8%	77.0%
9	1,219,662	1,698,894	1,797,600	147.4%	105.8%
10	1,568,546	1,717,281	1,329,360	84.8%	77.4%
11	1,980,734	2,156,787	1,650,480	83.3%	76.5%
12	2,592,482	2,678,832	1,674,240	64.6%	62.5%
1	2,513,843	3,805,380	2,219,280	88.3%	58.3%
2	2,389,336	2,425,950	2,279,520	95.4%	94.0%
年計	20,994,768	23,932,584	20,358,720	97.0%	85.1%

【成果】 風力発電施設の適正な管理を行ったことで、年間9,650tのCO2を削減した。
また、純利益は185,379,971円となった。

会 計 名	予 算 現 額		決 算 額	
風力発電事業会計(資本的支出)	137,902千円		134,203千円	
1. 資本的収入 なし				
2. 資本的支出 (単位:円)				
事項	令和元年度		令和2年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	4,944,873	4.5%	29,731,331	22.2%
固定資産購入費	5,346,000	4.8%	0	0.0%
基金積立金	100,000,000	90.7%	104,471,343	77.8%
計	110,290,873	100.0%	134,202,674	100.0%
(内訳)				
○環境影響評価業務等			29,731千円	
○基金積立			104,471千円	
3. 基金 (単位:円)				
前年度末残高	新規積立	取り崩し	年度末現在高	
678,183,392	104,471,343	0	782,654,735	

資 料 編



資料中の構成比は四捨五入で単純計算
していますので、合計が100%に一致しな
い場合があります。ご了承ください。

令和2年度各会計別決算状況

(単位:千円)

会 計 名	予算現額 (A)	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C) (D)	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額 (D-E) (F)	予算に対する決算額の比率	
					通次繰越	明許繰越	事故繰越	合計(E)		歳入(B/A)	歳出(C/A)
一般会計	12,615,969	11,965,879	11,596,584	369,295		123,733	5,128	128,861	240,434	94.8	91.9
国民健康保険事業特別会計	2,050,211	1,940,561	1,854,318	86,243				0	86,243	94.7	90.4
介護保険事業特別会計	1,672,194	1,666,090	1,621,881	44,209				0	44,209	99.6	97.0
住宅新築資金等貸付事業特別会計	45,274	45,270	45,270	0				0	0	100.0	100.0
農業集落排水事業特別会計	17,778	17,288	17,288	0				0	0	97.2	97.2
栄財産区特別会計	2,380	2,378	2,123	255				0	255	99.9	89.2
合併処理浄化槽事業特別会計	7,587	7,277	7,277	0				0	0	95.9	95.9
大栄歴史文化学習館特別会計	75,928	72,027	68,595	3,432			3,432	3,432	0	94.9	90.3
後期高齢者医療事業特別会計	175,355	173,982	173,966	16				0	16	99.2	99.2
合 計	16,662,676	15,890,752	15,387,302	503,450	0	123,733	8,560	132,293	371,157	95.4	92.3

令和2年度一般会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町税	1,420,950	11.9	1,428,677	15.4	△ 7,727	△ 0.5
2 地方譲与税	89,865	0.8	89,053	1.0	812	0.9
3 利子割交付金	1,695	0.0	1,769	0.0	△ 74	△ 4.2
4 配当割交付金	5,526	0.1	6,289	0.1	△ 763	△ 12.1
5 株式等譲渡所得割交付金	6,090	0.1	4,422	0.0	1,668	37.7
6 地方消費税交付金	292,456	2.4	235,414	2.5	57,042	24.2
自動車取得税交付金	0	0.0	15,307	0.2	△ 15,307	皆減
7 自動車環境性能割交付金	6,850	0.1	0	0.0	6,850	皆増
8 法人事業税交付金	4,171	0.0	0	0.0	4,171	皆増
9 地方特例交付金	12,720	0.1	52,160	0.6	△ 39,440	△ 75.6
10 地方交付税	3,712,875	31.0	3,676,387	39.6	36,488	1.0
11 交通安全対策特別交付金	2,184	0.0	1,940	0.0	244	12.6
12 分担金及び負担金	28,174	0.2	45,079	0.5	△ 16,905	△ 37.5
13 使用料及び手数料	40,073	0.3	38,357	0.4	1,716	4.5
14 国庫支出金	2,981,132	24.9	978,429	10.5	2,002,703	204.7
15 県支出金	737,538	6.2	791,866	8.5	△ 54,328	△ 6.9
16 財産収入	22,892	0.2	13,799	0.1	9,093	65.9
17 寄附金	639,716	5.4	487,606	5.3	152,110	31.2
18 繰入金	540,677	4.5	174,978	1.9	365,699	209.0
19 繰越金	208,983	1.7	473,047	5.1	△ 264,064	△ 55.8
20 諸収入	207,640	1.7	227,397	2.5	△ 19,757	△ 8.7
21 町債	1,003,672	8.4	534,500	5.8	469,172	87.8
歳入合計	11,965,879	100.0	9,276,476	100.0	2,689,403	29.0

※引き上げ分の地方消費税収(165,743千円)は、社会保障施策に要する経費の財源となります。

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	97,905	0.8	97,884	1.1	21	0.0
2 総務費	4,165,479	35.9	1,589,416	17.5	2,576,063	162.1
3 民生費	2,426,821	20.9	2,397,936	26.5	28,885	1.2
4 衛生費	652,335	5.6	618,387	6.8	33,948	5.5
5 農林水産業費	550,040	4.8	543,052	6.0	6,988	1.3
6 商工費	197,445	1.7	215,854	2.4	△ 18,409	△ 8.5
7 土木費	1,621,788	14.0	1,526,089	16.8	95,699	6.3
8 消防費	265,137	2.3	264,280	2.9	857	0.3
9 教育費	824,890	7.1	879,441	9.7	△ 54,551	△ 6.2
10 公債費	794,744	6.9	852,131	9.4	△ 57,387	△ 6.7
11 災害復旧費	0	0.0	83,023	0.9	△ 83,023	皆減
歳出合計	11,596,584	100.0	9,067,493	100.0	2,529,091	27.9

令和2年度国民健康保険事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 国民健康保険税	417,833	21.5	433,039	21.5	△ 15,206	△ 3.5
2 国庫支出金	541	0.0	962	0.0	△ 421	△ 43.8
4 県支出金	1,314,682	67.8	1,377,244	68.5	△ 62,562	△ 4.5
5 財産収入	7	0.0	12	0.0	△ 5	△ 41.7
6 繰入金	122,153	6.3	126,276	6.3	△ 4,123	△ 3.3
7 諸収入	5,259	0.3	7,979	0.4	△ 2,720	△ 34.1
8 繰越金	80,086	4.1	65,638	3.3	14,448	22.0
歳入合計	1,940,561	100.0	2,011,150	100.0	△ 70,589	△ 3.5

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	18,791	1.0	12,312	0.6	6,479	52.6
2 保険給付費	1,273,573	68.7	1,357,186	70.3	△ 83,613	△ 6.2
3 国民健康保険事業納付金	546,611	29.5	538,953	27.9	7,658	1.4
4 共同事業拠出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 保健事業費	13,617	0.7	20,036	1.1	△ 6,419	△ 32.0
6 基金積立金	7	0.0	12	0.0	△ 5	△ 41.7
7 諸支出金	1,718	0.1	2,564	0.1	△ 846	△ 33.0
歳出合計	1,854,318	100.0	1,931,064	100.0	△ 76,746	△ 4.0

令和2年度介護保険事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 介護保険料	357,442	21.5	359,416	22.1	△ 1,974	△ 0.5
2 使用料及び手数料	739	0.0	821	0.1	△ 82	△ 10.0
3 国庫支出金	375,165	22.5	368,091	22.7	7,074	1.9
4 支払基金交付金	431,421	25.9	411,709	25.3	19,712	4.8
5 県支出金	235,177	14.1	220,900	13.6	14,277	6.5
6 財産収入	11	0.0	7	0.0	4	57.1
7 繰入金	225,949	13.6	215,713	13.3	10,236	4.7
8 繰越金	34,406	2.1	42,782	2.6	△ 8,376	△ 19.6
9 諸収入	5,780	0.3	5,504	0.3	276	5.0
歳入合計	1,666,090	100.0	1,624,943	100.0	41,147	2.5

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	20,878	1.3	25,307	1.6	△ 4,429	△ 17.5
2 保険給付費	1,524,705	94.0	1,473,958	92.7	50,747	3.4
3 地域支援事業費	53,825	3.3	55,500	3.5	△ 1,675	△ 3.0
4 積立金	15,675	1.0	20,419	1.3	△ 4,744	△ 23.2
5 諸支出金	6,798	0.4	15,353	0.9	△ 8,555	△ 55.7
歳出合計	1,621,881	100.0	1,590,537	100.0	31,344	2.0

令和2年度住宅新築資金等貸付事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 県支出金	6,813	15.0	91	2.6	6,722	7386.8
2 財産収入	0	0.0	1	0.0	△ 1	皆減
3 繰入金	36,623	80.9	196	5.6	36,427	18585.2
4 諸収入	1,834	4.1	3,239	91.8	△ 1,405	△ 43.4
歳入合計	45,270	100.0	3,527	100.0	41,743	1183.5

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 資金貸付事業費	108	0.2	145	0.4	△ 37	△ 25.5
2 諸支出金	0	0.0	1	0.0	△ 1	皆減
3 公債費	328	0.7	1,099	3.3	△ 771	△ 70.2
4 前年度繰上充用金	29,893	66.1	32,175	96.3	△ 2,282	△ 7.1
5 繰出金	14,941	33.0	0	0.0	14,941	皆増
歳出合計	45,270	100.0	33,420	100.0	11,850	35.5

令和2年度農業集落排水事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料及び手数料	4,413	25.5	4,329	32.0	84	1.9
2 繰入金	9,135	52.9	9,209	68.0	△ 74	△ 0.8
3 国庫支出金	3,740	21.6	0	0.0	3,740	皆増
歳入合計	17,288	100.0	13,538	100.0	3,750	27.7

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 事業費	6,577	38.0	2,827	20.9	3,750	132.6
2 公債費	10,711	62.0	10,711	79.1	0	0.0
歳出合計	17,288	100.0	13,538	100.0	3,750	27.7

令和2年度栄財産区特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 財産収入	2,126	89.4	519	11.7	1,607	309.6
2 繰越金	252	10.6	1,158	26.0	△ 906	△ 78.2
3 諸収入	0	0.0	22	0.5	△ 22	皆減
4 他会計交付金	0	0.0	2,748	61.8	△ 2,748	皆減
歳入合計	2,378	100.0	4,447	100.0	△ 2,069	△ 46.5

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	2,123	100.0	4,195	100.0	△ 2,072	△ 49.4
歳出合計	2,123	100.0	4,195	100.0	△ 2,072	△ 49.4

令和2年度合併処理浄化槽事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料及び手数料	2,836	39.0	2,651	36.5	185	7.0
2 繰入金	4,441	61.0	4,609	63.5	△ 168	△ 3.6
歳入合計	7,277	100.0	7,260	100.0	17	0.2

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 浄化槽費	4,547	62.5	4,530	62.4	17	0.4
2 公債費	2,730	37.5	2,730	37.6	0	0.0
歳出合計	7,277	100.0	7,260	100.0	17	0.2

令和2年度大栄歴史文化学習館特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料	39,111	54.3	136,467	91.1	△ 97,356	△ 71.3
2 諸収入	692	1.0	1,102	0.7	△ 410	△ 37.2
3 繰入金	18,079	25.1	0	0.0	18,079	皆増
4 財産収入	1	0.0	5	0.0	△ 4	△ 80.0
5 県支出金	536	0.7	4	0.0	532	13300.0
6 繰越金	13,608	18.9	12,145	8.1	1,463	12.0
歳入合計	72,027	100.0	149,723	100.0	△ 77,696	△ 51.9

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	68,595	100.0	136,115	100.0	△ 67,520	△ 49.6
歳出合計	68,595	100.0	136,115	100.0	△ 67,520	△ 49.6

令和2年度後期高齢者医療事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 後期高齢者医療保険料	128,289	73.7	122,201	72.6	6,088	5.0
2 繰入金	42,116	24.2	41,278	24.5	838	2.0
3 繰越金	411	0.2	1,469	0.9	△ 1,058	△ 72.0
4 諸収入	3,041	1.8	3,313	2.0	△ 272	△ 8.2
5 国庫支出金	125	0.1	0	0.0	125	皆増
歳入合計	173,982	100.0	168,261	100.0	5,721	3.4

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	2,354	1.4	1,717	1.0	637	37.1
2 健診事業費	3,277	1.9	3,649	2.2	△ 372	△ 10.2
3 後期高齢者医療広域連合納付金	168,275	96.7	162,480	96.8	5,795	3.6
4 諸支出金	60	0.0	4	0.0	△ 4	1,400.0
歳出合計	173,966	100.0	167,850	100.0	6,116	3.6

令和2年度普通会計決算状況

この後の資料は総務省が毎年実施している地方財政状況調査（決算統計）をもとにしています。

普通会計とは・・・

一般会計に公営企業会計以外の特別会計を合算したもので、決算統計で地方公共団体相互間の比較や時系列比較が可能となるように求めたものです。

北栄町の場合、一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計を合算したものです。

歳入

(単位:千円、%)

款	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町税	1,420,950	11.9	1,428,677	15.5	△ 7,727	△ 0.5
2 地方譲与税	89,865	0.8	89,053	1.0	812	0.9
3 利子割交付金	1,695	0.0	1,769	0.0	△ 74	△ 4.2
4 配当割交付金	5,526	0.0	6,289	0.1	△ 763	△ 12.1
5 株式等譲渡所得割交付金	6,090	0.1	4,422	0.0	1,668	37.7
6 地方消費税交付金	292,456	2.5	235,414	2.5	57,042	24.2
自動車取得税交付金	0	0.0	12,489	0.1	△ 12,489	皆減
7 自動車税環境性能割交付金	6,850	0.1	2,818	0.0	4,032	143.1
8 法人事業税交付金	4,171	0.0	0	0.0	4,171	皆増
9 地方特例交付金	12,720	0.1	52,160	0.6	△ 39,440	△ 75.6
10 地方交付税	3,712,875	31.1	3,676,387	39.8	36,488	1.0
11 交通安全対策特別交付金	2,184	0.0	1,940	0.0	244	12.6
12 分担金及び負担金	8,307	0.1	8,239	0.1	68	0.8
13 使用料及び手数料	62,728	0.5	80,087	0.9	△ 17,359	△ 21.7
14 国庫支出金	2,981,132	25.0	978,429	10.6	2,002,703	204.7
15 県支出金	744,351	6.2	791,957	8.6	△ 47,606	△ 6.0
16 財産収入	22,892	0.2	13,800	0.1	9,092	65.9
17 寄附金	639,716	5.4	487,606	5.3	152,110	31.2
18 繰入金	534,304	4.5	175,120	1.9	359,184	205.1
19 繰越金	179,091	1.5	440,873	4.8	△ 261,782	△ 59.4
20 諸収入	198,758	1.7	217,872	2.4	△ 19,114	△ 8.8
21 町債	1,003,672	8.4	534,500	5.8	469,172	87.8
歳入合計	11,930,333	100.0	9,239,901	100.0	2,690,432	29.1

歳入(自主・依存財源別)

(単位:千円、%)

区分	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 自主財源	3,066,746	25.7	2,852,274	30.9	214,472	7.5
町税	1,420,950	11.9	1,428,677	15.5	△ 7,727	△ 0.5
寄附金	639,716	5.4	487,606	5.3	152,110	31.2
繰入金	534,304	4.5	175,120	1.9	359,184	205.1
諸収入	198,758	1.7	217,872	2.4	△ 19,114	△ 8.8
繰越金	179,091	1.5	440,873	4.8	△ 261,782	△ 59.4
使用料及び手数料	62,728	0.5	80,087	0.9	△ 17,359	△ 21.7
財産収入	22,892	0.2	13,800	0.1	9,092	65.9
分担金及び負担金	8,307	0.1	8,239	0.1	68	0.8
2 依存財源	8,863,587	74.3	6,387,627	69.1	2,475,960	38.8
地方交付税	3,712,875	31.1	3,676,387	39.8	36,488	1.0
国庫支出金	2,981,132	25.0	978,429	10.6	2,002,703	204.7
町債	1,003,672	8.4	534,500	5.8	469,172	87.8
県支出金	744,351	6.2	791,957	8.6	△ 47,606	△ 6.0
地方消費税交付金	292,456	2.5	235,414	2.5	57,042	24.2
地方譲与税	89,865	0.8	89,053	1.0	812	0.9
地方特例交付金	12,720	0.1	52,160	0.6	△ 39,440	△ 75.6
自動車税環境性能割交付金	6,850	0.1	2,818	0.0	4,032	143.1
株式等譲渡所得割交付金	6,090	0.1	4,422	0.0	1,668	37.7
配当割交付金	5,526	0.1	6,289	0.1	△ 763	△ 12.1
法人事業税交付金	4,171	0.0	0	0.0	4,171	皆増
交通安全対策特別交付金	2,184	0.0	1,940	0.0	244	12.6
利子割交付金	1,695	0.0	1,769	0.0	△ 74	△ 4.2
自動車取得税交付金	0	0.0	12,489	0.1	△ 12,489	皆減
歳入合計	11,930,333	100.0	9,239,901	100.0	2,690,432	29.1

歳入(町税等明細書)

(単位:千円、%)

区分	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町民税	599,830	42.2	601,374	42.1	△ 1,544	△ 0.3
(1)個人	535,199	37.7	540,653	37.8	△ 5,454	△ 1.0
1 現年課税分	533,759	37.6	538,041	37.7	△ 4,282	△ 0.8
2 滞納繰越分	1,440	0.1	2,612	0.2	△ 1,172	△ 44.9
(2)法人	64,631	4.5	60,721	4.3	3,910	6.4
1 現年課税分	64,594	4.5	60,611	4.2	3,983	6.6
2 滞納繰越分	37	0.0	110	0.0	△ 73	△ 66.4
2 固定資産税	669,219	50.8	673,206	50.8	△ 3,987	△ 0.6
(1)固定資産税	668,854	47.1	672,865	47.1	△ 4,011	△ 0.6
1 現年課税分	666,275	46.9	670,270	46.9	△ 3,995	△ 0.6
2 滞納繰越分	2,579	0.2	2,595	0.2	△ 16	△ 0.6
(2)交付金	365	0.0	341	0.0	24	7.0
1 現年課税分	365	0.0	341	0.0	24	7.0
3 軽自動車税	66,922	4.7	62,845	4.4	4,077	6.5
1 現年課税分	66,766	4.7	62,649	4.4	4,117	6.6
2 滞納繰越分	156	0.0	196	0.0	△ 40	△ 20.4
4 町たばこ税	84,979	6.0	91,252	6.4	△ 6,273	△ 6.9
1 現年課税分	84,979	6.0	91,252	6.4	△ 6,273	△ 6.9
合計	1,420,950	100.0	1,428,677	100.0	△ 7,727	△ 0.5

国民健康保険税	417,833	100.0	433,039	100.0	△ 15,206	△ 3.5
1 現年課税分	412,401	98.7	426,417	98.5	△ 14,016	△ 3.3
2 滞納繰越分	5,432	1.3	6,622	1.5	△ 1,190	△ 18.0

歳出(目的別)

(単位:千円、%)

目的別	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	97,785	0.8	97,765	1.1	20	0.0
2 総務費	3,709,695	32.1	1,577,721	17.4	2,131,974	135.1
3 民生費	2,837,264	24.5	2,663,729	29.4	173,535	6.5
4 衛生費	419,320	3.6	368,875	4.1	50,445	13.7
5 労働費	0	0.0	0	0.0	0	-
6 農林水産業費	565,048	4.9	541,552	6.0	23,496	4.3
7 商工費	300,728	2.6	192,795	2.1	107,933	56.0
8 土木費	1,628,892	14.1	1,556,527	17.2	72,365	4.6
9 消防費	267,026	2.3	264,280	2.9	2,746	1.0
10 教育費	940,208	8.1	861,313	9.5	78,895	9.2
11 公債費	795,072	6.9	853,230	9.4	△ 58,158	△ 6.8
12 災害復旧費	0	0.0	83,023	0.9	△ 83,023	皆減
歳出合計	11,561,038	100.0	9,060,810	100.0	2,500,228	27.6

歳出(性質別)

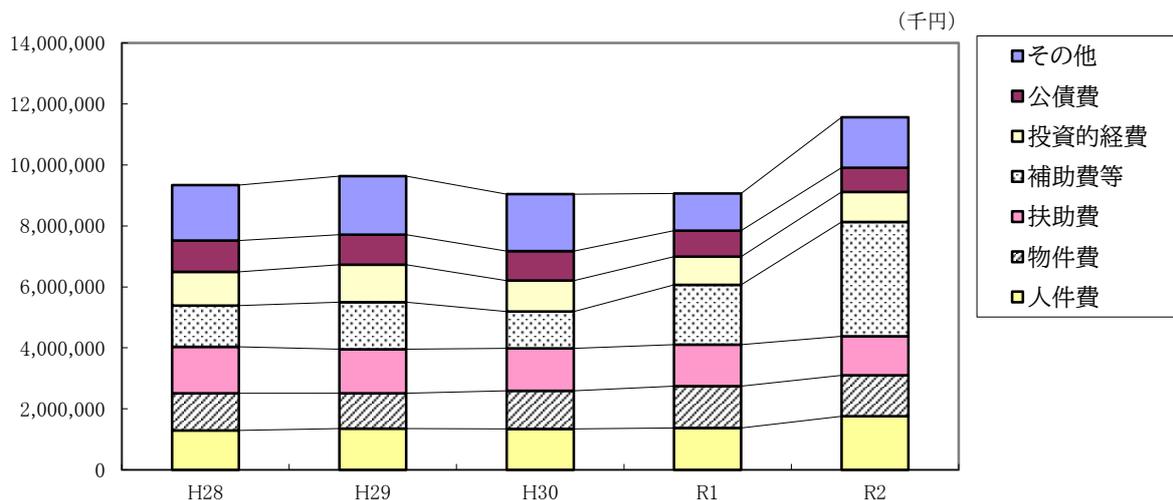
(単位:千円、%)

性質別	令和2年度決算額		令和元年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 人件費	1,756,311	15.2	1,369,277	15.1	387,034	28.3
2 物件費	1,343,336	11.6	1,371,572	15.1	△ 28,236	△ 2.1
3 維持補修費	53,100	0.5	30,386	0.3	22,714	74.8
4 扶助費	1,280,407	11.1	1,366,638	15.1	△ 86,231	△ 6.3
5 補助費等	3,749,460	32.4	1,957,228	21.6	1,792,232	91.6
6 普通建設事業費	983,614	8.5	844,972	9.3	138,642	16.4
7 災害復旧費	0	0.0	83,023	0.9	△ 83,023	皆減
8 公債費	795,072	6.9	853,230	9.4	△ 58,158	△ 6.8
9 積立金	379,604	3.3	340,080	3.8	39,524	11.6
10 投資及び出資金	222,758	1.9	226,337	2.5	△ 3,579	△ 1.6
11 貸付金	357,000	3.1	1,500	0.0	355,500	23700.0
12 繰出金	640,376	5.5	616,567	6.8	23,809	3.9
歳出合計	11,561,038	100.0	9,060,810	100.0	2,500,228	27.6

※下水道事業繰出金(896,215千円)を決算統計において補助費等(673,457千円)、投資及び出資金(222,758千円)として計上しています。

財政状況・財政指標の推移

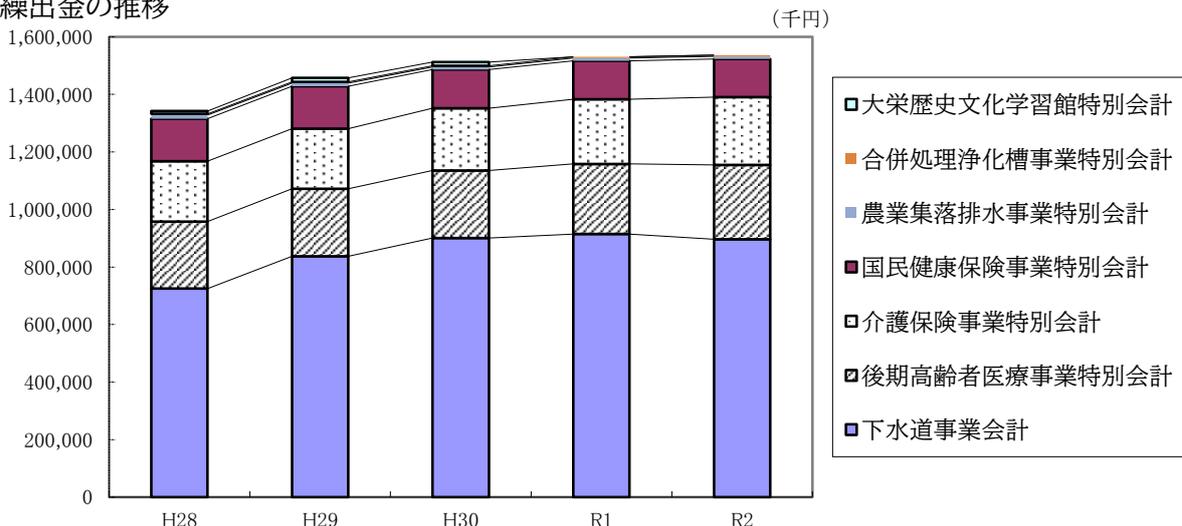
◆主な性質別歳出の推移



(単位:千円)

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
人 件 費	1,293,592	1,350,103	1,344,504	1,369,277	1,756,311
物 件 費	1,219,544	1,162,642	1,246,669	1,371,572	1,343,336
扶 助 費	1,524,245	1,444,926	1,394,611	1,366,638	1,280,407
補 助 費 等	1,352,328	1,544,589	1,204,653	1,957,228	3,749,460
投 資 的 経 費	1,105,566	1,226,585	1,014,377	927,995	983,614
公 債 費	1,019,878	984,243	968,198	853,230	795,072
そ の 他	1,819,020	1,919,126	1,866,835	1,214,870	1,652,838
合 計	9,334,173	9,632,214	9,039,847	9,060,810	11,561,038

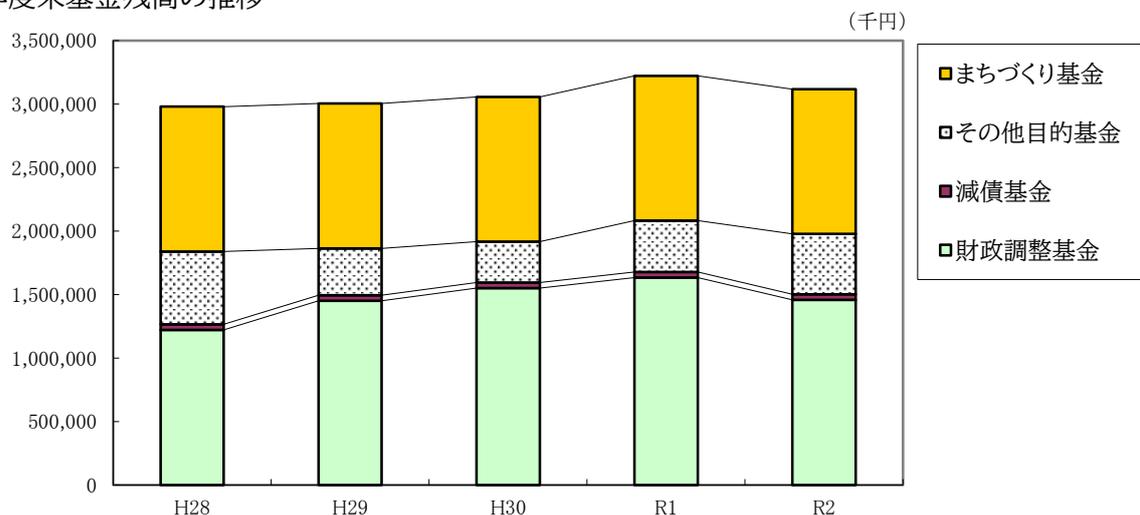
◆繰出金の推移



(単位:千円)

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
下 水 道 事 業 会 計	724,891	837,466	901,187	914,338	896,215
後期高齢者医療事業特別会計	233,159	234,233	234,429	244,212	258,908
介護保険事業特別会計	209,819	208,812	216,479	224,557	235,353
国民健康保険事業特別会計	147,806	148,089	134,117	133,980	132,539
農業集落排水事業特別会計	12,639	10,464	9,135	9,209	9,135
合併処理浄化槽事業特別会計	3,849	4,440	3,995	4,609	4,441
大栄歴史文化学習館特別会計	9,927	13,618	12,932	0	0
合 計	1,342,090	1,457,122	1,512,274	1,530,905	1,536,591

◆年度末基金残高の推移

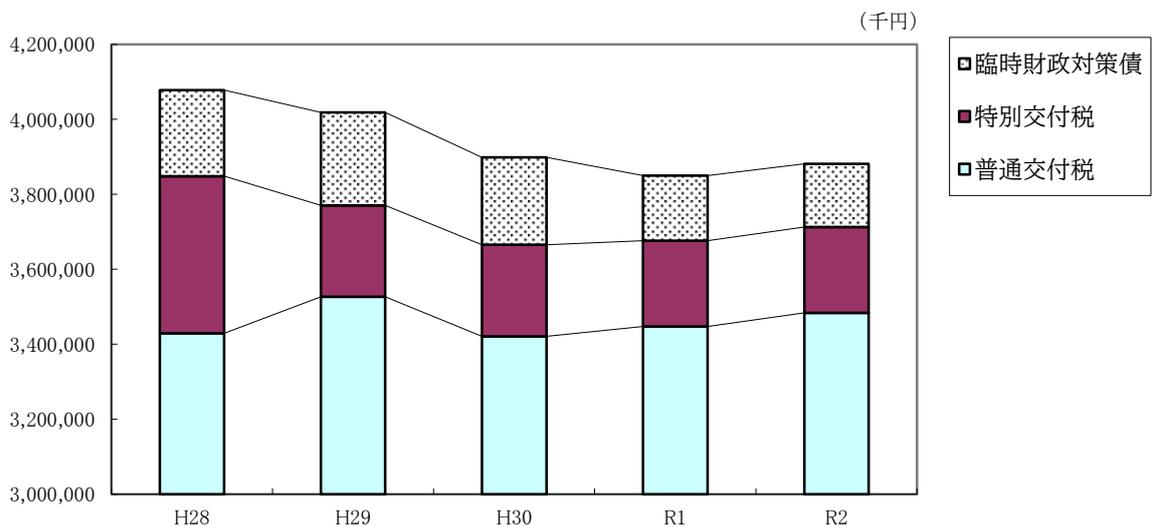


(単位:千円)

区 分	H28	H29	H30	R1	R2
財 政 調 整 基 金	1,221,853	1,450,063	1,551,691	1,633,660	1,459,187
減 債 基 金	44,023	44,036	44,049	44,058	44,062
そ の 他 目 的 基 金	573,593	370,044	321,750	404,732	474,502
ま ち づ くり 基 金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000
合 計	2,979,469	3,004,143	3,057,490	3,222,450	3,117,751

※目標とする積立規模＝財政調整基金＋減債基金で10億円

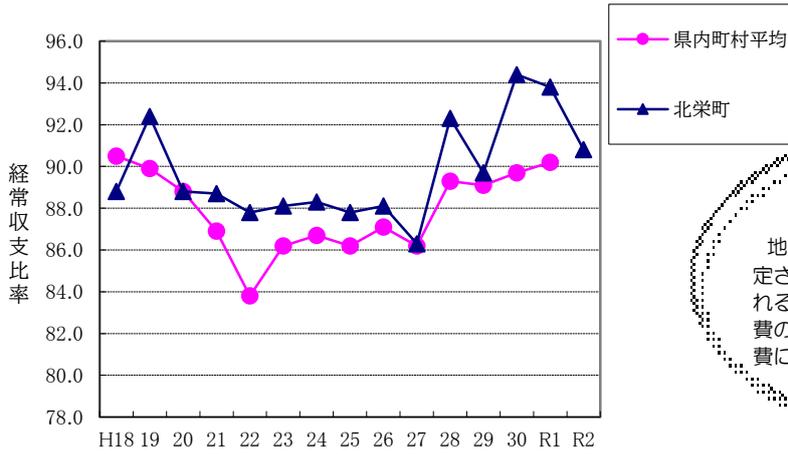
◆地方交付税・臨時財政対策債(借入額)の推移



(単位:千円)

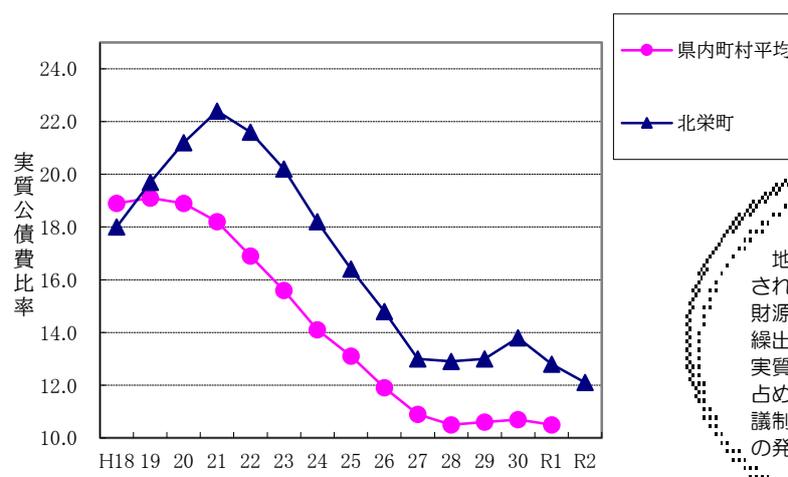
区 分	H28	H29	H30	R1	R2
普 通 交 付 税	3,429,190	3,526,700	3,421,290	3,447,378	3,483,744
特 別 交 付 税	419,463	243,909	244,128	229,009	229,131
臨 時 財 政 対 策 債	229,448	247,517	233,500	173,700	168,223
合 計	4,078,101	4,018,126	3,898,918	3,850,087	3,881,098

◆経常収支比率の推移
 経常収支比率 90.8% (前年度 93.8%)



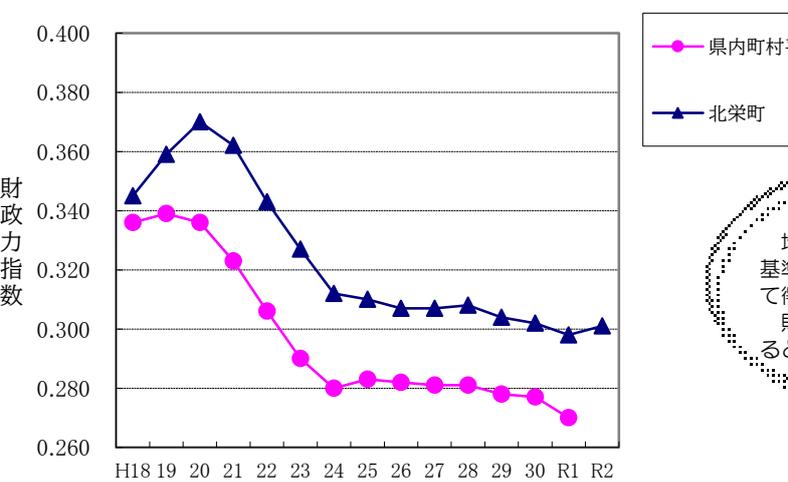
経常収支比率
 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。

◆実質公債費比率(3カ年平均)の推移
 実質公債費比率 12.1% (前年度 12.8%)



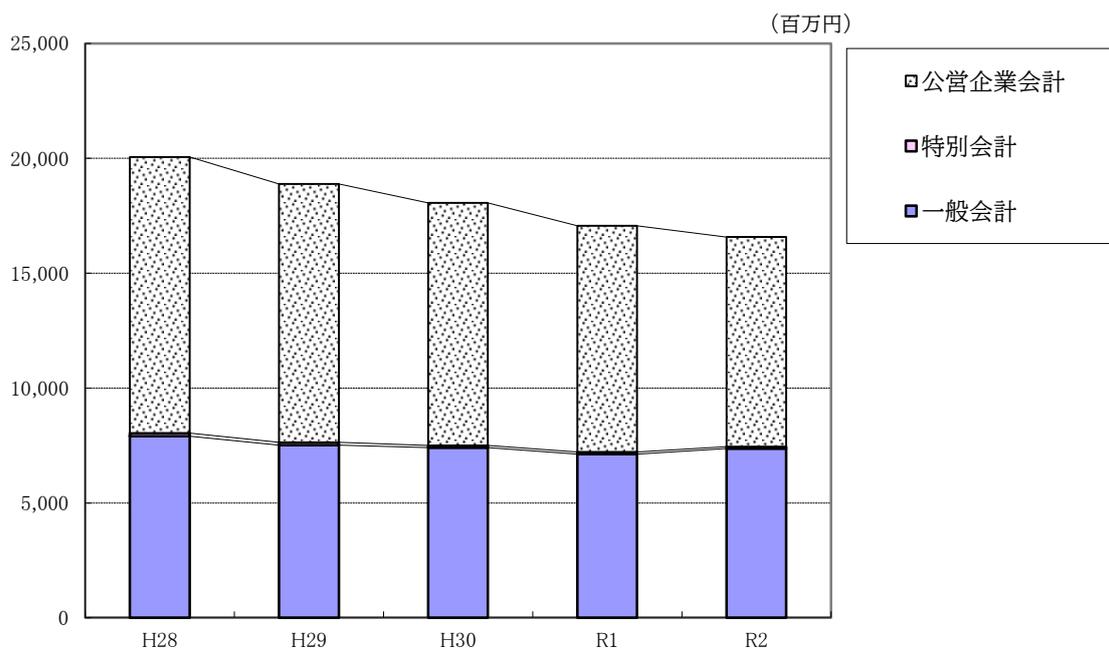
実質公債費比率
 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合の過去3年度平均値。地方債協議制度の下で、18%以上の団体は、地方債の発行に際し許可が必要となる。

◆財政力指数(3カ年平均)の推移
 財政力指数 0.301 (前年度 0.298)



財政力指数
 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年度平均値。財政力指数が高いほど財源に余裕があるといえる。

◆会計別年度末起債残高



(単位:百万円)

会計名	H28	H29	H30	R1	R2
一般会計	7,904	7,522	7,404	7,125	7,366
特別会計	133	116	104	92	80
住宅新築資金等貸付事業特別会計	8	3	2	1	0
農業集落排水事業特別会計	80	70	60	51	42
介護保険事業特別会計	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	45	43	42	40	38
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
公営企業会計	12,022	11,241	10,559	9,845	9,126
水道事業会計	1,035	990	989	991	996
下水道事業会計	10,773	10,191	9,570	8,854	8,130
風力発電事業会計	214	60	0	0	0
合計	20,059	18,879	18,067	17,062	16,572

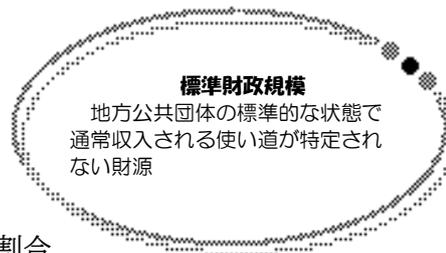
※ 一般会計及び特別会計は出納閉鎖の5月末時点。

※ 公営企業会計は3月末時点。(下水道事業会計、風力発電事業会計はR1から公営企業会計に移行。)

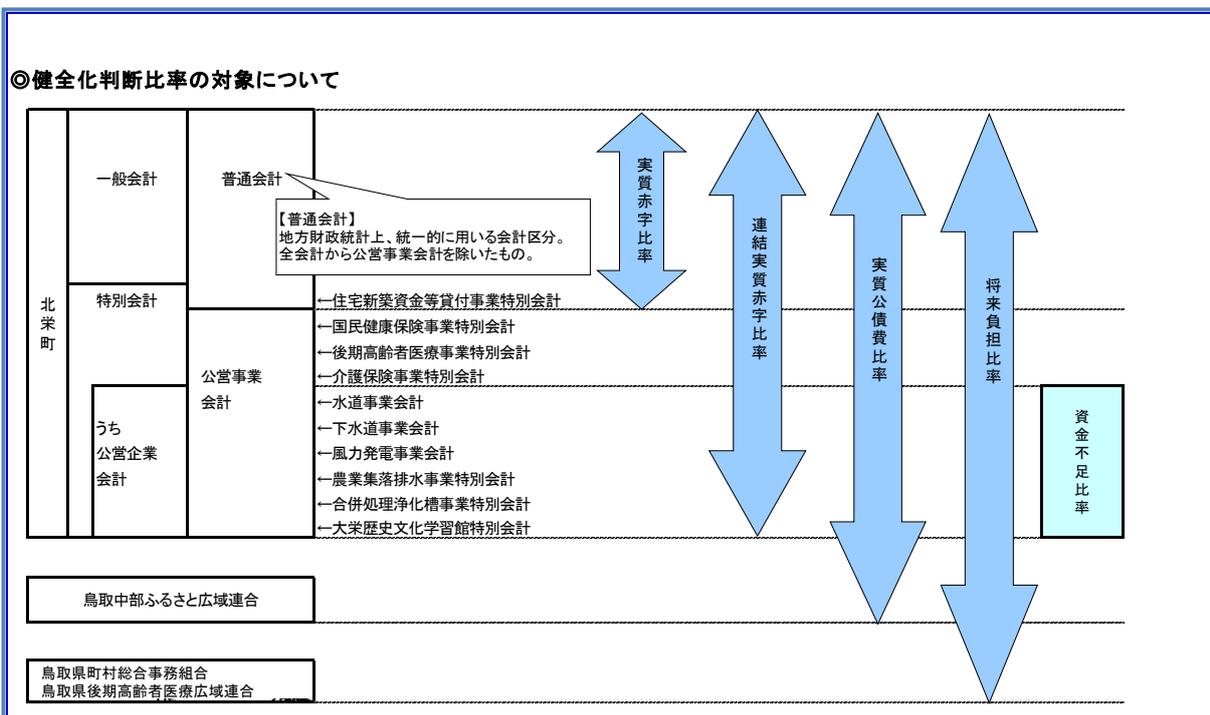
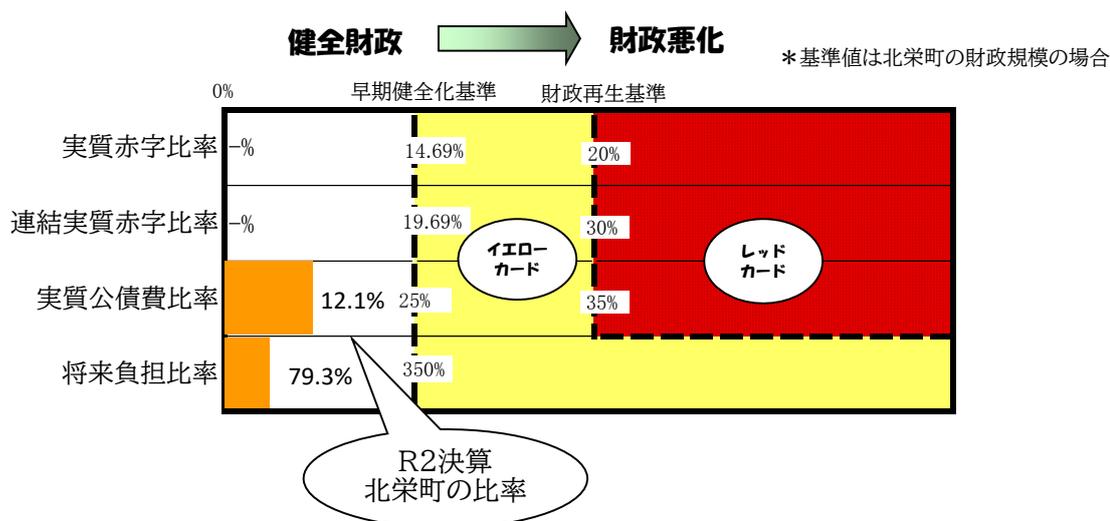
財政健全化判断比率の状況

財政健全化判断比率は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算定するもので、財政の健全化がどの程度の水準であるかを下記4つの指標をもって客観的に表したものです。

- ◆**実質赤字比率** -% (前年度 -%)
普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- ◆**連結実質赤字比率** -% (前年度 -%)
全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- ◆**実質公債費比率** 12.1% (前年度 12.8%)
一般会計等が負担する公債費が標準財政規模に占める割合
- ◆**将来負担比率** 79.3% (前年度 77.9%)
一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合



いずれかの早期健全化基準を超えると『早期健全化団体』となり、さらに財政再生基準を超えると『財政再生団体』となります。



地方債の状況

(単位:千円)

区 分	令和元年度末 現在高	令和2年度 発行額	令和2年度 元金償還額	令和2年度末 現在高
一般会計債	7,125,356	1,003,672	762,575	7,366,453
1. 普通債	4,029,253	819,900	448,601	4,400,552
(1) 総務	1,003,191	517,800	246,255	1,274,736
(2) 民生	376,479	0	34,190	342,289
(3) 衛生	581,182	0	36,942	544,240
(4) 農林水産	84,377	1,300	30,330	55,347
(5) 土木	814,193	269,200	15,215	1,068,178
(6) 消防	0	4,500	0	4,500
(7) 教育	1,169,831	27,100	85,669	1,111,262
2. 災害復旧	145,455	0	30,661	114,794
(1) 農林水産	0	0	0	0
(2) 土木	145,455	0	30,661	114,794
3. その他	2,950,648	183,772	283,313	2,851,107
(1) 減収補てん債	0	15,549	0	15,549
(2) 臨時財政対策債	2,926,742	168,223	276,489	2,818,476
(3) 減税補てん債	23,906	0	6,824	17,082
(4) 臨時税収補てん債	0	0	0	0
住宅新築資金等貸付事業特別会計債	320	0	320	0
農業集落排水事業特別会計債	51,578	0	9,128	42,450
合併処理浄化槽事業特別会計債	39,618	0	1,891	37,727
水道事業会計債	990,987	69,300	64,530	995,757
下水道事業会計債	8,854,143	19,900	743,841	8,130,202
風力発電事業会計債	0	0	0	0
合 計	17,062,002	1,092,872	1,582,285	16,572,589



北栄町役場

大栄庁舎 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-
電話番号:0858-37-3111
FAX番号:0858-37-5339

北条支所 〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下121-1
電話番号:0858-36-3111
FAX番号:0858-36-4595